

資料編 調査票及び単純集計結果

調布市民福祉ニーズ調査 調布市民の福祉意識と地域生活に関する調査

調布市の地域福祉を進めるうえでの大切なアンケートです。
あなたのご意見がこれからの調布市の福祉施策に生かされます。

調査についてのお願い

市民の皆さまには日ごろから市政発展のため、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

この調査は、子どもから高齢者まで、障害のある人もない人も、誰もが安心して自立した日常生活を送ることができる環境をつくるために、皆さまのご意見やご要望を幅広くお聴きし、より身近な福祉施策を推進するために実施するものです。ご回答いただきました内容は、すべて統計的に処理し、調査目的以外に使用することはありません。お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

令和元年 10月 調布市長 友 貴 樹

裏面の「記入についてのお願い」をよくお読みのうえ、ご記入をお願いします。

調査票、返信用封筒には住所、氏名を記入する必要はありません。

ご記入が終わりましたら、調査票を同封の返信用封筒（切手は不要です。）に入れ、**10月28日(月)までに郵便ポストに投函してください。**



調査についてご質問などがありましたら、下記までお問い合わせください。

問合せ先 調布市福祉健康部福祉総務課
の18歳以上の市民の皆さまの中から、
2,000人を無作為に抽出しました。

問合せ先 調布市福祉健康部福祉総務課

電話：042-481-7101

記入についてのお願い

1. 封筒のあて名ご本人について、ご記入をお願いいたします。
調査票の設問中の「あなた」とは、封筒のあて名の方を指します。なお、ご本人が回答困難な場合、入院中などの場合は、ご家族やまわりの方がお手伝いいただくか、あて名のご本人の意見を聞いたうえで代わりにご記入ください。
2. 濃い鉛筆又はボールペンで記入してください。
3. お答えいただく際は、あてはまる項目の番号を○印で囲んでください。

□の場合には回答内容等を記入してください。

4. ○の数は、それぞれの質問の指示に従ってください。
5. 「その他」に○印をつられた方は、〔 〕内に具体的な答えを記入してください。

平成28年に実施した前回の調査では、
以下のような課題が明らかになりました。

【課題】

- 複合的な課題への対応が必要
- 地域での支え合いの仕組みづくりが必要
- 交流・見守り等支え合いの場が必要
- 専門機関等における包括的な支援体制が必要など



調布市地域福祉計画（平成30年度～令和5年度）	
重点施策1 「地域におけるトータルケアの推進」 ・地域福祉コーディネーター事業 （多機関の協働による包括的支援体制の構築） ・相談支援包括化推進会議の設置 ・地域包括支援センターの充実 ・生活困窮自立支援事業 など	重点施策2 「住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みる体制づくり」 ・地域福祉コーディネーター事業 （地域力強化事業） ・生活支援体制整備事業 ・ボランティアコーナー運営支援 ・地域福祉活動団体への支援 ・小地域交流事業 など

あなた(あて名のご本人)のことをおたずねします

※ここでいう「あなた」とは調査票をお送りしている方のことです。
※以下の質問については令和元年10月1日現在の状況をもとに回答してください。

問1 あなたの性別をお答えください。(1つに○)
また、令和元年10月1日現在の年齢をご記入ください。
(N=835)

1. 男性	41.2%	2. 女性	58.1%	満〔 〕歳	※数字を記入
無回答	0.7%		平均	56.0歳	

問2 (1)お住まいの地域はどこですか。記入例を参考に、【町名】、【丁目】をご記入ください。
(N=835)

町名(例：小島町)〔 〕〔 〕	〔 〕	〔 〕	丁目
緑ヶ丘・滝坂小学校地域	8.0%	第二・八雲台・国領小学校地域	17.3%
若葉・調和小学校地域	13.2%	染地・杉森・布田小学校地域	12.1%
上ノ原・柏野小学校地域	10.5%	第一・富士見台・多摩川小学校地域	14.4%
北ノ台・深大寺小学校地域	9.5%	第三・石原・飛田給小学校地域	14.6%
		無回答	0.4%

(2)お住まいの近くにある公立小学校はどれですか。(1つに○)
(N=835)

1. 第一小学校	7.3%	8. 上ノ原小学校	6.7%	15. 杉森小学校	4.4%
2. 第二小学校	5.0%	9. 石原小学校	4.3%	16. 飛田給小学校	3.6%
3. 第三小学校	5.4%	10. 若葉小学校	6.8%	17. 柏野小学校	3.7%
4. 八雲台小学校	5.5%	11. 緑ヶ丘小学校	3.0%	18. 国領小学校	5.4%
5. 富士見台小学校	2.6%	12. 染地小学校	2.4%	19. 布田小学校	4.6%
6. 滝坂小学校	3.7%	13. 北ノ台小学校	5.9%	20. 調和小学校	5.1%
7. 深大寺小学校	3.0%	14. 多摩川小学校	3.6%	21. 分からない	5.7%
				無回答	2.3%

問3 あなたのご職業は次のうちどれですか。(1つに○)
(N=835)

1. 正規の社員・職員・役員	34.4%	4. 専業主婦・主夫	16.3%
2. 非正規の社員・職員	19.3%	5. 学生	3.0%
(嘱託、パート、アルバイト、契約、派遣)		6. 無職	18.9%
3. 自営業(家業手伝いを含む)	5.5%	7. その他(具体的に：)	1.8%
		無回答	0.8%

問4 現在、あなたの世帯の家族構成は、次のうちどれですか。(1つに○)
(N=835)

1. ひとり暮らし	13.9%
2. 夫婦のみ	27.7%
3. 夫婦とその親	1.3%
4. 夫婦と子ども	38.5%
5. ひとり親と子ども(一番下の子どもが18歳以上)	6.6%
6. ひとり親と子ども(一番下の子どもが18歳未満)	0.4%
7. 三世帯同居	6.5%
8. その他(具体的に：)	4.3%
無回答	0.8%

→ 問4-1へ

問4-1 問4で2~7(同居人がいる世帯)と答えた方におたずねします。
現在、あなた自身、もしくは同居のご家族に次のような方はいますか。(いくつでも○)
(n=676)

1. 乳児(1歳未満)	2.1%	5. 65歳以上の方	31.1%
2. 乳児を除く小学校入学前の幼児	14.1%	6. 身体・知的・精神などの障害のある方	6.2%
3. 小学生	12.7%	7. 介護・介助を必要とする方	5.3%
4. 中学生・高校生	14.6%	8. いずれもない	28.1%
		無回答	6.4%

問5 あなたのお住まいの近く(おおむね徒歩30分以内)には、ちょっとした手助けが必要
なときに、助け合ったりする親族や友人・知人がいますか。(1つに○)
(N=835)

1. 近くに気軽に頼める人がいる	28.0%
2. 気軽ではないが、いざという時には頼める人が近くにいる	23.7%
3. 近くにはいないが、頼める人がいる	16.3%
4. 特に頼める人はいない	30.3%
無回答	1.7%

問6 あなたは調布市に何年お住まいですか。(1つに○)
(N=835)

1. 1年未満	3.0%	5. 10年以上20年未満	22.8%
2. 1年以上3年未満	6.8%	6. 20年以上30年未満	15.4%
3. 3年以上5年未満	7.4%	7. 30年以上	34.9%
4. 5年以上10年未満	9.3%	無回答	0.4%

問7 あなたのお住まいは、次のどれですか。(1つに○)
(N=835)

1. 持ち家の一戸建て	41.6%	5. 公営住宅(市営・郡営住宅など)	7.1%
2. 持ち家の集合住宅	26.5%	6. 社宅・公務員住宅など	1.4%
3. 民間賃貸の一戸建て	1.2%	7. その他(具体的に：)	1.8%
4. 民間賃貸の集合住宅	19.9%	無回答	0.5%

近所づきあいとお住まいの地域についておたずねします

問 8 あなたは、日ごろどのような近所づきあいをしていますか。(1つに○)
(N=835)

1. 家を行き来するなど、親しく近所づきあいをしている	10.4%
2. 立ち話をする程度のつきあいをしている	31.5%
3. あいさつをする程度のつきあいをしている	42.7%
4. 近所づきあいをしていない	15.4%
無回答	0.0%

問 8-1 問 8 で「4. 近所づきあいをしていない」と答えた方におたずねします。
近所づきあいをしていない主な理由は何ですか。(いくつでも○)
(n=129)

1. 仕事や学業、家事・育児などで忙しく時間がないから	29.5%	4. 同世代の人が近くにいないから	9.3%
2. 引越してきて間もないから	9.3%	5. 気の合う・話の合う人が近くにいないから	9.3%
3. 普段つきあう機会がないから	78.3%	6. あまりかわりをもちたくないから	18.6%
		7. その他〔具体的に：	〕 3.9%
		無回答	2.3%

問 9 あなたのお住まいの地域には、自治会がありますか。(1つに○)
(N=835)

1. ある	56.6%	2. ない	10.3%	3. 分からない	32.3%	無回答	0.8%
-------	-------	-------	-------	----------	-------	-----	------

問 9-1 問 9 で「1. ある」と答えた方におたずねします。
あなたは自治会に加入していますか。(1つに○)
(n=472)

1. 加入している	71.5%	2. 加入していない	23.9%	3. 分からない	4.4%	無回答	0.2%
-----------	-------	------------	-------	----------	------	-----	------

問 9-2 問 9-1 で「2. 加入していない」と答えた方におたずねします。
加入していない理由は何ですか。(いくつでも○)
(n=113)

1. メリットを感じないから	27.4%	5. 興味がないから	15.0%
2. 時間がないから	24.8%	6. 地域にかわりたくないから	0.9%
3. きっかけがないから	24.8%	7. 役割を果たせたいから	23.9%
4. 人づきあいが面倒だから	10.6%	8. その他〔具体的に：	〕 33.6%
		無回答	0.9%

問 10 あなたは現在、お住まいの地域の暮らしやすさについて、どのように感じていますか。

(1)～(9)について、
それぞれ1つに○をつけてください。
(N=835)

	とてもいい	いい	普通	悪い	とても悪い	無回答
(1) 隣近所などとのつきあい	8.9%	63.7%	17.2%	6.0%	4.2%	
(2) 町内会・地区協議会の活動	4.4%	47.7%	26.0%	11.6%	10.3%	
(3) 地域の交流	3.7%	47.4%	30.4%	9.5%	9.0%	
(4) サークルやボランティアの活動	3.4%	42.6%	31.0%	12.1%	10.9%	
(5) 地域の防災対策	3.2%	44.3%	32.5%	11.6%	8.4%	
(6) 相談できる体制	3.6%	39.5%	34.4%	13.2%	9.3%	
(7) 買い物などの利便さ	29.8%	48.0%	12.0%	7.1%	3.1%	
(8) 道路や交通機関などの使いやすさ	24.2%	49.8%	15.1%	7.5%	3.4%	
(9) 公的な手続きの利便さ	8.5%	51.6%	27.3%	8.3%	4.3%	

日ごろのお悩みと相談についておたずねします

問 11 あなたは、身近な地域の中で不安や課題と感じていることはありますか。(いくつでも○)
(N=835)

1. 子育て、子どもの教育のこと	14.0%	8. 近所づきあい、友だちづきあいのこと	8.7%
2. 健康のこと	26.5%	9. 防犯、地域の安全のこと	28.5%
3. 介護のこと	23.1%	10. 災害時のこと	52.9%
4. 老後の生活のこと	39.6%	11. 気軽に相談できる人(機関)が少ないこと	11.1%
5. 住まいや住宅のこと	18.8%	12. その他〔具体的に：	〕 1.2%
6. 仕事のこと	12.0%	13. 特になし	14.6%
7. 経済的なこと	23.8%	無回答	2.2%

問 12 あなたは、災害時についての不安や心配ごとがありますか。(いくつでも○)
(N=835)

1. 老朽化などお住まい(家屋)のこと	20.1%
2. 家具や家電の転倒対策が不十分なこと	21.4%
3. 食糧や日用品の備蓄が不十分なこと	36.8%
4. 避難所がはつきり分らないこと	23.8%
5. ご自身の歩行に不安があること	9.9%
6. 同居のご家族の歩行に不安があること	8.4%
7. その他〔具体的に：	〕 12.8%
8. 特に不安や心配ごとはない	20.2%
無回答	2.8%

問 13 あなたは、地域のなかで次のような世帯を見たことがありますか。(いくつでも○)
(N=835)

1. 子育てと親の介護に、同時に直面して困っている世帯	3.4%
2. 高齢者の親と、就労していない(独身の)中高年の子どもで構成されている世帯	6.8%
3. 障書のある子がいるが、地域とかかわりをもたない世帯	2.9%
4. 高齢者のみで構成され、主に世帯員同士が介護している世帯	9.9%
5. ごみが処分されていない世帯	6.0%
6. ひきこもり状態の人が、適切な支援に結び付けられていない世帯	3.7%
7. 家族や地域とのかわりがなく、子どもの貧困や虐待が疑われる世帯	1.6%
8. 特に見かけたことはない	72.2%
無回答	4.9%

問 14 最近6ヶ月間に家族以外の人と会話をしましたか。(1つに○)
(N=835)

1. よく会話をした	67.2%	3. ほとんど会話をしなかった	3.2%
2. ときどき会話をした	28.1%	4. まったく会話をしなかった	0.8%
		無回答	0.7%

問 15 あなたは普段どのくらい外出しますか。(1つに○)
(N=835)

1. 仕事や学校で平日は毎日外出する	54.4%
2. 仕事や学校で週に3~4日外出する	11.3%
3. 遊び等で頻繁に外出する	7.9%
4. 人づきあいのためにときどき外出する	10.1%
5. 普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する	5.0%
6. 普段は家にいるが、近所のコンビニなどは出かける	4.9%
7. 自宅からは出るが、家からは出ない	1.1%
8. 自宅からほとんど出ない	0.4%
無回答	4.9%

問 15-1 問 15 で5~8と答えた方におたずねします。
現在の状態となつてどのくらい経ちますか。(1つに○)
(n=95)

1. 6ヶ月未満	8.4%	7. 7年~10年未満	7.4%
2. 6ヶ月~1年未満	6.3%	8. 10年~15年未満	5.3%
3. 1年~2年未満	16.7%	9. 15年~20年未満	7.4%
4. 2年~3年未満	11.6%	10. 20年~25年未満	6.3%
5. 3年~5年未満	11.6%	11. 25年~30年未満	2.1%
6. 5年~7年未満	10.5%	12. 30年以上	3.2%
		無回答	3.2%

問 15-2 現在の状態になつてきたきっかけは何ですか。(いくつでも○)
(n=95)

1. 小学生時の不登校	0.0%	8. 人間関係がうまくいかなかったこと	4.2%
2. 中学生時の不登校	0.0%	9. 病氣	25.3%
3. 高校生時の不登校	0.0%	10. 妊娠したこと	2.1%
4. 大学生(専門)学生、短期大学生を	0.0%	11. 退職したこと	24.2%
含む) 時等の不登校	0.0%	12. 介護・看護を担うことになったこと	7.4%
5. 受験に失敗したこと(高校・大学等)	1.1%	13. 特になし	20.0%
6. 就職活動がうまくいかなかったこと	1.1%	14. 分からない	4.2%
7. 職場になじめなかったこと	2.1%	15. その他	12.6%
		無回答	7.4%

問 15-3 現在の状態について、関係機関に相談したいと思いますか。(1つに○)
(n=95)

1. 非常に思う	1.1%	3. 少し思う	20.0%
2. 思う	4.2%	4. 思わない	70.5%
		無回答	4.2%

問 16 経済的に困つた経験や家計の負担となっていることについておたずねします。
あなたはこれまでに経済的に困つた経験がありますか。(1つに○)
(N=835)

1. 現在困っている	→ (1), (2), (3)へ	8.9%
2. 現在は困っていないが、困つたことがある	→ (3)へ	18.1%
3. 困つたことはない	→ (3)へ	69.5%
無回答		3.5%

(1) あなたが経済的に困っている理由はなんですか。(いくつでも○)
(n=225)

1. 仕事をしない・できない	15.1%	6. 支出が多い(収入はあるが、使いすぎ)	22.7%
2. 収入が少ない(年金含む)	53.3%	7. キャンプルやアルコールへの出費	2.2%
3. 頼れる家族や友人がいない	4.0%	8. その他(具体的に:)	9.3%
4. 病氣がある・家族の介護	12.9%	9. 特になし	8.4%
5. 障書がある	6.2%	無回答	3.6%

問 18 ①あなたは家族以外のまわりの人から次のような手助けをしてほしいと思いますか。
【手助けをしてほしいか】
②また、次のような手助けを家族以外のまわりの人にできますか。【手助けができるか】

①【手助けをしてほしいか】		②【手助けができるか】	
あてはまる ことはいく つですか。	無 回 答	でき る	でき ない
1. 税金	9.8%	7.1%	3.6%
2. 光熱費（電気、ガス、水道代等）	7.1%	4.4%	0.4%
3. 通信費（携帯電話、インターネット等）	4.4%	5.3%	3.1%
4. 家賃（住宅ローン含む）	5.3%	6.2%	4.0%
5. 公的年金保険料	6.2%	8.0%	0.4%
6. 健康保険料（介護保険料含む）	8.0%		70.2%
			無回答
			6.7%

問 19 ①あなたは家族以外のまわりの人から次のような手助けをしてほしいと思いますか。
【手助けをしてほしいか】
②また、次のような手助けを家族以外のまわりの人にできますか。【手助けができるか】

①【手助けをしてほしいか】		②【手助けができるか】	
あてはまる ことはいく つですか。	無 回 答	でき る	でき ない
1. 食費	18.0%	27.7%	2.2%
2. 光熱費（電気、ガス、水道代等）	18.4%	2.5%	3.4%
3. 通信費（携帯電話、インターネット等）	19.0%	15.6%	16.6%
4. 家賃（住宅ローン含む）	27.7%	2.5%	5.9%
5. 衣服費	2.5%	15.6%	5.4%
6. 子どもの育児費・教育費	15.6%		29.2%
			無回答
			4.4%

問 17 あなたが、日常生活の中で困ったとき、主に相談できる人・機関は次のうちどれですか。（いくつでも）
（N=835）

1. 同居の家族	65.9%	9. 市役所	7.3%
2. 別居の家族や親戚	55.7%	10. 社会福祉協議会	1.4%
3. 自治会や近所の人	3.8%	11. 地域包括支援センター	3.4%
4. 友人・知人	45.4%	12. ちよらら若者サポートステーション	0.1%
5. 民生委員・児童委員	0.1%	13. 子ども家庭支援センターすこやか	1.1%
6. 地域福祉コーディネーター※1	0.5%	14. 調布ライフサポート※2	0.2%
7. ケアマネジャー・ヘルパーなどの事業者	4.7%	15. その他（具体的に：	2.6%
8. かかりつけ医や保健師など医療関係者	7.8%	16. 身近に相談できる人・機関はない	3.1%
		無回答	2.6%

※1 地域福祉コーディネーターについては、8ページをご覧ください。
※2 調布ライフサポートについては、12ページをご覧ください。

問 18 ①あなたは家族以外のまわりの人から次のような手助けをしてほしいと思いますか。
【手助けをしてほしいか】
②また、次のような手助けを家族以外のまわりの人にできますか。【手助けができるか】

①【手助けをしてほしいか】		②【手助けができるか】	
あてはまる ことはいく つですか。	無 回 答	でき る	でき ない
(1) 安否確認の声かけ	39.6%	70.6%	8.4%
(2) ちょっとした買い物やごみ出し	16.5%	49.1%	9.9%
(3) 食事や掃除・洗濯の手伝い	13.5%	25.3%	10.8%
(4) 通院の送迎や外出の手助け	18.2%	26.5%	11.5%
(5) 子どもの預かり	19.3%	24.3%	11.9%
(6) 話し相手や相談相手	24.0%	49.8%	9.8%
(7) 災害時避難の手助け	52.6%	60.0%	9.7%
(8) 具合がよくないときに、病院等に連絡する	39.9%	62.4%	10.5%

地域福祉活動等の取組についておたずねします

問 19 調布市では、様々な地域活動・ボランティア活動が行われています。

① 次のような地域活動・ボランティア活動について、あなたは興味・関心がありますか。【興味の有無】
②現在、次のような地域活動・ボランティア活動にあなたは取り組んでいますか。【取組状況】

	①【興味の有無】		②【取組状況】	
	興味がある	興味はない	取り組んでいる人	取り組んでいない人
(1) 子育て世帯・青少年を支援する活動、子ども会やPTAの活動	27.2%	62.4%	10.1%	80.3%
(2) 高齢者を支援する活動	39.9%	50.9%	4.8%	86.8%
(3) 障害のある人を支援する活動	35.9%	54.9%	3.4%	87.6%
(4) お祭りや運動会などのレクリエーション活動、地域の伝統や文化を伝える活動	35.3%	55.2%	8.7%	82.0%
(5) 交通安全や防犯防止など地域の安全を守る活動	39.6%	51.1%	4.3%	86.5%
(6) 防災訓練や災害時に救援・支援をする活動	51.5%	39.3%	5.5%	85.3%
(7) 地域の環境美化、環境保全・自然保護などの活動	44.1%	47.4%	4.9%	86.2%
(8) 自治会・地区協議会・老人クラブなどの活動	22.8%	68.3%	9.2%	82.3%

問 20 あなたは、今後、地域活動・ボランティア活動等に取り組んでいきたいと考えていますか。(1つに○)
(N=835)

1. 積極的に、取り組んでいきたい	2.2%
2. できるだけ、取り組んでいきたい	6.6%
3. 機会があれば、取り組んでもよい	45.9%
4. 取り組みたいが、できない	22.9%
5. あまり取り組みたくない	19.5%
無回答	2.9%

問 20-1 問 20 で 4 または 5 と答えた方におたずねします。

地域活動・ボランティア活動等に取り組まない理由は何ですか。(いくつでも○)
(n=354)

1. 興味のある活動がないから	7.3%	7. きっかけがないから	13.6%
2. 活動に関する情報がないから	7.3%	8. 人づきあいが面倒だから	18.9%
3. 経済的負担が大いから	5.6%	9. 興味がないから	19.8%
4. 介護・育児で忙しいから	14.4%	10. 地域にわかたりのたぐいから	2.0%
5. メリットを感じないから	8.8%	11. その他(具体的に:)	24.9%
6. 時間がないから	48.6%	無回答	1.4%

問 21 どのような条件であれば、地域活動・ボランティア活動等に参加・活動しやすいと思いますか。(いくつでも○)
(N=835)

1. 子どもの世話や介護を代わってもら	7.9%
2. 活動内容や団体に関する情報を紹介してくれる	19.9%
3. 友人等と一緒に参加できること	16.8%
4. 時間や期間にあまりしづられない	58.7%
5. 身近なところに活動できる場があること	42.8%
6. 適切な指導者やリーダーがいること	21.8%
7. 活動に参加することでメリットがある(報酬等)	15.3%
8. 活動資金の補助や援助がある	11.0%
9. その他(具体的に:)	4.2%
10. 分らない	10.4%
11. 条件によらず、参加したくない	6.3%
無回答	6.0%

※1 地域福祉コーディネーター(コミュニケーション・ソーシャルワーカー=CSW)とは?

制度の狭間で苦しんでいる方や既存の公的な福祉サービスだけでは十分な対応ができない方などに対し、地域福祉を育むことにより、福祉の生活課題の解決に向けた取組を行っています。主な役割としては、地域の福祉課題やニーズを発見し、受け止め、地域組織や関係機関と協力しながら、地域における支え合いの仕組みづくりや地域での生活を支えるネットワークづくりを行います。平成 25 年 4 月より、調布市社会福祉協議会の職員が地域福祉コーディネーターとして活動しており、今年度下半期から、8 圏域に 8 人を配置してまいります。

問 22 調布市では、次のような福祉ボランティアの養成講座を開催しています。

- ①あなたは、次のような養成講座をご存知ですか。【認知状況】
②あなたは、今後次のような養成講座に参加したいと思いませんか。【今後の利用意向】

	① 【認知状況】		② 【今後の利用意向】	
	知っている	知らなかった	参加したい	無回答
(1) ~ (3) について、①と②のそれぞれ1つに○をつけてください。 (N=835)				
(1) これからボランティアをはじめたい人へのガイダンス(ボランティアに興味のある初心者の方、地域とのつながりを求めている方、活動の紹介等を行います)	14.9%	78.5%	31%	8.1%
(2) 認知症サポーター養成講座(認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族を見守る応援者を養成する講座です)	15.0%	78.3%	40%	7.9%
(3) 見守りサポーター「みまもりさん」養成講座(高齢者などの見守りに役立つ知識を身に付けるための講座です)	13.2%	79.9%	38%	8.1%

問 23 これまであなたが身近な活動拠点として利用している施設は、次のうちどこですか。(いくつでも○)

(N=835)

1. 文化会館たづくり	24.7%	7. 図書館	34.9%
2. 地域福祉センター	9.9%	8. 小学校・中学校	12.9%
3. 総合福祉センター	2.6%	9. 民間の施設(具体的に:)	1.7%
4. 市民活動支援センター	1.8%	10. 個人宅	4.3%
5. ふれあいの家	4.4%	11. その他(具体的に:)	3.7%
6. 公民館	3.5%	12. 特にな	39.0%
		無回答	3.7%

問 24 あなたが身近な活動拠点に求める機能は、どのようなものですか。(3つまで○)
(N=835)

1. 困ったことを何でも気軽に相談できる総合相談窓口	38.6%
2. 団体活動等で借りられる集会所等の部屋	14.3%
3. 好きなときに自由に勉強や休憩等に使えるリースペース	32.5%
4. いつでも誰かがいておしゃべり等ができるたまり場	9.8%
5. 掲示板や情報誌の発行など、地域の情報の集約・発信	13.9%
6. コピー機やメールボックス、ロッカーの貸し出しなど、市民活動のサポート	10.9%
7. 展示スペース等の市民活動の発表の場	3.0%
8. その他(具体的に:)	2.3%
9. 特にな	16.2%
10. 分らない	13.5%
無回答	3.6%

住民参加の地域づくりについておたずねします

問 25 あなたがお住まいの地域には、地域のつながり(住民同士の助け合い・支え合いなど)はあると感じますか。(1つに○)
(N=835)

1. とても感じる	7.8%	3. あまり感じない	35.8%
2. 少し感じる	35.2%	4. 感じない	19.3%
		無回答	1.9%

問 26 あなたは暮らの中で、地域のつながり(住民同士の助け合い・支え合いなど)は必要だと感じますか。(1つに○)
(N=835)

1. とても必要だと思う	26.6%	3. どちらかといえば、必要ないと思う	8.7%
2. どちらかといえば、必要だと思う	60.6%	4. 必要ないと思う	2.2%
		無回答	1.9%

住民参加の地域づくりについておたずねします

問 27 あなたは、次のような考え方についてどう思いますか。

(1)～(8)について、それぞれ1つに○をつけてください。
(N=835)

	とてもそう思う	そう思う	あまり思わない	そう思わない	無回答
(1) 障害のある人となない人が、ともに生きるため、役所や事業所は、社会の中にあるエリアを取り除くべきである	29.3%	53.9%	9.5%	1.9%	5.4%
(2) ホームレスの問題は、本人だけでなく社会全体の問題だ	15.6%	44.0%	28.6%	6.7%	5.1%
(3) 生活保護を受けている人に対する偏見や差別がある	7.5%	33.7%	41.3%	11.3%	6.2%
(4) ひきこもり ^{*1} やニート ^{*2} は、本人だけでなく、社会全体の問題だ	13.7%	43.0%	29.9%	8.0%	5.4%
(5) 虐待を防ぐために、地域でのつながりが重要である	35.0%	51.0%	7.2%	2.0%	4.8%
(6) DV ^{*3} 被害を防ぐために、地域でのつながりが重要である	24.8%	52.5%	14.5%	3.1%	5.1%
(7) ひとり親家庭の自立を支援するために、地域でのつながりが重要である	21.3%	58.6%	13.2%	1.9%	5.0%
(8) 認知症の人やその家族を地域全体で支えていくべきである	25.5%	57.1%	10.7%	2.4%	4.3%

※1 ひきこもり 様々な要因が重なって社会的な参加の場がせばまり、就労や就学などの自宅以外の生活の場が長期にわたって失われている状態のこと

※2 ニート 若者のうち、学校や仕事に行かず、求職活動や職業訓練をしていない者

※3 DV (ドメスティック・バイオレンス) 配偶者や恋人など親密な関係にある(またはあった)者から振るわれる暴力。身体的な暴力だけでなく、精神的、経済的、性的な暴力など、あらゆる暴力を含む

問 28 あなたを含め、地域において支援が必要であるにもかかわらず、福祉サービスの利用に結びついていない人を知っていますか。(1つに○)
(N=835)

1. 知っている	3.0%	2. 知らない	92.2%
		無回答	4.8%

問 28-1 問 28 で「1. 知っている」と答えた方におたずねします。
福祉サービスの利用に結びついていない人は、どのような人ですか。また、どのようなことでお困りですか。下の欄に具体的にご記入ください。

福祉のまちづくりについておたずねします

問 29 現在、調布市の建築物や公共交通機関、情報案内、公園や道路などについて、障害のある人や妊婦、子どもづれ、高齢者、外国人等が利用しやすいように整備されていると思いますか。

(1)～(11)について、それぞれ1つに○をつけてください。
(N=835)

建築物	いい整備されている	やや整備されている	あまり整備されていない	整備されていない	感じない	整備の必要を感しない	無回答
(1) 車いすの方や誰もが安全に通れる建物の出入口や通路(段差をなくす、幅を広げる)	6.9%	42.9%	34.9%	8.1%	0.7%	6.5%	
(2) 公共施設や病院等のスロープ、エレベーターやエスカレーター	13.1%	57.0%	19.5%	3.6%	0.6%	6.2%	
(3) 車いすの方や乳幼児を連れた方など誰もが使いやすいトイレ	9.5%	50.3%	26.7%	5.7%	0.5%	7.3%	
(4) 歩きやすいように、障害物(商品や看板、放置自転車、電柱等)を取り除かれ、段差や凹凸が少なく十分に幅のある歩道や道路	2.6%	27.8%	44.2%	18.7%	0.4%	6.3%	
(5) 点字ブロックや視覚障害者用の信号機	8.1%	38.4%	35.9%	9.1%	0.6%	7.9%	
(6) 車いすやベビーカーで乗降しやすい超低床バスやリフト付バス	6.8%	46.4%	31.3%	7.3%	0.5%	7.7%	
(7) 障害者の駐車場	7.5%	40.4%	33.4%	7.5%	1.3%	9.9%	
(8) 大きな文字、絵、複数の言語を用いた誰もがわかりやすい案内標示	2.5%	29.2%	46.4%	11.3%	1.6%	9.0%	
(9) 手話のできる職員が配置されていたり、音声ガイドがある施設	1.3%	15.3%	50.6%	18.0%	2.3%	12.5%	
(10) 補助犬と同伴での入室が配慮された店・レストランなど	1.4%	11.4%	49.8%	22.4%	3.1%	11.9%	
(11) (1)～(10) や公園、道路などを含むまち全体のユニバーサルデザイン [*]	1.6%	20.5%	49.0%	15.9%	2.5%	10.5%	

※ユニバーサルデザイン
道路・住宅・製品などを設計製造する場合に、障害のある人という区分けをなくし、誰でも使えるものを作るという考え方

調布市の保健福祉施策についておたずねします

問 30 あなたは、調布市の保健福祉施策(サービス)に関する情報を、どこから入手していますか。(いくつでも)
(N=835)

1. 家族、知人からの口コミ	19.0%
2. 相談窓口(市役所、行政機関、行政事務所など)	8.9%
3. 広報紙などの印刷物 (市報ちょうふ、暮らしの便利帳、市議会だより、ふくしの窓(社会福祉協議会の会報)など)	66.7%
4. 地域の掲示板のポスター、回覧板	9.1%
5. テレビ(ケーブルテレビを含む)・ラジオ	4.1%
6. インターネットサイト(パソコン)	10.4%
7. インターネットサイト(携帯電話、スマートフォン、タブレット端末)	14.4%
8. その他(具体的に:) 1.3%	1.3%
9. 特になし・情報は入手していない 無回答	18.1% 2.4%

問 31 市民の権利や生活を守るための制度や相談窓口等として以下のようなものがあります。あなたが知っているものはありますか。

(1)~(7)について、それぞれ1つに○をつけてください。

	知っている	知らなかった	無回答
(1) 成年後見制度	60.6%	35.9%	3.5%
(2) 地域包括支援センター	55.3%	41.9%	2.8%
(3) 調布ライフサポート	13.2%	83.0%	3.8%
(4) 障害者虐待防止センター	16.3%	79.7%	4.0%
(5) 子ども・若者総合支援事業(ここあ)	15.4%	80.3%	4.3%
(6) 子ども家庭支援センターすこやか	46.5%	49.5%	4.0%
(7) 住まいぬくもり相談室	7.9%	88.1%	4.0%

問 32 調布市において、今後、特に力を入れていくべきと思う保健福祉施策(サービス)はありますか。(3つまで)
(N=835)

1. 少子化対策や子育て支援施策	42.8%	7. 生活困窮者自立支援施策	15.4%
2. 障害者(児)支援施策	15.6%	8. 子どもの貧困対策	25.5%
3. 高齢者の介護や生活支援施策	56.0%	9. 高齢や障害者等に配慮したまちづくり施策	35.3%
4. 市民の健康づくり施策	17.8%	10. その他(具体的に:)	3.2%
5. 市民の生きがいや社会参加の支援施策	16.4%		
6. ボランティア活動の励み・支援施策	11.0%	無回答	4.0%

問 33 調布市の保健福祉施策(サービス)をより充実していくために、あなたが重要と思う組はどれですか。(3つまで)
(N=835)

1. 相談や情報提供体制の充実	46.2%
2. 利用者の立場や権利を保護・擁護する制度の充実	21.7%
3. 在宅サービス(ホームヘルプサービス、デイサービスなど)の質と量の確保	44.4%
4. 入所施設サービスの質と量の確保	34.9%
5. ボランティア団体やNPOなどの育成・活動支援	13.9%
6. 市民相互の助け合い・支え合い活動の活性化	16.6%
7. 民間活力の導入による福祉サービスの確保と活性化	18.6%
8. 市民・関連団体・行政の連携と協働の推進	12.5%
9. 市民への福祉意識の啓発	11.5%
10. その他(具体的に:)	2.0%
無回答	6.0%

問 34 介護者支援策として、あなたが必要だと思うことは次のどれですか。(いくつでも)
(N=835)

1. 介護者に対する定期的な情報提供	40.5%
2. 介護者が気軽に休息がとれる機会づくり	50.8%
3. リフレッシュのための日帰り旅行などの機会提供	15.1%
4. 電話や訪問による相談サービス	30.9%
5. 本人や介護者が集まって話せる場づくり	28.1%
6. 家族会や介護者の自助グループ	12.7%
7. 在宅介護者への手当	38.3%
8. 介護休業取得者のいる企業への支援制度	19.8%
9. 介護者が仕事を続けることができる支援制度、再就職支援施策	48.5%
10. 介護者の経験を活かした介護問題への発言の場づくり	12.8%
11. その他(具体的に:)	1.4%
12. 特になし 無回答	4.7% 4.2%

問 35 調布市の医療をよりよくなるために何が必要だと思いますか。(いくつでもO)
(N=835)

1. 地域の中で完結できる医療体制	46.5%
2. 在宅医療の普及	36.8%
3. 救急医療の充実	44.9%
4. かかりつけ医の普及	38.8%
5. 専門医療の充実 (具体的に:)	9.9%
6. 医療情報の提供 (具体的に:)	6.5%
7. 医療に関する市民教育 (具体的に:)	4.6%
8. 健康に関する自己管理能力 (自律性) の向上	24.7%
9. その他 (具体的に:)	3.1%
10. 特になし	6.0%
無回答	3.4%

問 36 最後に、地域づくりに必要なことや調布市の地域福祉施策についてのご要望・ご意見
がありましたら、ご自由にお書きください。

たくさんのご質問にお答えいただき、誠にありがとうございました。

いただいた回答は、アンケート調査の結果として集計分析の
うえ、報告書を作成します。ホームページや図書館等で閲覧で
きます。(令和2年4月中を予定)
また、調査からみえた課題を整理して、今後の計画づくりに生
かしてまいります。
どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

調布市民福祉ニーズ調査 高齢者の生きがいと地域生活に関する調査

調布市の高齢者福祉を進めるうえでの大切なアンケートです。
あなたのご意見がこれからの調布市の高齢者福祉施策に生かされます。

調査についてのお願い

市民の皆さまには日ごろから市政発展のため、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

この調査は、高齢になっても誰もが安心して住み続けられる地域と、誰もが生きがいを持って暮らせる社会の創出を目指す、「第8期調布市高齢者総合計画」を策定するため、皆さまのご意見やご要望を幅広くお聴きし、より身近な福祉施策を推進するために実施するものです。

ご回答いただきました内容は、すべて統計的に処理し、調査目的以外に使用することはありません。お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

令和元年 10月 調布市長 長 友 貴 樹

裏面の「記入についてのお願い」をよくお読みのうえ、ご記入をお願いします。

調査票、返信用封筒には住所、氏名を記入する必要はありません。

ご記入が終わりましたら、調査票を同封の返信用封筒（切手は不要です。）に入れ、

10月28日(月)までに郵便ポストに投函してください。

調査についてご質問などがありましたら、
下記までお問い合わせください。



令和元年9月1日現在、調布市にお住まいの65歳以上の市民の皆さまの中から、2,000人を無作為に抽出しました。

問合せ先

調布市 福祉健康部 高齢者支援室

電話：042-481-7149

記入についてのお願い

1. 封筒のあて名ご本人について、ご記入をお願いいたします。
調査票の設問中の「あなた」とは、封筒のあて名の方を指します。なお、ご本人が回答困難な場合、入院中などの場合は、ご家族やまわりの方がお手伝いいただくか、あて名のご本人の意見を聞いたうえで代わりにご記入してください。
2. 濃い鉛筆又はボールペンで記入してください。
3. お答えいただく際は、あてはまる項目の番号を○印で囲んでください。
□の場合は回答内容等を記入してください。
4. ○の数は、それぞれの質問の指示に従ってください。
5. 「その他」に○印をつけられた方は、〔 〕内に具体的な答えを記入してください。

この調査の結果は、調布市の高齢者福祉に関する計画や施策に反映されます。

過去の調査から施策の充実につながった例

これまでの調査から、地域のつながりを感じる程度が年々減少しており、地域の関係性が希薄化していることから、第7期高齢者総合計画では「地域における支え合いの仕組みづくり」が盛り込まれた他、生活支援体制整備事業の実施により「高齢者の社会参加による介護予防や住民主体の活動支援」が盛り込まれました。

あなた(あて名のご本人)のことをおたずねします

※ここでいう「あなた」とは調査票をお送りしている方のことです。

※以下の質問については令和元年10月1日現在の状況をもとに回答してください。

問1 この調査に回答していただく方はどなたですか。(1つに○)

(N=1,273)

1. 本人(代筆可) 93.3% 2. 家族 5.2% 3. その他 0.2% 無回答 1.3%

問2 あなたの性別をお答えください。(1つに○)

また、令和元年10月1日現在の年齢をご記入ください。

(N=1,273)

1. 男性 44.8%	2. 女性 54.0%	満〔 〕歳	※数字を記入
無回答 1.2%		平均 76.0歳	

問3 あなたは、現在どこで生活していますか。(1つに○)

(N=1,273)

1. 自宅(持ち家)で生活している	72.4%
2. 自宅(賃貸)で生活している	21.4%
3. 病院に入院中	0.5%
4. 施設に入所している(特別養護老人ホーム・有料老人ホーム等)	2.1%
5. その他(具体的に: 無回答	2.7% 0.9%

問4 現在、あなたの世帯の家族構成は、次のうちどれですか。(1つに○)

(N=1,273)

1. ひとり暮らし	21.4%
2. 夫婦のみ(配偶者は65歳以上)	43.1%
3. 夫婦のみ(配偶者は65歳未満)	2.8%
4. 上記(1~3)以外で世帯全員が65歳以上	2.7%
5. 上記(1~4)以外 無回答	27.7% 2.3%

問5 (1)お住まいの地域はどこですか。記入例を参考に[町名]、[丁目]をご記入ください。

(N=1,273)

町名(例:小島町)〔 〕〔 〕丁目	〔 〕	〔 〕	〔 〕丁目
緑ヶ丘・滝坂小学校地域	9.3%	第二・八雲台・国領小学校地域	16.7%
若葉・調和小学校地域	12.9%	染地・杉森・布田小学校地域	11.2%
深大寺・北ノ台小学校地域	10.0%	第一・富士見台・多摩川小学校地域	12.5%
上ノ原・柏野小学校地域	11.5%	第三・石原・飛田給小学校地域	14.1%
		無回答	1.8%

(2)お住まいの近くにある公立小学校はどれですか。(1つに○)

(N=1,273)

1. 第一小学校	4.6%	8. 上ノ原小学校	7.9%	15. 杉森小学校	3.9%
2. 第二小学校	3.8%	9. 石原小学校	4.5%	16. 飛田給小学校	3.1%
3. 第三小学校	5.9%	10. 若葉小学校	7.5%	17. 柏野小学校	3.4%
4. 八雲台小学校	5.4%	11. 緑ヶ丘小学校	4.1%	18. 国領小学校	6.6%
5. 富士見台小学校	4.6%	12. 染地小学校	3.8%	19. 布田小学校	3.0%
6. 滝坂小学校	4.2%	13. 北ノ台小学校	6.8%	20. 調和小学校	4.6%
7. 深大寺小学校	3.1%	14. 多摩川小学校	2.7%	21. 分からない	3.3%
				無回答	3.2%

問6 あなたは現在、介護を受けていますか。(いくつでも○)

(N=1,273)

1. 家族や親族から介護を受けている	→	問6-1へ	4.9%
2. 介護保険制度を利用して介護を受けている			7.4%
3. ボランティアから介護を受けている			0.2%
4. その他の人から介護を受けている(具体的に: 無回答			0.5% 84.4% 4.9%
5. 介護を受けていない	→	問6-2へ	

問6-1 問6で「1. 家族や親族から介護を受けている」と答えた方におたずねします。

主な介護者はどなたですか。(1つに○)

(n=63)

1. 配偶者	39.7%	5. 兄弟・姉妹	4.8%
2. 娘	34.9%	6. 親	1.6%
3. 息子	9.5%	7. その他(具体的に: 無回答	3.2% 6.3%
4. 娘・息子の配偶者	0.0%		

問6-2 問6で「5. 介護を受けていない」と答えた方におたずねします。

あなたは、介護が必要になったとき、どこで生活したいと考えていますか。(1つに○)

(n=1,075)

1. 自宅で家族などの介護を受けながら生活したい	14.9%
2. 自宅で在宅サービス(通い・訪問を含む)を受けながら生活したい	38.1%
3. 特別養護老人ホームや有料ホームなどの施設に入所したい	16.2%
4. その他(具体的に: 無回答	1.9% 12.6% 13.5% 2.8%
5. 自宅で生活したいが、人の世話になりたくない	
6. 分からない	

近所づきあいについておたずねします

問7 あなたは、日ごろどのような近所づきあいをしていますか。(1つに○)
(N=1,273)

1. 家を行き来するなど、親しく近所づきあいをしている	15.4%
2. 立ち話をする程度のつきあいをしている	38.7%
3. あいさつをする程度のつきあいをしている	34.6%
4. 近所づきあいをしていない	9.7%
無回答	1.6%

問7-1 → 問7で「4. 近所づきあいをしていない」と答えた方におたずねします。
近所づきあいをしていない主な理由は何ですか。(いくつでも○)

(n=123)

1. 仕事や家事などで忙しく時間がないから	15.4%
2. 引越してきて間もないから	12.2%
3. 普段つきあう機会がないから	43.1%
4. 同世代の人が近くにいないから	8.1%
5. 気の合う人・話の合う人が近くにいないから	12.2%
6. あまりかかわりをもたないから	23.6%
7. その他(具体的に: 無回答	21.1% 0.0%

日ごろのお悩みと相談についておたずねします

問8 あなたは、地域での暮らしの中で、不安や課題と感じることがありますか。身近に感じる不安や課題をお答えください。(いくつでも○)
(N=1,273)

1. 健康のこと	61.7%
2. 介護のこと	31.2%
3. 老後の生活のこと	39.4%
4. 住まいや住宅のこと	15.6%
5. 仕事のこと	5.9%
6. 近所づきあい、反らちづきあいのこと	4.9%
7. 防犯、地域の安全のこと	18.5%
8. 孤立死のこと	8.1%
9. 災害時のこと	32.9%
10. 気軽に相談できる人(機関)が少ないこと	9.3%
11. 葬儀、墓のこと	11.2%
12. その他(具体的に: 持にない	4.4% 14.7%
無回答	1.6%

問9 あなたは、日常生活の中で困ったとき、主に相談できる人・機関は次のうちどれですか。(いくつでも○)
(N=1,273)

1. 同居の家族	61.2%	8. かかりつけ医や保健師など医療関係者	19.9%
2. 別居の家族や親戚	53.7%	9. 市役所	12.6%
3. 自治会や近所の人	7.9%	10. 社会福祉協議会	4.3%
4. 友人・知人	29.8%	11. 地域包括支援センター	9.6%
5. 民生委員・児童委員	2.7%	12. 調布ライフサポート*2	0.3%
6. 地域福祉コーディネーター*1	2.6%	13. その他(具体的に: 無回答	1.9% 2.2% 1.5%
7. ケアマネジャー・ヘルパーなどの事業者	9.3%	14. 身近に相談できる人・機関はない	

※1 地域福祉コーディネーター(コミュニティソーシャルワーカー=CSW)とは?

制度の狭間で苦しんでいる方や既存の公的な福祉サービスだけでは十分な対応がとれない方などに対し、地域福祉を育むことにより、福祉の生活課題の解決に向けた取組を行っています。
主な役割としては、地域の福祉課題やニーズを発見し、受け止め、地域組織や関係機関と協力しながら、地域における支え合いの仕組みづくりや地域での生活を支えるネットワークづくりを行います。

平成25年4月より、調布市社会福祉協議会の職員が地域福祉コーディネーターとして活動しており、今年度下半期から、8圏域に8人を配置してまいります。

※2 調布ライフサポートについては、13ページをご覧ください。

問10 あなたは普段どのくらい外出しますか。(1つに○)
(N=1,273)

1. 仕事や学校で平日は毎日外出する	16.1%
2. 仕事や学校で週に3~4日外出する	13.2%
3. 遊び等で頻繁に外出する	16.0%
4. 人づきあいのためにときどき外出する	18.9%
5. 普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する	11.2%
6. 普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける	11.6%
7. 自宅からは出るが、家からは出ない	2.9%
8. 自宅からほとんど出ない	1.1%
無回答	9.0%

問10-1 → 問10で5~8と答えた方におたずねします。
現在の状態となつてどのくらい続きますか。(1つに○)

(n=342)

1. 6ヶ月未満	6.1%	7. 7年~10年未満	8.8%
2. 6ヶ月~1年未満	6.1%	8. 10年~15年未満	9.4%
3. 1年~2年未満	12.3%	9. 15年~20年未満	5.3%
4. 2年~3年未満	10.5%	10. 20年~25年未満	4.4%
5. 3年~5年未満	14.3%	11. 25年~30年未満	2.3%
6. 5年~7年未満	8.5%	12. 30年以上	4.1%
無回答			7.9%

問 10-2 現在の状態になっただけは何か。 (いくつかでも○)

1. 小学生時の不登校	0.0%	8. 人間関係がうまくいかなかったこと	1.8%
2. 中学生時の不登校	0.3%	9. 病気	27.2%
3. 高校生時の不登校	0.0%	10. 妊娠したこと	0.0%
4. 大学生 (専門学校生, 短期大学生を 含む) 時等の不登校	0.0%	11. 退職したこと	19.0%
5. 受験に失敗したこと (高校・大学等)	0.0%	12. 介護・看護を担うことになったこと	7.9%
6. 就職活動がうまくいかなかったこと	0.0%	13. 特にない	17.0%
7. 職場になじめなかったこと	0.3%	14. 分からない	2.3%
		15. その他 無回答	13.5%
			17.3%

問 10-3 現在の状態について、関係機関に相談したいと思いますか。(1つに○)

1. 非常に思う	3.2%	3. 少し思う	20.5%
2. 思う	10.2%	4. 思わない 無回答	54.4%
			11.7%

問 11 ①あなたは家族以外のまわりの人から次のような手助けをしてほしいと思いますか。
【手助けをしてほしいか】

②また、次のような手助けを家族以外の人にできませんか。【手助けができるか】

	①【手助けをしてほしいか】		②【手助けができるか】	
	あつてほ しいこと がと	ないほ しいこと なし	でき る	でき ない
(1) 安否確認の声かけ	32.1%	36.1%	53.0%	21.9%
(2) ちょっとした買い物やごみ出し	14.0%	50.0%	39.1%	32.1%
(3) 食事や掃除・洗濯の手伝い	11.9%	52.7%	19.2%	48.2%
(4) 通院の送迎や外出の手助け	15.5%	49.5%	20.4%	46.8%
(5) 子どもの預かり	3.9%	48.7%	12.6%	52.8%
(6) 話し相手や相談相手	19.2%	43.2%	38.9%	30.9%
(7) 災害時避難の手助け	39.7%	28.3%	39.3%	32.2%
(8) 具合がよくないときに、病院等に連絡する	33.1%	33.2%	47.6%	23.6%
				28.8%

地域活動やボランティア活動等についておたずねします

問 12 調布市では、さまざまな地域活動・ボランティア活動が行われています。

① 次のような地域活動・ボランティア活動について、あなたは興味・関心がありますか。【興味の有無】

② 現在、次のような地域活動・ボランティア活動にあなたは取り組んでいますか。【取組状況】

	①【興味の有無】		②【取組状況】	
	あつてほ しい	ないほ しい	取り組 んでい る	無回 答
(1) 子育て世帯・青少年を支援する活動、 子ども会やPTAの活動	15.5%	53.0%	3.1%	69.1%
(2) 高齢者を支援する活動	31.5%	39.0%	6.5%	67.3%
(3) 障害のある人を支援する活動	26.0%	42.1%	4.3%	68.1%
(4) お祭りや運動会などのレクリエーション活動、 地域の伝統や文化を伝える活動	23.2%	45.6%	7.5%	64.8%
(5) 交通安全や犯罪防止など地域の安全を守る活動	31.2%	37.8%	3.7%	68.3%
(6) 防災訓練や災害時に救援・支援をする活動	35.5%	34.4%	6.4%	66.2%
(7) 地域の環境美化、環境安全・自然保護などの活動	37.9%	32.4%	7.5%	64.6%
(8) 自治会・地区協議会・老人クラブなどの活動	27.4%	45.1%	13.4%	61.5%
				27.8%
				26.2%
				27.6%
				27.7%
				28.0%
				27.4%
				27.9%
				25.1%

(1)~(8)について、①と②の
それぞれ1つに○をつけてください。
(N=1,273)

問 13 あなたは、今後、地域活動・ボランティア活動等に取り組んでいきたいと考えていますか。(1つに○)
(N=1,273)

1. 積極的に、取り組んでいきたい
2. できるだけ、取り組んでいきたい
3. 機会があれば、取り組んでもよい
4. 取り組みたいが、できない
5. あまり取り組みたくない
無回答

問 13-1 問 13 で 4 または 5 と答えた方におたずねします。

地域活動・ボランティア等に取り組まない理由は何ですか。(いくつでも○)
(n=587)

1. 興味のある活動がないから
2. 活動に関する情報がないから
3. 経済的負担が大きすぎるから
4. 介護・育児で忙しいから
5. メリットを感じないから
6. 時間がないから
7. きっかけがないから
8. 人づきあいが面倒だから
9. 興味がないから
10. 地域に力がかかわりたくないから
11. その他 (具体的に：
無回答)

問14 どのような条件であれば、地域活動・ボランティア活動等に参加・活動しやすいと思いますか。(いくつでも)
(N=1,273)

1. 子どもの世話や介護をやりやう	1.6%	7. 活動に参加することでメリットがある(継続)	4.7%
2. 活動内容や団体に關する情報を紹介してくれる	11.0%	8. 活動資金の補助や援助がある	5.1%
3. 友人等と一緒に参加できること	11.5%	9. その他(具体的に)	3.8%
4. 時間や期間にあまりしぼられない	41.3%	10. 条件がない	15.6%
5. 身近なところに活動できる場所があること	34.2%	11. 条件によらず、参加したくない	9.3%
6. 適切な指導者やリーダーがいること	19.6%	無回答	18.0%

問15 調布市では、福祉ボランティアの養成講座を開催しています。

①あなたは、次のような養成講座をご存知でしたか。【認知状況】

②あなたは、今後次のような養成講座に参加したいと思いますか。【今後の利用意向】

	① 【認知状況】		② 【今後の利用意向】	
	知っていた	知らなかった	参加したい	無回答
(1) 福祉ボランティアをはじめ若い世代のボランティアに興味のある初心者の方、地域とのつながりを求めている方へ、活動の紹介等を行います	16.2%	60.1%	3.3%	22.9%
(2) 認知症サポーター養成講座 (認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族を見守る応援者を養成する講座です)	16.9%	60.0%	5.2%	23.1%
(3) 見守りサポーター「みまもりさん」養成講座 (高齢者などの見守りに役立つ知識を身に付けるための講座です)	15.8%	59.8%	3.5%	24.4%

問16 これまであなたが身近な活動拠点として利用している施設は、次のうちどこですか。(いくつでも)

1. 文化会館たづくり	21.8%	7. 図書館	24.6%
2. 地域福祉センター	13.7%	8. 小学校・中学校	3.2%
3. 総合福祉センター	4.7%	9. 民間の施設(具体的に)	6.3%
4. 市民活動支援センター	1.8%	10. 個人宅	3.6%
5. ふれあいの家	5.7%	11. その他(具体的に)	4.6%
6. 公民館	5.6%	12. 特になし	37.5%
		無回答	9.5%

問17 あなたが身近な活動拠点に求める機能は、どのようなものですか。(3つまで)
(N=1,273)

1. 困ったことを何でも気軽に相談できる総合相談窓口	36.1%
2. 団体活動等で借りられる集客室等の部屋	12.4%
3. 好きなきに自由に勉強や休憩等に使えるフリースペース	21.4%
4. いつでも誰かがいておしゃべり等ができるたまり場	10.4%
5. 掲示板や情報誌の発行など、地域の情報の集約・発信	12.5%
6. コピー機やメールボックス、ロッカーの貸し出しなど、市民活動のサポート	5.5%
7. 展示スペース等の市民活動の発表の場	4.0%
8. その他(具体的に)	2.4%
9. 特になし	20.4%
10. 分からない	11.9%
無回答	10.1%

就労状況、就労意向についておたずねします

問18 あなたは現在、どのような仕事をしていますか。(1つに0)
(N=1,273)

1. 正規の社員・職員	4.8%	3. 自営業(家業手伝いを含む)	10.2%
2. 非正規の社員・職員(嘱託、パート、アルバイト、契約、派遣)	12.8%	4. シルバー人材センター・有償ボランティア	3.8%
		5. 仕事はしていない	61.5%
		無回答	6.9%

問19 あなたは今後、どのような仕事をしたい(続けたい)ですか。(1つに0)
(N=1,273)

1. 正規の社員・職員	3.5%
2. 非正規の社員・職員(嘱託、パート、アルバイト、契約、派遣)	13.7%
3. 自営業(家業手伝いを含む)	8.9%
4. シルバー人材センター・有償ボランティア	8.6%
5. 仕事を必要がない・したくない	47.1%
無回答	18.2%

問19-1 問19で1~4と答えた方におたずねします。仕事をしたい理由は何か。(いくつでも)
(n=442)

1. 生活費をまかなうため	51.1%	5. 家にも退屈だから	21.0%
2. 健康によいから	47.7%	6. 技術や経験を活かしたいから	26.5%
3. 働くことに生きがいを感じるから	34.4%	7. 地域に貢献したいから	11.5%
4. 社会的に現役でいたいから	34.6%	8. その他(具体的に)	4.5%
		無回答	2.9%

健康・医療についておたずねします

問20 あなたが、「高齢者」と意識する年齢は、何歳からだと思いますか。あなたの意識にもっとも近いものをお答えください。(1つに○)
(N=1,273)

1. 65 歳以上	4.6%	4. 80 歳以上	29.5%
2. 70 歳以上	23.4%	5. 85 歳以上	5.0%
3. 75 歳以上	34.6%	無回答	2.9%

問21 あなたの健康状態についてお答えください。(1つに○)
(N=1,273)

1. 大変健康である	7.5%
2. おおむね健康で普通に生活している	62.4%
3. 健康に不安がある	20.4%
4. 病気や障害があつて、日常生活が困難である	7.2%
無回答	2.5%

問21-1 問21で「3. 健康に不安がある」と答えた方におたずねします。以下のうち、当てはまるものすべてに○をつけてください。(いくつでも○)
(n=260)

1. 転倒することが多くなった	16.5%
2. 固いものが食べにくくなった	27.3%
3. お茶や汁物でむせるようになった	18.1%
4. 周りの人から「もの忘れが多くなった」と言われる	20.8%
5. 外出することが難しくなった	27.7%
6. 入浴が難しくなった	13.5%
7. その他 (具体的に:)	29.6%
8. 当てはまるものはない	15.8%
無回答	2.7%

問22 あなたには、「かかりつけ医」、「かかりつけ歯科医」、「かかりつけ薬局」*はありますか。

(1)~(4)について、それぞれ1つに○をつけてください。
(N=1,273)

	いる	いない	無回答
(1) かかりつけ医 (診療所・医院)	69.4%	17.3%	13.3%
(2) かかりつけ医 (病院)	51.0%	26.5%	22.5%
(3) かかりつけ歯科医	71.5%	13.6%	14.9%
(4) かかりつけ薬局	58.3%	24.0%	17.7%

*「かかりつけ医」、「かかりつけ歯科医」、「かかりつけ薬局」ここでは、あなたの生活の状況などを理解して、健康や病気のことを日ごろから、気軽に相談できるような身近な医師、歯科医師、薬局をさします。

問23 近年、人生のエンディングに向けて、元気なうちから様々な準備をする活動が広がっています。

①あなたは、次のような事柄をご存知でしたか。【認知状況】
②あなたは、今後次のような事柄を活用したいと思いませんか。【今後の利用意向】

	① 認知状況		② 今後の利用意向	
	知っていた	知らなかった	活用したい	活用しない/分からない
(1) 終活 (エンディング) ノート (銀行口座などの財産や介護や医療に関する希望、葬儀の内容など、自分の思いや希望を家族等親族に伝えるために書き記すノートのこと)	65.8%	22.3%	40.1%	12.4%
(2) ACP (アドバンス・ケア・プランニング) (自らが望む人生の最終段階における医療・ケアについて前もって考え、医療・ケアチーム等と繰り返し話し合い共有する取組のこと)	17.6%	64.0%	26.8%	11.0%
				16.0%
				18.1%

問24 あなたが、終末期に過ごしたい場所はどこですか。(1つに○)
(N=1,273)

1. 病院などの医療施設	16.7%
2. 自宅	47.7%
3. 子どもの家	0.8%
4. 兄弟姉妹など親族の家	0.4%
5. 高齢者向けのケア付き住宅	7.1%
6. 特別養護老人ホームなどの福祉施設	8.2%
7. その他 (具体的に:)	1.0%
8. 分からない	14.4%
無回答	3.7%

問24-1 問24で「2. 自宅」と答えた方におたずねします。自宅で終末期を過ごすにあたって、不安なことはありませんか。以下のうち、当てはまるものすべてに○をつけてください。(いくつでも○)
(n=606)

1. 居住環境が整っていない	15.8%
2. 経済的に負担が多い	27.7%
3. 介護してくれる家族がいない	15.2%
4. 介護してくれる家族に負担がかかる	56.9%
5. 住診してくれる医師がいない	29.9%
6. 訪問看護体制が整っていない	19.6%
7. 訪問介護体制が整っていない	14.7%
8. 24時間相談のつてくれるところがない	16.8%
9. 病状が急変したときの対応に不安がある	43.2%
10. 病状急変時すぐに入院できるか不安がある	32.2%
11. その他 (具体的に:)	4.8%
12. 特になし	12.2%
無回答	2.1%

運動・介護予防についておたずねします

問25 調布市では、健康管理や介護予防のためにさまざまな健康づくり事業を行っています。どのような健康づくり事業に参加したいですか。

(1) あなたは将来に向けて、どのような種類の健康づくりの事業に参加してみたいですか。(いくつでもO)
(N=1,273)

1. 交流（趣味、レクリエーション）	30.3%
2. 骨折予防などの寝たきり予防、生活機能の維持・向上	25.3%
3. 運動・スポーツ活動	27.7%
4. 筋力トレーニング	28.3%
5. 生活習慣病の予防	20.7%
6. 認知症の予防、ケア	29.8%
7. 歯科・口腔のケア	15.8%
8. 栄養や食事の指導	15.4%
9. その他（具体的に：	） 1.4%
10. 特にない	21.6%
無回答	7.2%

(2) どのような形式の健康づくりの事業に参加してみたいですか。(いくつでもO)
(N=1,273)

1. 講演会などの話を聞く形式の事業	11.9%
2. 実際に体を動かす実践形式の事業	27.4%
3. 1と2を組み合わせた形式の事業	31.4%
4. その他（具体的に：	） 1.6%
5. 特にない	31.1%
無回答	10.6%

介護者支援についておたずねします

問26 あなたは介護（遠距離介護を含む）をしていますか。また、していましたか。(1つにO)
(N=1,273)

1. 介護している	9.5%
2. 介護を終えた	20.6%
3. 介護していない	62.0%
無回答	7.9%

問26-1 問26で1または2と答えただ方におたずねします。それはどなたですか。(いくつでもO)
(n=383)

1. 実の祖父	0.3%	5. 配偶者の父母	22.5%
2. 実の父母	54.0%	6. 兄弟・姉妹	5.5%
3. 配偶者	28.7%	7. 娘・息子	2.3%
4. 配偶者の祖父母	2.6%	8. その他（具体的に：	） 3.9%
		無回答	0.8%

問27 調布市では、介護をされている方が交流や情報共有し合える「介護者のための集いの場」※（認知症カフェ等）があります。

(1) あなたは、「介護者のための集いの場」※があることをご存知でしたか。(1つにO)
(N=1,273)

1. 知っていた	17.1%	2. 知らなかった	74.7%	無回答	8.2%
----------	-------	-----------	-------	-----	------

(2) あなたは今後、「介護者のための集いの場」※に参加してみたいですか。(1つにO)
(N=1,273)

1. 参加したい	8.6%	2. 参加したいと思わない	24.9%	3. 分からない	56.8%	無回答	9.7%
----------	------	---------------	-------	----------	-------	-----	------

※介護者のための集いの場

調布市内には、「ケアラー（介護者）」を支援するために、「ケアラー（介護者）を支えるグループ等」や「高齢者の福祉、ケアラー（介護者）の相談窓口」など、認知症等の「当事者とケアラー（介護者）のための集いの場」が配置されています。

問28 介護者支援策として、あなたが必要だと思われることは次のどれですか。(いくつでもO)
(N=1,273)

1. 介護者に対する定期的な情報提供	34.6%
2. 介護者が気軽に休息がとれる機会づくり	37.8%
3. リフレッシュのための日帰り旅行などの機会提供	13.8%
4. 電話や訪問による相談サービス	28.9%
5. 本人や介護者が集まって話せる場づくり	21.5%
6. 家族会や介護者の自助グループ	7.5%
7. 在宅介護者への手当	22.9%
8. 介護休業取得者のいる企業への支援制度	8.6%
9. 介護者が仕事を続けることができる支援制度、再就職支援施策	22.5%
10. 介護者の経験を活かした介護問題への発言の場づくり	9.3%
11. その他（具体的に：	） 1.2%
12. 特にない	16.4%
無回答	13.2%

認知症についておたずねします

問29 あなたが認知症になった際のお考えについておたずねします。

(1) あなたが認知症になったらとするとしたら、どのように暮らしたいと思えますか。最も近いと思うものをお答えください。(1つに○)

1. 認知症になっても、できないことを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で今までどおり自立した生活をしていきたい	26.5%
2. 認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していきたい	32.9%
3. 認知症になったら、介護施設の施設で必要なサポートを利用しながら生活していきたい	20.1%
4. 認知症になったら、病院等で必要な治療やケアを受けながら生活していきたい	11.5%
無回答	9.0%

(2) あなたが認知症になったらとすのために、備えていることはありますか。(いくつでも○)

1. 認知症を引き起こされる原因や症状について学習している	18.1%
2. 認知症になったらとすの対応策を家族と話し合っている	9.3%
3. ケアマネジャーや介護福祉士などの専門家に相談している	3.6%
4. 定期的に検診を受けている	8.8%
5. 認知症を含めた介護のための貯金をしている	5.5%
6. 介護施設に相談している	0.9%
7. 地域包括支援センターに相談している	1.9%
8. 認知症にも対応している保険に入っている	1.6%
9. その他(具体的に:)	1.6%
10. 特にない	55.7%
無回答	8.4%

問30 調布市の認知症施策でこれから必要だと思うことは次のどれですか。(いくつでも○)

1. 市民に認知症への正しい知識と理解をもってもらうための啓発・情報提供	28.4%
2. 認知症のことを相談できる窓口・体制の充実	44.7%
3. できるだけ早い段階から、医療・介護などのサポートを利用できる仕組みづくり	41.4%
4. 家族の身体的・精神的負担を減らす取組	43.1%
5. 家族の仕事と介護の両立支援を含めた、経済的負担を減らす取組	26.8%
6. 認知症の人を地域で見守る体制の充実	25.5%
7. 日常生活の中で必要となる財産管理などへの支援の充実	13.7%
8. 悪質商法や詐欺的な勧誘による被害を防止するための取組	24.0%
9. 認知症の人が利用できる介護施設の充実	41.7%
10. 認知症になっても地域で役割を持って暮らし続けられる体制の整備	22.5%
11. 認知症にも対応している保険の充実	14.8%
12. その他(具体的に:)	1.3%
13. 特にない	9.4%
無回答	8.1%

災害時の対応についておたずねします

問31 あなたは、災害や火災などの緊急時に、一人で避難することができますか。(1つに○)

1. 一人で判断し、避難できる	73.0%
2. 一人で判断できるが、避難はできない	13.7%
3. 一人では判断できないし、避難もできない	6.9%
無回答	6.4%

問 31-1 問 31 で 2 または 3 と答えた方におたずねします。

災害や火災など緊急時に避難する際に、手助けを頼める人はいますか。(1つに○)

1. いる	56.6%	2. いない	28.6%	3. 分からぬ	13.7%	無回答	1.1%
-------	-------	--------	-------	---------	-------	-----	------

地域社会のあり方についておたずねします

問32 あなたを含め、地域において支援が必要であるにもかかわらず、福祉サービスの利用に結びついていない人を知っていますか。(1つに○)

1. 知っている	38%	2. 知らない	87.4%	無回答	8.8%
----------	-----	---------	-------	-----	------

問 32-1 問 32 で「1. 知っている」と答えた方におたずねします。

福祉サービスの利用に結びついていない人は、どのような人ですか。また、どのようなことでお困りですか。下の欄に具体的に記入ください。

調布市の高齢者保健福祉施策についておたずねします

問33 高齢者の権利や生活を守るための制度や相談窓口等として以下のようなものがあります。あなたが、あなたは知っていますか。

(1)～(9)について、それぞれ1つに○をつけてください。
(N=1,273)

	知っている	知らなかった	無回答
(1) 成年後見制度	59.0%	28.9%	12.1%
(2) 地域福祉権利擁護事業	16.7%	68.6%	14.7%
(3) 見守りネットワーク (みまもっと)	38.0%	48.3%	13.7%
(4) 高齢者虐待防止法	22.9%	61.9%	15.2%
(5) 調布市消費生活相談室	48.3%	37.2%	14.5%
(6) 地域包括支援センター	53.6%	33.8%	12.6%
(7) 「くらしの案内～シルバー編～」	25.1%	60.1%	14.8%
(8) 調布ライフサポート	12.7%	72.0%	15.3%
(9) 住まいぬくもり相談室	9.1%	75.0%	15.9%

問34 調布市の高齢者保健福祉施策(サービス)全般について、市が力を入れるべきことは次のうちどれだと思いますか。(5つまで)
(N=1,273)

1. 趣味や生きがいづくり、社会参加への支援	28.8%
2. 働く機会や場所づくり	16.5%
3. 介護が必要にならないための健康づくりなどの支援	41.3%
4. 自立生活のための家事(炊事・洗濯・掃除など)についての指導	9.3%
5. 介護保険以外の保健福祉サービス、デイサービス、ショートステイなど	40.1%
6. 介護保険以外の保健福祉サービスの充実(配食サービス、紙おむつの給付など)	28.3%
7. ボランティアや地域活動の充実	9.0%
8. ひとり暮らしなどの高齢者に対する見守りや支え合う地域づくりへの支援	41.7%
9. 低所得者等への経済的支援	25.3%
10. 既存住宅の改修支援	14.5%
11. 安価な賃貸住宅の供給	17.0%
12. 段差などがなく利用しやすい公共施設・交通機関の整備	17.9%
13. 特別養護老人ホームなどの入所施設の整備	37.6%
14. 利用しやすい成年後見制度	8.5%
15. 介護者に対する支援	29.4%
16. その他(具体的に:)	1.9%
17. 分からない	4.7%
無回答	6.2%

問35 高齢者がいきいきとした生活を送ることができるといえる地域社会を実現するための取組などについて、ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

——たぐさんの質問にお答えいただき、誠にありがとうございました——

いただいた回答は、アンケート調査の結果として集計分析のうえ、報告書を作成します。ホームページや図書館等で閲覧できます。
(令和2年4月中を予定)
また、調査からみえた課題を整理して、今後の計画づくりに生かしてまいります。
どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

調査3

身体(64歳以下)
身体(65歳以上)

調布市民福祉ニーズ調査 障害のある方の地域生活に関する調査

調布市の障害者福祉を進めるうえでの大切なアンケートです。
あなたのご意見がこれからの調布市の福祉施策に生かされます。

調査についてのごお願い

市民の皆さまには日ごろから市政発展のため、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

この調査は、今後の障害者福祉施策等のあり方を検討し、「調布市障害者総合計画」を改定するため、皆さまのご意見やご要望を広くお聴きし、より身近な福祉施策を推進するために実施するものです。

ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理し、調査目的以外に使用することはありません。お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

令和元年10月 調布市長 友貴 樹

裏面の「記入についてのごお願い」をよくお読みのうえ、ご記入をお願いします。

調査票、返信用封筒には住所、氏名を記入する必要はありません。
ご記入が終わりまりましたら、調査票を同封の返信用封筒(切手は不要です。)に入れ、

10月28日(月)までに郵便ポストに投函してください。

調査についてご質問などがありましたら、下記までお問い合わせください。また、お一人で回答が難しい場合は、ご相談ください。

令和元年9月1日現在、調布市にお住まいの身体障害者手帳、愛の手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方や難病のある方で、18歳以上の方の中から、1,800人を無作為に抽出しました。



質問や相談はこちらまでどうぞ↓

調布市 福祉健康部 障害福祉課
電話：042-481-7135

この調査票の各ページには、「音声コード (Unit-Voice)」を付しています。「音声コード」は、1.8センチメートル角のコードを専用の読取機やスマートフォンアプリが音声に変換し、文章内容を読み上げるものです。

記入についてのごお願い

1. 封筒のあて名ご本人について、ご記入をお願いいたします。調査票の設問中の「あなた」とは、封筒のあて名の方を指します。なお、ご本人が回答困難な場合、入院中などの場合は、ご家族やまわりの方がお手伝いいただくか、あて名のご本人の意見を聞いたうえで代わりにご記入ください。
濃い鉛筆又はボールペンで記入してください。
2. お答えをいだけたく際は、あてはまる項目の番号を○印で囲んでください。
3. の場合は回答内容を記入してください。
4. ○の数は、それぞれの質問の指示に従ってください。
5. 「その他」に○印をつけられた方は、〔 〕内に具体的な答えを記入してください。

いただいた回答は、アンケート調査の結果として集計分析のうえ、報告書を作成します。ホームページや図書館等で閲覧できます。(令和2年4月中を予定)

また、調査からみえられた課題を整理して、今後の計画づくりに生かしてまいります。どうぞよろしくお問い合わせください。

過去の調査から施策の充実につながった例

- 相談支援や就労支援のニーズが大きいたことが明らかになり、相談支援事業所や就労支援センターの支援体制の充実につながった。
- グループホームでの生活を希望している障害者が多いことが明らかになり、調布市におけるグループホーム整備支援の拡大につながった。
- 就学以降の障害児の居場所づくりのニーズが明らかになり、放課後等デイサービス事業所の拡大につながった。
- 仕事や学校等以外での余暇活動の機会が不十分であることが明らかになり、支援施策の拡充につながった。



あなた(あて名)のご本人(ほんにん)のことはおたずねしません
 ※令和元年10月1日現在の状況をもとに回答してください。

問1 この調査に回答していただく方はどなたですか。(1つに○)

	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
1. 本人(代筆可)	89.2%	86.0%	0.0%	1.2%
2. 家族	9.0%	12.8%	1.8%	0.0%

問2 あなたの性別をお答えください。(1つに○)
 また、令和元年10月1日現在の年齢をご記入ください。

	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
1. 男性	50.6%	48.4%	満()歳	平均79.7歳
2. 女性	48.0%	51.6%	※数字を記入	
無回答	1.4%	0.0%		

問3 現在、あなたが一緒に暮らしているご家族は、どなたですか。(いくつでも○)

	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
身体(64歳以下)(n=221) 身体(65歳以上)(n=250)		
1. ひとり暮らし(グループホーム等で暮らしている場合を含む)	19.0%	23.6%
2. 配偶者(夫または妻)	47.1%	54.4%
3. 父親	19.0%	0.8%
4. 母親	29.0%	0.8%
5. 子ども(子どもの配偶者を含む)	23.5%	32.0%
6. 孫(孫の配偶者を含む)	0.0%	7.2%
7. 兄弟姉妹	10.4%	1.2%
8. 祖父母	0.5%	0.4%
9. その他(具体的に:)	2.3%	6.4%
無回答	1.4%	1.2%

問4 (1)お住まいの地域はどこですか。
 (お住まいの地域を参考にご記入ください。記入例を参考に(町名)、(丁目)をご記入ください。

身体(64歳以下)(n=221) 身体(65歳以上)(n=250)

	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
滝坂・緑ヶ丘小学校地域	6.3%	9.2%	染地・杉森・布田小学校地域	9.0%
深大寺・北ノ台小学校地域	8.1%	10.0%	若葉・調和小学校地域	10.0%
第二・八雲台・国領小学校地域	18.6%	21.6%	上ノ原・柏野小学校地域	10.0%
第三・石原・飛田給小学校地域	19.5%	13.2%	第一・富士台・多摩川小学校地域	16.7%
			無回答	1.8%

(2)お住まいの近くにある公立小学校はどれですか。(1つに○)
 身体(64歳以下)(n=221) 身体(65歳以上)(n=250)

	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
第一小学校区	9.0%	4.0%	染地小学校区	1.4%
第二小学校区	4.5%	3.2%	北ノ台小学校区	3.6%
第三小学校区	7.7%	4.8%	多摩川小学校区	4.1%
八雲台小学校区	3.6%	3.6%	杉森小学校区	3.2%
富士見台小学校区	2.7%	5.6%	飛田給小学校区	4.1%
滝坂小学校区	4.1%	2.8%	柏野小学校区	2.3%
深大寺小学校区	3.6%	2.8%	国領小学校区	9.5%
上ノ原小学校区	6.3%	6.0%	布田小学校区	4.1%
石原小学校区	6.3%	6.4%	調和小学校区	6.3%
若葉小学校区	2.3%	6.4%	わからない	5.9%
緑ヶ丘小学校区	1.8%	5.6%	無回答	3.6%

お住まいや居住意向についておたずねします

問5 あなたのお住まいは、次のどれですか。(1つに○)

身体(64歳以下)(n=221)	身体(65歳以上)(n=250)
1. 持ち家の一戸建て	49.6%
2. 持ち家の集合住宅(アパート・マンションなど)	16.4%
3. 民間賃貸の一戸建て	0.8%
4. 民間賃貸の集合住宅(アパート・マンションなど)	6.4%
5. 公営住宅(市営・都営住宅など)	16.8%
6. 社宅・公務員住宅など	0.4%
7. グループホーム	1.2%
8. その他(具体的に:)	7.6%
無回答	2.3%

問6 あなたは今後、どのように生活したいと思いますか。(1つに○)

身体(64歳以下)(n=221)	身体(65歳以上)(n=250)
1. 親や兄弟などの家族と一緒に生活する	20.8%
2. 一人暮らし、または自分の配偶者と一緒に生活する	46.0%
3. グループホームで生活する	1.6%
4. 入所施設で生活する	9.6%
5. その他(具体的に:)	6.8%
6. 分からない	13.2%
無回答	2.0%

障害の状況や日常生活についておたずねします

問7 あなたがご持ちの手帳または受けている診断名などについて、あてはまるものすべてに○をしてください。また、手帳の等級をご記入ください。

身体(64歳以下)(n=221) 身体(65歳以上)(n=250)

手帳の種類	または 診断名など	手帳の等級	身体(64歳以下)	身体(65歳以上)
1. 身体障害者手帳を持っている	() 級	() 級	97.7%	96.4%
2. 愛の手帳を持っている	() 度	() 度	7.7%	0.8%
3. 精神障害者保健福祉手帳を持っている	() 級	() 級	2.3%	1.2%
4. 発達障害の診断を受けている			0.9%	0.0%
5. 高次脳機能障害の診断を受けている			2.3%	1.2%
6. 難病の診断を受けている			8.6%	7.2%
7. 認知症疾患の診断を受けている			0.0%	1.2%
8. 日常的に医療的ケア(医師や看護師の処置)が必要である			2.7%	2.4%
無回答			1.4%	2.4%

※たん吸引、経管栄養(胃ろうなど)、導尿、人工呼吸器、酸素療法など、医師や看護師の管理・処置が必要な生活援助行為

身体障害者手帳 身体(64歳以下)(n=216) 身体(65歳以上)(n=241)

等級	身体(64歳以下)	身体(65歳以上)	身体(64歳以下)	身体(65歳以上)
1級	37.9%	29.5%	7.4%	2.9%
2級	20.4%	12.9%	3.7%	4.1%
3級	14.8%	13.7%	1.9%	6.2%
4級	13.9%	30.7%		

愛の手帳 身体(64歳以下)(n=17) 身体(65歳以上)(n=2)

度数	身体(64歳以下)	身体(65歳以上)	身体(64歳以下)	身体(65歳以上)
1度	17.6%	0.0%	23.5%	0.0%
2度	29.5%	0.0%	5.9%	50.0%
3度	23.5%	50.0%		

精神障害者保健福祉手帳 身体(64歳以下)(n=5) 身体(65歳以上)(n=3)

等級	身体(64歳以下)	身体(65歳以上)	身体(64歳以下)	身体(65歳以上)
1級	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%
2級	20.0%	33.3%	40.0%	66.7%

問7-1 問7で「1. 身体障害者手帳を持っている」と答えた方におたずねします。
障害の部位はどれですか。(いくつでも)
また、○をしたものうち、主な障害を1つだけ選び◎をしてください。

	障害の部位		主な障害
	64歳以下	65歳以上	
身体(64歳以下)(n=216)			65歳以上
身体(65歳以上)(n=241)			
1. 視覚	8.8%	5.0%	3.3%
2. 聴覚	10.6%	9.5%	7.5%
3. 平衡機能	4.2%	2.1%	0.8%
4. 音声・言語・そしゃく	3.2%	4.1%	1.7%
5. 肢体不自由	47.7%	38.2%	32.4%
6. 内部(心臓、じん臓、肝臓、呼吸器機能、ぼうこう、直腸、小腸機能)	33.8%	44.0%	41.0%
7. その他(具体的に：)	6.5%	10.4%	6.2%
無回答	0.5%	1.7%	7.1%

問8 あなたは、ご自分の健康や医療などについて困っていることや不安なことはありませんか。(いくつでも)

	身体(64歳以下)(n=221)	身体(65歳以上)(n=250)	身体(64歳以下)(64歳以下)	身体(65歳以上)(65歳以上)
1. 障害の重度化や病気の進行	40.3%	40.3%	36.8%	36.8%
2. 服薬の管理	9.0%	16.3%	10.4%	8.8%
3. 生活習慣病などの予防	8.1%	5.0%	10.0%	2.8%
4. 専門的な治療やリハビリを行う医療機関が身近にない	5.0%	5.0%	0.8%	6.4%
5. ちょっとした病気や怪我のときに診てくれる医療機関が身近にない	5.0%	4.5%	13.2%	2.8%
6. 障害を理由に診療や健診等を断られること	14.9%	10.9%	2.8%	2.4%
7. 通院するときに介助してくれる人がいない	5.4%	8.6%	6.0%	6.4%
8. 医療費や通院のための交通費の負担が大きい	25.8%	25.8%	35.6%	6.4%
9. 医師とのコミュニケーション				
10. 相談する場所がない				
11. その他(具体的に：)				
12. 特になし				
無回答				

問9 あなたは現在、家族、ヘルパーなどによる支援を受けていますか。

	支援は必要ない	主に家族の支援を受けている	主に家族以外(ヘルパー、相談機関など)の支援を受けている	支援がほしいが、受けていない	無回答
身体(64歳以下)(n=221)					
身体(65歳以上)(n=250)					
(1) 食事・着替え・入浴・排せつなど	68.7%	16.3%	3.6%	0.5%	10.9%
(2) 掃除、洗濯などの家事	53.2%	15.6%	10.0%	0.8%	20.4%
(3) 外出、交通機関の利用など	54.3%	32.1%	5.0%	2.7%	5.9%
(4) 医療機関の受診	40.8%	27.6%	12.8%	3.6%	15.2%
(5) コミュニケーション、人間関係の悩みなどの相談	62.0%	21.3%	6.8%	1.8%	8.1%
(6) 服薬の管理	45.6%	24.8%	6.8%	1.2%	21.6%
(7) お金の管理	59.3%	25.3%	6.8%	2.3%	6.3%
(8) 市役所、銀行などでの手続き	44.4%	29.6%	8.8%	0.8%	16.4%
(9) 子育てや家族の介護	65.2%	17.6%	2.7%	3.6%	10.9%
	50.4%	16.4%	6.4%	2.0%	24.8%
	70.6%	17.6%	2.7%	0.5%	8.6%
	53.6%	16.4%	9.2%	0.4%	20.4%
	65.6%	23.1%	0.9%	0.9%	9.5%
	50.0%	24.4%	4.0%	0.4%	21.2%
	57.9%	31.2%	3.2%	0.9%	6.8%
	40.4%	32.8%	4.4%	0.8%	21.6%
	68.7%	11.8%	0.9%	0.5%	18.1%
	52.8%	8.0%	2.8%	2.0%	34.4%

問9-1 問9で(1)~(9)のいずれかに「支援がほしいが、受けていない」と答えた方におたずねします。支援を受けていない理由は何ですか。(いくつでも)

	身体(64歳以下)(n=16)	身体(65歳以上)(n=18)	身体(64歳以下)(64歳以下)	身体(65歳以上)(65歳以上)
1. 支援してくれる人が身近にいない	37.5%	50.0%	22.2%	55.6%
2. 適切なサービスがあれば利用したいが、見つからない	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%
3. 周囲が必要ないと考えている				
4. その他(具体的に：)				
無回答				

問10 あなたは、次のような手助けを家族以外のまわりの人にできますか。

身体(64歳以下)(n=221)	身体(65歳以上)(n=250)	手助けができる	手助けができない	無回答
(1) 安否確認の声かけ	~64歳 65歳~	61.5% 46.4%	31.7% 35.6%	6.8% 18.0%
(2) ちょっとした買い物やごみ出し	~64歳 65歳~	54.8% 31.6%	38.0% 48.4%	7.2% 20.0%
(3) 食事や掃除・洗濯の手伝い	~64歳 65歳~	43.9% 21.6%	48.0% 57.2%	8.1% 21.2%
(4) 通院の送迎や外出の手助け	~64歳 65歳~	33.0% 17.2%	58.4% 62.0%	8.6% 20.8%
(5) 子どもの預かり	~64歳 65歳~	23.5% 11.6%	63.8% 62.0%	12.7% 26.4%
(6) 話し相手や相談相手	~64歳 65歳~	61.1% 40.0%	32.6% 38.4%	6.3% 21.6%
(7) 災害時避難の手助け	~64歳 65歳~	38.0% 20.0%	55.2% 57.6%	6.8% 22.4%
(8) 具合がよくないときに、病院等に連絡する	~64歳 65歳~	58.9% 41.6%	33.9% 38.0%	7.2% 20.4%

問11 最近6ヶ月間に家族以外の人と会話をしましたか。(1つに○)

身体(64歳以下)(n=221)	身体(65歳以上)(n=250)	身体(64歳以下)	身体(65歳以上)
1. よく会話をした	53.8%	44.8%	
2. とまどき会話をした	35.3%	46.0%	
3. ほとんど会話をしなかった	6.8%	4.8%	
4. まったく会話をしなかった	2.7%	2.8%	
無回答	1.4%	1.6%	

問12 あなたは普段どのくらい外出しますか。(1つに○)

身体(64歳以下)(n=221)	身体(65歳以上)(n=250)	身体(64歳以下)	身体(65歳以上)
1. 仕事や学校で平日は毎日外出する	43.5%	7.6%	
2. 仕事や学校で週に3~4日外出する	14.5%	6.4%	
3. 遊び等で頻繁に外出する	2.7%	7.2%	
4. 入つきあいのためにときどき外出する	7.2%	12.8%	
5. 普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のみだけ外出する	8.6%	10.8%	
6. 普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける	11.3%	21.2%	
7. 自宅からは出るが、家からは出ない	4.1%	10.4%	
8. 自宅からほとんど出ない	1.8%	4.8%	
無回答	6.3%	18.8%	

問12で5~8と答えた方は、問12-1, 問12-2, 問12-3にもお答えください。

問12-1 現在の状態となつてどのくらい経ちますか。(1つに○)

身体(64歳以下)(n=57)	身体(65歳以上)(n=118)	身体(64歳以下)	身体(65歳以上)
1. 6ヶ月未満	12.3%	1.8%	5.1%
2. 6ヶ月~1年未満	12.3%	12.3%	5.9%
3. 1年~2年未満	10.5%	12.3%	8.5%
4. 2年~3年未満	15.6%	10.5%	11.0%
5. 3年~5年未満	8.8%	15.6%	15.3%
6. 5年~7年未満	15.8%	8.8%	10.2%
7. 7年~10年未満	7.0%	15.8%	9.3%
8. 10年~15年未満	0.0%	7.0%	13.6%
9. 15年~20年未満	5.3%	0.0%	4.2%
10. 20年~25年未満	7.0%	5.3%	2.5%
11. 25年~30年未満	1.8%	7.0%	0.8%
12. 30年以上	1.8%	1.8%	6.8%
無回答			

問 12-2 現在の状態になっただけは何かはありますか。(いくつでも○)

身体(64歳以下)(n=57)	身体(65歳以上)(n=118)	身体(64歳以下)	身体(65歳以上)
1. 小学生時の不登校	0.0%	0.0%	0.0%
2. 中学生時の不登校	0.0%	0.0%	0.0%
3. 高校生時の不登校	0.0%	0.0%	0.0%
4. 大学生(専門学校生, 短期大学生を含む) 時等の不登校	1.8%	0.0%	0.0%
5. 受験に失敗したこと(高校・大学等)	0.0%	0.0%	0.0%
6. 就職活動がうまくいかなかったこと	1.8%	0.0%	0.0%
7. 職場になじめなかったこと	3.5%	0.0%	0.0%
8. 人間関係がうまくいかなかったこと	3.5%	0.0%	0.0%
9. 病気	66.7%	58.5%	58.5%
10. 妊娠したこと	1.8%	0.8%	0.8%
11. 退職したこと	19.3%	5.9%	5.9%
12. 介護・看護を担うことになったこと	5.3%	5.9%	5.9%
13. 持たない	3.5%	3.4%	3.4%
14. 分からない	5.3%	5.1%	5.1%
15. その他	3.5%	12.7%	12.7%
無回答	3.5%	3.5%	12.7%

問 12-3 現在の状態について、関係機関に相談したいと思いませんか。(1つに○)

身体(64歳以下)(n=57)	身体(65歳以上)(n=118)	身体(64歳以下)	身体(65歳以上)
1. 非常に思う	3.5%	3.5%	5.1%
2. 思う	12.3%	12.3%	15.3%
3. 少し思う	31.6%	31.6%	24.6%
4. 思わない	50.8%	50.8%	47.4%
無回答	1.8%	1.8%	7.6%

問 13 あなたを主に介護や支援をしているご家族はどなたですか。あて名のご本人からみた続柄で回答してください。(1つに○)
また、○をつけた方の性別にも○をつけて、年齢をご記入ください。

身体(64歳以下)(n=57)	身体(64歳以下)			身体(65歳以上)		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性
身体(65歳以上)(n=118)	33.0%	20.5%	24.7%	54.8%	36.4%	46.1%
1. 配偶者	23.1%	5.9%	31.4%	62.7%	0.8%	50.0%
2. 親	5.0%	9.1%	45.4%	45.5%	32.4%	27.2%
3. 子ども(子どもの配偶者を含む)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%
4. 孫(孫の配偶者を含む)	7.7%	11.8%	17.6%	70.6%	2.4%	0.0%
5. 兄弟姉妹	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
6. 祖父母	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	50.0%
7. その他の親族	21.7%	-	-	11.6%	-	-
8. いない	9.5%	-	-	14.4%	-	-
無回答	-	-	-	-	-	-

問 13-1 あなたが1～7で答えた方にお答えをお願いします。あなたを主に介護や支援をしているご家族は、介護にあたってどのような不安や困りごとがありますか。(いくつでも○)

身体(64歳以下)(n=152)	身体(65歳以上)(n=185)	身体(64歳以下)	身体(65歳以上)
1. 障害や病気のことがよく分からない	6.6%	6.6%	7.0%
2. 適切な介護・支援の方法が分からない	5.3%	5.3%	7.6%
3. 自分の時間が持たない(余暇・外出・休養など)	13.8%	13.8%	15.7%
4. 仕事につくこと・続けること	6.6%	6.6%	5.4%
5. 身体的な負担が大きい	17.1%	17.1%	21.6%
6. 精神的な負担が大きい	14.5%	14.5%	23.2%
7. 経済的な負担が大きい	14.5%	14.5%	18.9%
8. 他にも介護・支援が必要な家族がいる	12.5%	12.5%	7.0%
9. 相談できる場所がない	5.9%	5.9%	2.7%
10. 介護・支援をする家族自身の高齢化	19.7%	19.7%	28.1%
11. 介護・支援をする家族自身も病気や障害がある	11.2%	11.2%	13.5%
12. 何かあったときに本人の介護・支援を頼める人(勤務)がない	22.4%	22.4%	11.9%
13. その他(具体的に:)	2.0%	2.0%	2.2%
14. 持たない	34.2%	34.2%	24.9%
無回答	5.9%	5.9%	9.7%

問14 あなたは、地域での暮らしの中で、不安や課題、心配に感じることがありますか。
身近に感じる不安や課題をお答えください。(いくつでも)

身体(64歳以下) (n=221)	身体(65歳以上) (n=250)	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
1. 子育て、子どもの教育のこと	2. 健康のこと	7.2%	0.8%
3. 自分以外の家族の介護のこと	4. 将来・老後の生活のこと	47.5%	46.0%
5. 住まいや住宅のこと	6. 仕事のこと	21.3%	16.8%
7. お金のこと	8. 近所つきあい、友だちつきあいのこと	57.5%	39.6%
9. 防犯、地域の安全のこと	10. 災害時のこと	24.0%	14.0%
11. 気軽に相談できる人(機関)が少ないこと	12. 医療(治療・リハビリなど)に関すること	27.6%	2.8%
13. 福祉サービスのこと	14. 恋愛、性、結婚に関すること	35.7%	27.2%
15. その他(具体的に：)	16. 特になし	9.5%	3.2%
無回答	無回答	15.4%	11.2%
		47.1%	38.0%
		14.9%	8.0%
		21.7%	16.4%
		14.9%	8.8%
		7.2%	0.0%
		1.8%	1.6%
		10.0%	17.2%
		5.4%	6.8%

問15 あなたは、悩みや困ったことがある場合、主にどなたに相談しますか。
(いくつでも)

身体(64歳以下) (n=221)	身体(65歳以上) (n=250)	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
1. 一緒に住んでいる家族・親族	2. 離れて住んでいる家族・親族	65.2%	61.2%
3. 学校の先生	4. 友人・知人	29.9%	31.6%
5. 相談支援機関(ちようふだぞう、ドルチエ、希望ヶ丘、 こころの健康支援センター)の職員	6. サービス等利用計画の作成、モニタリングなどを 行う相談支援専門員	0.9%	0.0%
7. 障害者施設(作業所など)の職員、ヘルパー	8. 介護保険のケアマネジャー	35.3%	8.8%
9. 市役所の職員	10. 保健所の職員	5.4%	2.4%
11. 民生委員・児童委員	12. 医療機関(医師、看護師、ケースワーカー、訪問看護)の職員	2.7%	1.2%
13. その他(具体的に：)	14. 相談する人がいない	6.8%	1.2%
15. 相談の必要はない	無回答	4.5%	20.8%
		6.8%	3.6%
		0.5%	0.4%
		0.0%	0.0%
		14.9%	18.4%
		1.8%	3.2%
		2.7%	3.2%
		5.0%	5.6%
		3.2%	3.2%

問15-1 問15で1~13と答えた方におたずねします。
相談してよかったですか。(1つに0)

身体(64歳以下) (n=197)	身体(65歳以上) (n=220)	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
1. よかった	2. よくなかった	76.7%	73.2%
3. どちらともいえない	無回答	0.5%	2.7%
		20.8%	15.9%
		2.0%	8.2%

問 15-2 問15-1で「2. よくなかった」と答えた方におたずねします。
その理由は何かですか。(いくつでも)

身体(64歳以下)(n=1)	身体(65歳以上)(n=6)	身体(64歳以下)	身体(65歳以上)
1. 親身に考えてもらえなかったから	2. 話しづらかったから	3. 専門的な回答が得られなかったから	4. 期待していたような助言が得られなかったから
5. 何ヶ所も足を運び、同じ話をしなければならなかったから	6. その他(具体的に:)	無回答	

就労等についておたずねします

問16 あなたは、現在、給料や工賃を伴う仕事をしていますか。(1つに○)

身体(64歳以下)(n=221)	身体(65歳以上)(n=250)	身体(64歳以下)	身体(65歳以上)
1. 正規の社員・職員として仕事をしている	2. 非正規の社員・職員(嘱託、パート、アルバイト、契約、派遣等)として仕事をしている	3. 自営業(家庭手伝いを含む)で仕事をしている	4. 障害者施設(作業所など)で仕事をしている
5. 仕事をしていないが現任はしていない	6. 今まで仕事をしたことがない	無回答	

問16 で1～3と答えた方におたずねします。

問 16-1 あなたは、現在の勤務先で働き始めてどのくらいたちますか。(1つに○)

身体(64歳以下)(n=112)	身体(65歳以上)(n=26)	身体(64歳以下)	身体(65歳以上)
1. 6ヶ月未満	2. 6ヶ月～1年未満	3. 1年～3年未満	4. 3年～5年未満
5. 5年～10年未満	6. 10年以上	無回答	

問 16-2 あなたは、勤務先に自分の障害、病気などについて伝えていきますか。(1つに○)

身体(64歳以下)(n=112)	身体(65歳以上)(n=26)	身体(64歳以下)	身体(65歳以上)
1. 伝えている	2. 伝えていない	無回答	

問 16-3 あなたは、障害者の就労を支援する「障害者就労支援センター」(ちよふだぞう、こころの健康支援センター-就労支援室ライズ)を知っていますか。また、支援を受けていますか。(1つに○)

身体(64歳以下)(n=112)	身体(65歳以上)(n=26)	身体(64歳以下)	身体(65歳以上)
1. 知っていて、支援を受けている	2. 知っているが、支援は受けていない	3. 知らない	無回答

すべての方におたずねします。

問17 仕事をするために、あなたが必要と思うことは何ですか。(いくつでも○)

身体(64歳以下)(n=221)	身体(65歳以上)(n=250)	身体(64歳以下)	身体(65歳以上)
1. 技術、知識、資格などの習得	2. 心身の健康の維持・向上	3. 病气や障害に耐じた柔軟な勤務日、勤務時間の設定	4. 病气や障害に耐じた多様な働き方(在宅ワークなど)
5. 雇用する会社の施設面でのバリアフリー	6. 雇用する会社の上司や同僚の病气や障害への理解、協力	7. 通勤の支援	8. 勤務中に相談できたり、介助してくれる人がいること
9. 就職のための相談窓口	10. 就職後の仕事や人間関係の悩みを相談できる窓口	11. 職場実習など、就職前に試しに働く機会の拡大	14. その他(具体的に:)

問18 あなたは、今後どのように働きたいですか。現在働いている場合は、これからも同じ仕事を続けたい場合も含みます。(1つに○)

身体(64歳以下)(n=221)	身体(65歳以上)(n=250)	身体(64歳以下)	身体(65歳以上)
1. フルタイム(週5日、1日8時間)で働く	2.4%	36.7%	2.4%
2. パートタイム、短時間勤務(週4日以内、1日7時間以内)で働く	7.2%	24.0%	7.2%
3. 自営業(家業手伝いを含む)で働く	5.2%	6.3%	5.2%
4. 障害者施設(作業所など)で働く	1.6%	4.1%	1.6%
5. その他(具体的に)	8.4%	6.3%	8.4%
6. 働きたいと思わない	47.2%	16.3%	47.2%
無回答	28.0%	6.3%	28.0%

問19 仕事や普段通っている施設での活動以外に、あなたは普段の生活の中で以下のような活動を行う、または活動に参加する機会がありますか。

	十分にある	機会はあるが、十分ではない	機会はないが、ほしいと思う	必要を感じていない	無回答
(1) 一人で、またはヘルパーを利用して好きなお出かけ	36.7%	13.1%	10.9%	30.3%	9.0%
(2) 家族と出かける(普段の通勤・通所・通院は除く)	15.6%	6.8%	8.4%	35.2%	36.0%
(3) 友人との交流	47.5%	19.5%	8.6%	14.9%	9.5%
(4) スポーツ・運動以外の趣味・サークルなどの活動	28.0%	18.0%	7.2%	16.0%	30.8%
	40.3%	23.1%	16.7%	12.7%	7.2%
	26.4%	15.2%	10.4%	19.2%	28.8%
	21.3%	16.7%	28.1%	24.9%	9.0%
	18.0%	9.2%	12.8%	30.4%	29.6%

(1)~(4)について、それぞれ1つに○をつけてください。

身体(64歳以下)(n=221)

身体(65歳以上)(n=250)

問20 あなたは、どのくらいスポーツ活動・運動を行っていますか。(1つに○)

身体(64歳以下)(n=221)	身体(65歳以上)(n=250)	身体(64歳以下)	身体(65歳以上)
1. ほぼ毎日	11.2%	11.3%	11.2%
2. 週に1回程度	12.7%	12.7%	12.8%
3. 月に2、3回程度	7.2%	7.2%	5.6%
4. ほとんどしない	66.1%	66.1%	60.8%
無回答	9.6%	2.7%	9.6%

問20-1 問20で「4.ほとんどしない」と答えた方におたずねします。

スポーツ活動・運動をほとんどしない理由は次のどれですか。(いくつでも○)

身体(64歳以下)(n=146)	身体(65歳以上)(n=152)	身体(64歳以下)	身体(65歳以上)
1. 場所がないから	8.9%	8.9%	2.6%
2. スポーツや運動ができる場所に行くことが難しいから	5.5%	5.5%	12.5%
3. どこでどんな活動をしているか分からないから	15.1%	15.1%	10.5%
4. 一緒に参加する仲間がないから	13.7%	13.7%	8.6%
5. サポートしてくれる人がいないから	8.9%	8.9%	7.9%
6. 費用がかかるから	16.4%	16.4%	11.2%
7. 身体を動かすのが嫌いだから	13.0%	13.0%	6.6%
8. 障害があるためにスポーツや運動は難しいから	61.0%	61.0%	60.5%
9. その他(具体的に)	19.2%	19.2%	17.1%
無回答	3.3%	1.4%	3.3%

ちいき
地域のつながりについておたずねします

問21 あなたは、日ごろどのような近所づきあいをしていますか。(1つに○)

身体(64歳以下)(n=221)	身体(65歳以上)(n=250)	身体(64歳以下)	身体(65歳以上)
1. 家を行き来するなど、親しく近所づきあいをしている	3.6%	3.6%	9.2%
2. 立ち話をするくらいにつきあいをしている	15.8%	15.8%	32.0%
3. あいさつをするくらいにつきあいをしている	53.0%	53.0%	36.4%
4. 近所づきあいをしていない	24.0%	24.0%	18.8%
無回答	3.6%	3.6%	3.6%

問21-1 問21 で14. 近所つきあいをしていないと答えた方におたずねします。
近所つきあいをしていない主な理由は何ですか。(いくつでも〇)

身体(64歳以下)(n=53)	身体(65歳以上)(n=47)	身体(64歳以下)	身体(65歳以上)
1. 仕事や学業、家事・育児などで忙しく時間がないから		22.6%	0.0%
2. 引越してきて間もないから		7.5%	10.6%
3. 普段つきあう機会がないから		60.4%	36.2%
4. 同世代の人が近くにいないから		7.5%	8.5%
5. 気の合う人・話の合う人が近くにいないから		11.3%	19.1%
6. あまりかわりをもたなくないから		26.4%	23.4%
7. その他(具体的に:)		18.9%	27.7%
無回答		0.0%	2.1%

さいがいがいじ たいお
災害時の対応についておたずねします

問22 地震や災害などが起きた場合に、避難を助けてくれるような人がいますか。(いくつでも〇)

身体(64歳以下)(n=221)	身体(65歳以上)(n=250)	身体(64歳以下)	身体(65歳以上)
1. 家族		73.8%	72.8%
2. 近所の友人・知人		18.6%	17.6%
3. 自治会・民生委員などの地域の支援者		4.1%	11.2%
4. その他(具体的に:)		5.0%	8.0%
5. 避難を助けてくれるような人はいない		14.5%	11.6%
無回答		3.6%	3.2%

問23 調布市の防災訓練や地域で行っている避難訓練(防災教育の日を含む)に参加したことがありますか。(1つに〇)

身体(64歳以下)(n=221)	身体(65歳以上)(n=250)	身体(64歳以下)	身体(65歳以上)
1. ある		16.3%	26.4%
2. ない		81.4%	69.2%
無回答		2.3%	4.4%

問23-1 問23 で「2. ない」と答えた方におたずねします。
避難訓練(防災教育の日を含む)等に参加しない理由は何ですか。(いくつでも〇)

身体(64歳以下)(n=180)	身体(65歳以上)(n=173)	身体(64歳以下)	身体(65歳以上)
1. いっついで開催されているから分らないから		53.3%	32.4%
2. 参加する時間がないから		31.1%	7.5%
3. 一緒に参加してくれる仲間がいないから		9.4%	8.1%
4. サポートしてくれる人がいないから		9.4%	11.6%
5. 家族が参加しているから		4.4%	10.4%
6. 必要がないから		7.8%	12.7%
7. その他(具体的に:)		16.1%	30.6%
無回答		1.7%	6.4%

ふくし ちいさしやかい たい かんが かつ
福祉のまちづくり・地域社会に対する考え方について
おたずねします

問24 調布のまちは、障害(身体障害、知的障害、精神障害、難病など)のある人にとつて、福祉サービス、バリアフリー、市民意識などを総合的に考え、住みやすいまちであると感じますか。また、分野別の満足度もお答えください。

【総合的に考えて】(1つに〇)

身体(64歳以下)(n=221)	身体(65歳以上)(n=250)	身体(64歳以下)	身体(65歳以上)
1. 住みやすいと思う		17.2%	25.6%
2. どちらかといえば、住みやすいと思う		60.6%	52.8%
3. どちらかといえば、住みやすいと思わない		12.2%	10.0%
4. 住みやすいと思わない		5.0%	6.0%
無回答		5.0%	5.6%

【分野別の満足度】

(1)～(10)について、それぞれ1つに○をつけてください。

身体(64歳以下)(n=221)
身体(65歳以上)(n=250)

	大変満足している	まあ満足している	やや不満である	非常に不満である	どちらともいえない	無回答
(1) 公共施設、道路などのバリアフリー	54%	34.9%	29.4%	10.4%	14.9%	5.0%
(2) お店、病院などのバリアフリー	4.0%	30.8%	17.2%	10.0%	17.2%	20.8%
(3) わかりやすい案内・表示、コミユニケーションの支援	7.2%	47.1%	18.6%	6.3%	15.4%	5.4%
(4) 保育・教育、子育て支援	4.4%	37.6%	16.8%	5.2%	13.6%	22.4%
(5) 障害や障害者に対する市民の意識	6.8%	39.4%	18.1%	7.2%	23.5%	5.0%
(6) ヘルパーなどの利用しやすさ	3.2%	29.6%	14.0%	4.0%	22.8%	26.4%
(7) 障害者通所施設(作業所など)	3.6%	27.1%	8.1%	1.4%	49.4%	10.4%
(8) ショートステイ、一時預かりなどの利用しやすさ	2.4%	16.0%	7.2%	0.4%	36.8%	37.2%
(9) グループホームなどの住まい	3.2%	26.7%	18.6%	11.3%	33.0%	7.2%
(10) 障害のある人の相談窓口	2.0%	24.8%	16.0%	5.6%	27.2%	24.4%
	2.3%	21.3%	13.1%	2.7%	51.1%	9.5%
	4.8%	17.6%	10.0%	4.4%	32.4%	30.8%
	4.5%	17.6%	6.8%	4.1%	56.1%	10.9%
	1.6%	12.0%	6.8%	1.6%	42.0%	36.0%
	0.9%	14.9%	6.3%	5.9%	61.1%	10.9%
	3.2%	12.0%	8.8%	3.6%	37.2%	35.2%
	1.4%	11.3%	3.6%	4.5%	67.0%	12.2%
	1.6%	9.2%	6.0%	1.6%	42.4%	39.2%
	8.6%	24.4%	14.0%	4.1%	41.2%	7.7%
	3.6%	22.0%	9.2%	2.4%	29.2%	33.6%

問25 平成28年4月から、「障害者差別解消法」(障害を理由とする差別的解消の推進に関する法律)が施行されました。あなたは、「障害者差別解消法」について、どのくらい知っていますか。(1つに○)

	身体(64歳以下)(n=221)	身体(65歳以上)(n=250)	身体(64歳以下)(65歳以下)	身体(65歳以上)
1. 内容も初めて知っている	22.6%	22.6%	22.6%	5.6%
2. 法律名くらいは知っているが、内容は知らない	34.8%	34.8%	34.8%	32.8%
3. 全く知らない	39.4%	39.4%	39.4%	52.4%
無回答	3.2%	3.2%	3.2%	9.2%

※障害者差別解消法

この法律では、障害のある人に対して、正当な理由なく、障害のない人たちと違う扱いをすること(不当な差別的取扱い)を禁止しています。
また、障害のある人が困っている時、その人の障害にあった必要な工夫ややり方を伝えられた場合、負担が重すぎない範囲で対応すること(合理的配慮)が求められます。東京都は条例で民間事業者にも合理的配慮を義務付けました。

問26 あなたは、障害を理由に差別を受けて嫌な思いをしたり、偏見を感じたりすることがありますか。1または2と答えた方は、具体的にお書きください。(1つに○)

	身体(64歳以下)(n=221)	身体(65歳以上)(n=250)	身体(64歳以下)(65歳以下)	身体(65歳以上)
1. よくある	4.5%	4.5%	4.5%	1.2%
2. ときどきある	21.3%	21.3%	21.3%	4.4%
3. あまりない	43.0%	43.0%	43.0%	32.8%
4. 全くない	18.1%	18.1%	18.1%	38.0%
5. 分からない	8.6%	8.6%	8.6%	12.4%
無回答	4.5%	4.5%	4.5%	11.2%

問27 あなたが、役所、会社、お店などで困っている時にしてほしい支援や合理的配慮、またはこれまでに心に残っている支援や配慮があればお書きください。

ちょうふし しょうがいしゃふくし
調布市の障害者福祉サービスについておたずねします

問28 あなたは、調布市が配布しているヘルプカード※を持っていますか。(1つに○)

身体(64歳以下)	身体(65歳以上)
1. 持っていて、いつも持ち歩いている	19.5%
2. 持っているが、持ち歩いていない	25.3%
3. 持っていないが、ほしいと思う	19.5%
4. 持っていないし、必要ない	27.6%
無回答	8.1%

※ヘルプカード

ヘルプカードは、障害のある方が緊急連絡先、医療情報、手伝ってほしい内容などを記載し、普段から身に付けておくことで、緊急時や災害時、日常の困ったときに、周囲の配慮や手助けをお願ひしやすくなります。

障害福祉課の窓口で配布しています。

これとは別に、障害のある方に限らず、外見から分からなくても援助や配慮を必要としている方々のために「ヘルプマーク」もあります。



ヘルプカード

ヘルプマーク

問28-1 問28で「1. 持っていて、いつも持ち歩いている」と答えた方におたずねします。ヘルプカードを持っていることで、周囲の人に配慮してもらったり、手助けをしてもらったりしたことがありますか。(1つに○)

身体(64歳以下)	身体(65歳以上)
1. ある	27.9%
2. ない	51.2%
3. 分からない	11.6%
無回答	9.3%

問29 あなたは、次の調布市の相談窓口や制度を知っていますか。

身体(64歳以下)(n=221) 身体(65歳以上)(n=250)

	知っている	知らない	無回答
(1) ドルズエ 主に身体障害、高次脳機能障害のある方の相談窓口です。	28.1%	61.9%	10.0%
(2) ちょうふだぞう 主に知的障害のある方の相談窓口です。	14.4%	66.8%	18.8%
(3) 希望ヶ丘 主に精神障害のある方の相談窓口です。	31.2%	59.3%	9.5%
(4) こころの健康支援センター 主に精神障害、発達障害のある方の相談窓口です。	15.8%	73.8%	10.4%
(5) 難病相談窓口(障害福祉課・予約制) 専門の相談員が難病にかかったことでの不安や悩みごと全般に対する相談を受け、情報を提供する窓口です。	9.6%	69.6%	20.8%
(6) 障害者虐待防止センター(障害福祉課) 障害者の虐待に関する相談・通報を受ける窓口です。	100%	79.6%	10.4%
(7) 調布ライフサポート(総合福祉センター内) 障害者の虐待に関する相談・通報を受ける窓口です。	7.2%	72.4%	20.4%
(8) 地域包括支援センター(市内10ヶ所) 高齢者の方やご家族の方が、福祉や介護に関する様々な相談ができる総合相談窓口です。	12.2%	76.5%	11.3%
(9) 成年後見制度 判断能力が不十分であるために意思決定が困難な人の判断能力を、後見人等が補っていくことにより、法的に保護する制度です。	88%	70.0%	21.2%
(10) 住まいぬくもり相談室 適切な民間賃貸住宅の情報の提供や福祉サービス、行政支援などを紹介します。	36.7%	54.3%	9.0%
	53.6%	30.4%	16.0%
	37.1%	52.9%	10.0%
	36.4%	44.0%	19.6%
	4.5%	84.6%	10.9%
	3.6%	75.6%	20.8%

問30 あなたが今後、調布市で特に充実させてほしいと思う取組はどれですか。

(5つまで)

身体 (64歳以下) (n=221)	身体 (65歳以上) (n=250)	身体 (64歳以下) (65歳以上)
1. 困ったことを気軽に相談できる窓口	41.2%	41.2%
2. 健康づくり、健康の維持のための支援	17.2%	20.8%
3. 訪問診療、訪問看護などの地域での医療サービス	17.2%	25.6%
4. 手当や医療費の助成などの経済的な支援	33.9%	34.0%
5. 福祉サービスの利用や手続きを支援するサービス	22.2%	19.2%
6. 成年後見制度など金銭、財産などの管理の支援	5.0%	2.8%
7. ホームヘルパーなど在宅生活を支援するサービス	12.2%	15.6%
8. ガイドヘルパー、コミュニケーション支援など社会参加の支援	6.3%	1.6%
9. 介護者の病気など、緊急時における一時預かり、ショートステイ	16.3%	22.8%
10. 福祉サービスに関わる専門的な人材の育成	14.5%	9.2%
11. 通所施設（作業所）など日中の活動場所の整備	5.9%	1.6%
12. 企業などで働くための支援（就労支援）	19.0%	3.2%
13. 仕事以外の趣味や余暇活動・スポーツ活動などの支援や場所の整備	14.0%	10.4%
14. グループホームなど地域における住まいの場の整備	5.9%	8.0%
15. 障害理解の促進や差別の解消	19.5%	6.0%
16. 公共施設や道路、交通機関などのバリアフリー	38.9%	25.6%
17. 障害に起因した多様な情報提供の充実	33.0%	14.8%
18. 災害時の支援体制の整備	39.4%	33.6%
19. 障害のある当事者、家族同士の情報交換、交流の機会	10.0%	6.8%
20. その他（具体的に：）	2.7%	2.0%
無回答	7.7%	16.0%

問31 ご意見・ご要望がありましたら、何でもご自由に記入ください。

たくさんのお質問にお答えいただき、誠にありがとうございました

調査3

知的・精神・難病

調布市民福祉ニーズ調査 障害のある方の地域生活に関する調査

調布市の障害者福祉を進めるうえでの大切なアンケートです。
あなたのご意見がこれからの調布市の福祉施策に生かされます。

調査についてのおお願い

市民の皆さまには日ごろから市政発展のため、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

この調査は、今後の障害者福祉施策等のあり方を検討し、「調布市障害者総合計画」を改定するため、皆さまのご意見やご要望を広くお聴きし、より身近な福祉施策を推進するために実施するものです。

ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理し、調査目的以外に使用することはありません。お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

令和元年10月 調布市長 友 貴 樹

裏面の「記入についてのおお願い」をよくお読みのうえ、ご記入をお願いします。

調査票、返信用封筒には住所、氏名を記入する必要はありません。
ご記入が завершиましたら、調査票を同封の返信用封筒（切手は不要です。）に入れ、

10月28日(月)までに郵便ポストに投函してください。

調査についてご質問などがありましたら、下記までお問い合わせください。また、お一人で回答が難しい場合は、ご相談ください。

令和元年9月1日現在、調布市にお住まいの身体障害者手帳、愛の手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方や難病の愛の手帳、18歳以上の方の中から、1,800人を無作為に抽出しました。



質問や相談はこちらまでどうぞ↓

調布市 福祉健康部 障害福祉課
電話：042-481-7135

この調査票の各ページには、「音声コード（Unit-Voice）」を付しています。「音声コード」は、1.8センチメートル角のコードを専用の読取機やスマートフォンアプリが音声に変換し、文章内容を読み上げるものです。



記入についてのおお願い

- 封筒のあて名ご本人について、ご記入をお願いいたします。調査票の設問中の「あなた」とは、封筒のあて名の方を指します。なお、ご本人が回答困難な場合、入院中などの場合は、ご家族やまわりの方がお手伝いいただくか、あて名のご本人の意見を聞いたうえで代わりにご記入ください。
- 濃い鉛筆又はボールペンで記入してください。
- お答えをいだけたく際は、あてはまる項目の番号を○印で囲んでください。[] の場合は回答内容を記入してください。
- の数は、それぞれの質問の指示に従ってください。
- 「その他」に○印をつけられた方は、[] 内に具体的な答えを記入してください。

いただいた回答は、アンケート調査の結果として集計分析のうえ、報告書を作成します。ホームページや図書館等で閲覧できます。（令和2年4月中を予定）

また、調査からみえた課題を整理して、今後の計画づくりに生かしてまいります。どうぞよろしくお願ひ申しあげます。

過去の調査から施策の充実につながった例

- 相談支援や就労支援のニーズが大きいたことが明らかになり、相談支援事業所や就労支援センターの支援体制の充実につながった。
- グループホームでの生活を希望している障害者が多いことが明らかになり、調布市におけるグループホーム整備支援の拡大につながった。
- 就学以降の障害児の居場所づくりのニーズが明らかになり、放課後等デイサービス事業所の拡大につながった。
- 仕事や学校等以外での余暇活動の機会が不十分であることが明らかになり、支援施策の拡充につながった。



あなた(あなた)のご本人のすることをおたずねします
 ※令和元年10月1日現在の状況をもとに回答してください。

問1 この調査に回答していただく方はどなたですか。(1つに〇)

知的 (n=172)		精神 (n=203)		難病 (n=173)	
知的	精神	知的	精神	知的	精神
1. 本人(代筆可)	49.4%	93.1%	87.3%	3. その他	0.6%
2. 家族	46.5%	5.9%	9.8%	無回答	3.5%
					0.5%
					1.2%
					1.7%

問2 あなたの性別をお答えください。(1つに〇)
 また、令和元年10月1日現在の年齢をご記入ください。

	知的 (n=172)		精神 (n=203)		難病 (n=173)	
	知的	精神	知的	精神	知的	精神
1. 男性	61.7%	52.7%	45.1%			
2. 女性	36.6%	47.3%	53.7%			
無回答	1.7%	0.0%	1.2%			

問3 現在、あなたが一緒に暮らしているご家族は、どなたですか。(いくつでも〇)

知的 (n=172)		精神 (n=203)		難病 (n=173)	
知的	精神	知的	精神	知的	精神
1. ひとり暮らし(グループホーム等で暮らしている場合を含む)	12.8%	40.4%	26.0%		
2. 配偶者(夫または妻)	2.3%	20.7%	56.1%		
3. 父親	57.0%	17.7%	5.8%		
4. 母親	71.5%	26.1%	7.5%		
5. 子ども(子どもの配偶者を含む)	1.7%	13.3%	31.2%		
6. 孫(孫の配偶者を含む)	0.0%	0.0%	3.5%		
7. 兄弟姉妹	37.2%	10.8%	2.9%		
8. 祖父母	3.5%	1.0%	0.0%		
9. その他(具体的に：)	2.9%	5.4%	3.5%		
無回答	1.7%	0.5%	1.2%		

問4 (1)お住まいの地域はどこですか。
 記入例を参考に(町名)、(丁目)をご記入ください。

知的 (n=172) 精神 (n=203) 難病 (n=173)

	知的	精神	難病	知的	精神	難病
滝坂・緑ヶ丘小学校地域	7.6%	9.9%	10.4%	染地・杉森・布田小学校地域	14.0%	12.7%
深大寺・北ノ台小学校地域	8.1%	7.4%	10.4%	若葉・調和小学校地域	7.6%	13.3%
第二・八雲台・国領小学校地域	15.7%	18.2%	15.6%	上ノ原・柏野小学校地域	13.4%	6.4%
第三・石原・飛田給小学校地域	16.2%	9.9%	18.0%	第一・富士見台・多摩川小学校地域	15.7%	9.2%
				無回答	1.7%	4.0%

知的 (n=172) 精神 (n=203) 難病 (n=173)

	知的	精神	難病	知的	精神	難病
1. 第一小学校区	8.7%	3.4%	4.0%	12. 染地小学校区	2.9%	3.5%
2. 第二小学校区	3.5%	3.9%	2.9%	13. 北ノ台小学校区	4.1%	5.2%
3. 第三小学校区	5.8%	3.0%	6.9%	14. 多摩川小学校区	4.1%	2.9%
4. 八雲台小学校区	5.2%	4.4%	7.6%	15. 杉森小学校区	8.7%	5.2%
5. 富士見台小学校区	2.9%	5.9%	1.7%	16. 飛田給小学校区	3.5%	2.3%
6. 滝坂小学校区	2.9%	4.4%	6.9%	17. 柏野小学校区	3.5%	1.2%
7. 深大寺小学校区	4.1%	1.5%	5.2%	18. 国領小学校区	6.4%	3.5%
8. 上ノ原小学校区	9.3%	6.4%	4.6%	19. 布田小学校区	1.7%	3.5%
9. 石原小学校区	5.2%	4.4%	7.5%	20. 調和小学校区	2.9%	5.8%
10. 若葉小学校区	4.1%	6.9%	6.4%	21. わからない	3.5%	6.9%
11. 緑ヶ丘小学校区	4.1%	2.5%	2.3%	無回答	2.9%	4.0%

お住まいや居住意向についておたずねします

問5 あなたのお住まいは、次のどれですか。(1つに○)

知的 (n=172)	精神 (n=203)	難病 (n=173)	知的	精神	難病
1. 持ち家の一戸建て			40.6%	20.2%	37.0%
2. 持ち家の集合住宅 (アパート・マンションなど)			19.2%	18.7%	22.5%
3. 民間賃貸の一戸建て			0.6%	1.0%	4.0%
4. 民間賃貸の集合住宅 (アパート・マンションなど)			13.4%	37.4%	19.7%
5. 公営住宅 (市営・都営住宅など)			15.7%	11.8%	6.9%
6. 社宅・公務員住宅など			0.0%	1.5%	0.6%
7. グループホーム			4.7%	2.0%	0.0%
8. その他(具体的に:)			2.9%	3.0%	6.4%
無回答			2.9%	4.4%	2.9%

問6 あなたは今後、どのように生活したいと思いますか。(1つに○)

知的 (n=172)	精神 (n=203)	難病 (n=173)	知的	精神	難病
1. 親や兄弟などの家族と一緒に生活する			34.9%	20.2%	22.5%
2. 一人暮らし、または自分の配偶者と一緒に生活する			14.0%	54.2%	54.8%
3. グループホームで生活する			20.9%	3.9%	0.6%
4. 入所施設で生活する			5.2%	2.5%	6.4%
5. その他(具体的に:)			2.3%	4.9%	3.5%
6. 分からない			18.6%	11.8%	8.7%
無回答			4.1%	2.5%	3.5%

障害の状況や日常生活についておたずねします

問7 あなたがご持ちの手帳または受けている診断名などについて、あてはまるものすべてに○をしてください。また、手帳の等級をご記入ください。

知的 (n=172)	精神 (n=203)	難病 (n=173)	知的	精神	難病
手帳の種別 または、 診断名など 、 手帳の等級					
1. 身体障害者手帳を持っている			12.8%	11.3%	29.5%
2. 愛の手帳を持っている			94.2%	3.0%	0.6%
3. 精神障害者保健福祉手帳を持っている			2.9%	89.2%	0.6%
4. 発達障害の診断を受けている			7.6%	9.9%	0.0%
5. 高次脳機能障害の診断を受けている			1.2%	2.5%	1.2%
6. 難病の診断を受けている			1.2%	1.0%	69.9%
7. 認知症疾患の診断を受けている			0.0%	1.5%	1.7%
8. 日常的に医療的ケア (医師や看護師の処置) *が必要である			0.0%	1.5%	3.5%
無回答			1.2%	3.0%	8.1%

* 1. 胃ろう、2. 経管栄養 (胃ろうなど)、3. 導尿、4. 人工呼吸器、5. 酸素療法など、
6. 医師や看護師の管理・処置が必要な生活援助行為

身体障害者手帳 知的 (n=22) 精神 (n=23) 難病 (n=51)

	知的	精神	難病	知的	精神	難病
1級	27.4%	0.0%	62.7%	0.0%	0.0%	5.9%
2級	22.7%	60.9%	5.9%	4.5%	0.0%	0.0%
3級	22.7%	17.4%	11.8%	9.1%	13.0%	5.9%
4級	13.6%	8.7%	7.8%			

愛の手帳 知的 (n=162) 精神 (n=6) 難病 (n=1)

	知的	精神	難病	知的	精神	難病
1度	3.7%	0.0%	100.0%	45.6%	50.0%	0.0%
2度	25.3%	50.0%	0.0%	5.6%	0.0%	0.0%
3度	19.8%	0.0%	0.0%			

精神障害者保健福祉手帳 知的 (n=5) 精神 (n=181) 難病 (n=1)

	知的	精神	難病	知的	精神	難病
1級	0.0%	3.9%	0.0%	0.0%	43.6%	100.0%
2級	60.0%	50.3%	0.0%	40.0%	2.2%	0.0%

問7-1 問7で「1. 身体障害者手帳を持っている」と答えた方におたずねします。
障害の部位はどれですか。(いくつでも)

また、○をしたものうち、主な障害を1つだけ選び○をしてください。

	障害の部位			主な障害		
	知的	精神	難病	知的	精神	難病
知的(n=22) 精神(n=23) 難病(n=51)						
1. 視覚	4.5%	0.0%	3.9%	4.5%	0.0%	0.0%
2. 聴覚	18.2%	0.0%	2.0%	13.6%	0.0%	0.0%
3. 平衡機能	9.1%	0.0%	9.8%	4.5%	0.0%	3.9%
4. 音声・言語・そしゃく	9.1%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	2.0%
5. 肢体不自由	40.9%	13.0%	27.5%	36.5%	13.0%	23.5%
6. 内部(心臓、じん臓、肝臓、呼吸器機能、ぼうこう・直腸、小腸機能)	13.6%	8.7%	58.8%	13.6%	4.3%	53.0%
7. その他(具体的に：)	22.7%	39.1%	19.6%	18.2%	34.8%	7.8%
無回答	0.0%	43.5%	0.0%	9.1%	47.9%	9.8%

問8 あなたは、ご自分の健康や医療などについて困っていることや不安なことはありませんか。(いくつでも)

	知的	精神	難病
知的(n=172) 精神(n=203) 難病(n=173)			
1. 障害の重度化や病気の進行	12.8%	36.5%	43.9%
2. 服薬の管理	18.0%	11.8%	8.7%
3. 生活習慣病などの予防	27.3%	26.6%	16.8%
4. 専門的な治療やリハビリを行う医療機関が身近にない	8.1%	9.9%	6.9%
5. ちょっとした病気や怪我とぎに診てくれる医療機関が身近にない	7.0%	4.9%	4.6%
6. 障害を理由に診療や健診等を断られること	4.1%	3.9%	1.2%
7. 通院するときに介助してくれる人がいない	5.8%	7.9%	3.5%
8. 医療費や通院のための交通費の負担が大きい	10.5%	27.6%	22.0%
9. 医師とのコミュニケーション 相談する場所がない	23.8%	10.3%	3.5%
10. その他(具体的に：)	9.3%	10.8%	2.9%
11. その他(具体的に：)	5.8%	12.8%	5.2%
12. 持にない	27.3%	23.6%	23.7%
無回答	10.5%	3.0%	6.4%

問9 あなたは現在、家族、ヘルパーなどによる支援を受けていますか。

	支援は必要ない	主に家族の支援を受けている	主に家族以外(ヘルパー、相談機関など)の支援を受けている	支援がほしいが受けていない	無回答
知的(n=172) 精神(n=203) 難病(n=173)					
(1) 食事・着替え・入浴・排泄など	48.3%	33.1%	5.2%	1.2%	12.2%
(2) 掃除、洗濯などの家事	69.4%	12.3%	2.5%	2.0%	13.8%
(3) 外出、交通機関の利用など	71.2%	9.2%	6.9%	0.6%	12.1%
(4) 医療機関の受診	20.9%	58.8%	9.3%	2.9%	8.1%
(5) コミュニケーション、介護関係の悩みなどの相談	51.7%	21.2%	7.4%	7.9%	11.8%
(6) 服薬の管理	58.4%	21.4%	6.9%	0.6%	12.7%
(7) お金の管理	41.9%	37.8%	5.2%	1.7%	13.4%
(8) 市役所、銀行などでの手続き	67.0%	10.3%	2.0%	5.9%	14.8%
(9) 子育てや家族の介護	61.3%	15.6%	4.6%	1.2%	17.3%
	26.2%	58.1%	4.7%	1.7%	9.3%
	62.6%	12.8%	6.9%	4.4%	13.3%
	59.5%	18.5%	4.6%	1.2%	16.2%
	23.3%	42.9%	15.7%	4.7%	13.4%
	36.9%	13.8%	21.2%	13.3%	14.8%
	66.5%	9.2%	3.5%	0.0%	20.8%
	36.6%	43.5%	4.7%	1.2%	14.0%
	62.5%	12.8%	8.4%	3.0%	13.3%
	70.6%	9.2%	5.2%	0.0%	15.0%
	21.5%	62.1%	4.7%	1.2%	10.5%
	57.7%	22.2%	3.4%	5.4%	11.3%
	68.1%	16.8%	1.2%	0.0%	13.9%
	15.7%	70.4%	2.3%	1.7%	9.9%
	57.2%	20.7%	3.9%	5.9%	12.3%
	60.1%	23.1%	0.6%	1.2%	15.0%
	46.5%	11.0%	0.6%	4.7%	37.2%
	60.5%	8.4%	3.0%	6.9%	21.2%
	68.7%	5.2%	0.6%	0.6%	24.9%

問9-1にもお答えください

問9-1 問9で(1)～(9)のいずれかに「支援がほしいが、受けていない」と答えた方におたずねします。支援を受けていない理由はどのようなことですか。(いくつでも)

知的(n=15)	精神(n=48)	難病(n=5)	知的	精神	難病
1. 支援してくれる人が身近にいない			13.3%	33.3%	40.0%
2. 適切なサービスがあれば利用したいが、見つからない			33.3%	66.7%	60.0%
3. 周囲が必要ないと考えている			13.3%	20.8%	0.0%
4. その他(具体的に：)			20.0%	27.1%	20.0%
無回答			33.3%	2.1%	20.0%

問10 あなたは、次のような手助けを家族以外のまわりの人にできますか。

	知的(n=172)			精神(n=203)			難病(n=173)		
	知的	精神	難病	知的	精神	難病	知的	精神	難病
(1) 安否確認の声かけ	29.1%	59.9%	11.0%	60.1%	30.5%	9.4%	60.7%	25.4%	13.9%
(2) ちょっとした重い物やごみ出し	41.9%	47.6%	10.5%	58.1%	33.0%	8.9%	50.8%	34.7%	14.5%
(3) 食事や掃除・洗濯の手伝い	36.6%	51.2%	12.2%	45.9%	43.3%	10.8%	39.3%	43.9%	16.8%
(4) 通院の送迎や外出の手助け	16.3%	70.9%	12.8%	37.4%	51.3%	11.3%	32.4%	52.0%	15.6%
(5) 子どもの預かり	9.9%	72.7%	17.4%	18.7%	66.0%	15.3%	23.7%	58.4%	17.9%
(6) 話し相手や相談相手	26.2%	61.0%	12.8%	43.8%	44.9%	11.3%	50.9%	32.9%	16.2%
(7) 災害時避難の手助け	18.6%	69.2%	12.2%	41.4%	49.7%	8.9%	39.9%	45.1%	15.0%
(8) 具合が悪くないときに、病院等に連絡する	18.6%	68.6%	12.8%	56.7%	32.0%	11.3%	52.6%	30.6%	16.8%

問11 最近6ヶ月間に家族以外の人と会話をしましたか。(1つに○)

知的(n=172)	精神(n=203)	難病(n=173)	知的	精神	難病
1. よく会話をした			45.3%	38.9%	65.9%
2. ときどき会話をした			32.0%	45.8%	27.2%
3. ほとんど会話をしなかった			9.3%	12.8%	4.6%
4. まったく会話をしなかった			7.0%	2.5%	0.0%
無回答			6.4%	0.0%	2.3%

問12 あなたは普段どのくらい外出しますか。(1つに○)

知的(n=172)	精神(n=203)	難病(n=173)	知的	精神	難病
1. 仕事や学校で平日は毎日外出する			67.3%	32.3%	36.9%
2. 仕事や学校で週に3～4日外出する			8.1%	15.8%	11.6%
3. 遊び等で頻繁に外出する			4.1%	2.0%	3.5%
4. 入つきあいのためにときどき外出する			1.2%	9.4%	9.2%
5. 普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のみだけ外出する			6.4%	9.9%	6.4%
6. 普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける			3.5%	17.7%	9.2%
7. 自宅からは出るが、家からは出ない			0.6%	3.0%	8.7%
8. 自宅からほとんど出ない			1.2%	2.0%	3.5%
無回答			7.6%	7.9%	11.0%

問12で5～8と答えた方は、問12-1、問12-2、問12-3にもお答えください。

問12-1 現在の状態となつてどのくらい経ちますか。(1つに○)

知的(n=20)	精神(n=66)	難病(n=48)	知的	精神	難病
1. 6ヶ月未満			100%	6.1%	8.3%
2. 6ヶ月～1年未満			5.0%	4.5%	4.2%
3. 1年～2年未満			0.0%	3.0%	12.5%
4. 2年～3年未満			0.0%	9.1%	8.3%
5. 3年～5年未満			5.0%	10.6%	12.5%
6. 5年～7年未満			0.0%	7.6%	6.3%
7. 7年～10年未満			0.0%	12.1%	10.4%
8. 10年～15年未満			10.0%	7.6%	18.7%
9. 15年～20年未満			5.0%	12.1%	2.1%
10. 20年～25年未満			10.0%	6.1%	0.0%
11. 25年～30年未満			5.0%	4.5%	0.0%
12. 30年以上			15.0%	9.1%	6.3%
無回答			35.0%	7.6%	10.4%

問 12-2 現在の状態になっただけは何かはありますか。(いくつでも)

知的 (n=20)	精神 (n=66)	知的 (n=48)	知的	精神	難病
1. 小学生時の不登校		5.0%	5.0%	3.0%	0.0%
2. 中学生時の不登校		15.0%	15.0%	6.1%	0.0%
3. 高校生時の不登校		0.0%	0.0%	9.1%	0.0%
4. 大学生 (専門学校生、短期大学生を含む) 時等の不登校		0.0%	0.0%	3.0%	0.0%
5. 受験に失敗したこと (高校・大学等)		0.0%	0.0%	3.0%	0.0%
6. 就職活動がうまくいかなかったこと		20.0%	20.0%	7.6%	2.1%
7. 職場になじめなかったこと		15.0%	15.0%	13.6%	2.1%
8. 人間関係がうまくいかなかったこと		25.0%	25.0%	30.3%	4.2%
9. 病気		10.0%	10.0%	53.0%	72.9%
10. 妊娠したこと		0.0%	0.0%	1.5%	2.1%
11. 退職したこと		10.0%	10.0%	15.2%	8.3%
12. 介護・看護を担うことになったこと		0.0%	0.0%	6.1%	0.0%
13. 特になし		5.0%	5.0%	1.5%	0.0%
14. 分からない		25.0%	25.0%	4.5%	4.2%
15. その他		10.0%	10.0%	18.2%	4.2%
無回答		15.0%	15.0%	6.1%	12.5%

問 12-3 現在の状態について、関係機関に相談したいと思いませんか。(1つに0)

知的 (n=20)	精神 (n=66)	知的 (n=48)	知的	精神	難病
1. 非常に思う		15.0%	15.0%	15.2%	4.2%
2. 思う		5.0%	5.0%	15.2%	10.4%
3. 少し思う		30.0%	30.0%	28.8%	18.8%
4. 思わない		30.0%	30.0%	33.2%	52.0%
無回答		20.0%	20.0%	7.6%	14.6%

問 13 あなたを主に介護や支援をしているご家族はどなたですか。あて名のご本人からみた統制で回答してください。(1つに0)
また、0をつけた方の性別にも0をつけて、年齢をご記入ください。

知的 (n=172)	知的					精神					難病			
	全体	男性	女性	無回答	平均年齢	全体	男性	女性	無回答	平均年齢	男性	女性	無回答	平均年齢
精神 (n=203)														
難病 (n=173)														
1. 配偶者	1.7%	0.0%	33.3%	66.7%	51.0歳	15.8%	37.5%	37.5%	25.0%	48.8歳	36.3%	38.7%	41.3%	64.2歳
2. 親	73.8%	4.7%	26.0%	69.3%	64.7歳	31.4%	14.1%	42.2%	43.7%	70.9歳	4.6%	12.5%	75.0%	67.8歳
3. 子ども(子どもの配偶者を含む)	0.6%	0.0%	0.0%	100.0%	23.0歳	2.5%	0.0%	20.0%	80.0%	38.0歳	13.9%	37.5%	45.8%	49.9歳
4. 孫 (孫の配偶者を含む)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	-歳	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	-歳	0.6%	0.0%	0.0%	32.5歳
5. 兄弟姉妹	2.9%	0.0%	20.0%	80.0%	66.5歳	8.4%	17.6%	29.4%	53.0%	61.1歳	2.3%	0.0%	25.0%	61.9歳
6. 祖父母	0.6%	0.0%	0.0%	100.0%	90.0歳	0.5%	0.0%	100.0%	0.0%	79.0歳	0.0%	0.0%	0.0%	84.5歳
7. その他の親族	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	-歳	1.5%	0.0%	33.3%	66.7%	78.3歳	1.2%	0.0%	100.0%	72.5歳
8. いなし	14.0%			-		29.6%			-		27.2%			-
無回答	6.4%			-		10.3%			-		13.9%			-

問 13-1 問13で1～7と答えた方におたずねします。あなたを主に介護や支援をしているご家族は、介護にあたってどのような不安や困りごとがありますか。(いくつでも)

知的 (n=137)	精神 (n=122)	難病 (n=102)	知的	精神	難病
1. 障害や病気のことがよく分からない			7.3%	23.8%	9.8%
2. 適切な介護・支援の方法が分からない			5.1%	16.4%	8.8%
3. 自分の時間が持てない (余暇・外出・休養など)			22.6%	18.0%	9.8%
4. 仕事につくこと・続けること			21.2%	17.2%	6.9%
5. 身体的な負担が大きい			21.9%	19.7%	17.6%
6. 精神的な負担が大きい			29.2%	36.1%	20.6%
7. 経済的な負担が大きい			16.8%	38.5%	8.8%
8. 他にも介護・支援が必要な家族がいる			12.4%	9.0%	5.9%
9. 相談できる場所がない			8.8%	12.3%	1.0%
10. 介護・支援をする家族自身の高齢化			46.7%	37.7%	22.5%
11. 介護・支援をする家族自身も病気や障害がある			19.0%	18.0%	12.7%
12. 何かあったときに本人の介護・支援を頼める人(勤務)がない			34.3%	23.8%	8.8%
13. その他 (具体的に：)			8.0%	4.1%	3.9%
14. 特になし			13.1%	13.1%	40.2%
無回答			5.1%	5.7%	8.8%

問14 あなたは、地域での暮らしの中で、不安や課題、心配に感じることがありますか。身近に感じる不安や課題をお答えください。(いくつでも○)

知的	精神	知的	精神	難病
知的(n=172) 精神(n=203) 難病(n=173)				
3.5%	9.9%	3.5%	9.9%	5.2%
40.7%	50.7%	40.7%	50.7%	49.7%
9.3%	25.6%	9.3%	25.6%	19.7%
57.6%	69.0%	57.6%	69.0%	45.1%
20.3%	41.4%	20.3%	41.4%	17.3%
26.2%	44.3%	26.2%	44.3%	13.3%
40.1%	63.5%	40.1%	63.5%	37.0%
14.5%	25.6%	14.5%	25.6%	2.9%
12.2%	15.3%	12.2%	15.3%	12.1%
40.7%	36.5%	40.7%	36.5%	39.9%
17.4%	26.1%	17.4%	26.1%	5.8%
20.3%	16.7%	20.3%	16.7%	16.2%
20.3%	15.8%	20.3%	15.8%	9.8%
15.7%	21.7%	15.7%	21.7%	4.0%
5.8%	5.9%	5.8%	5.9%	1.2%
10.5%	5.4%	10.5%	5.4%	14.5%
6.4%	4.4%	6.4%	4.4%	5.2%
無回答				

問15 あなたは、悩みや困ったことがある場合、主にどなたに相談しますか。(いくつでも○)

知的	精神	知的	精神	難病
知的(n=172) 精神(n=203) 難病(n=173)				
59.3%	42.4%	59.3%	42.4%	54.9%
9.9%	28.6%	9.9%	28.6%	31.8%
1.2%	1.5%	1.2%	1.5%	0.0%
16.3%	28.6%	16.3%	28.6%	26.0%
37.8%	24.6%	37.8%	24.6%	2.3%
9.9%	10.3%	9.9%	10.3%	2.3%
29.1%	14.3%	29.1%	14.3%	2.3%
1.2%	4.9%	1.2%	4.9%	13.9%
9.3%	11.3%	9.3%	11.3%	5.2%
0.6%	3.4%	0.6%	3.4%	0.0%
0.0%	1.5%	0.0%	1.5%	0.0%
14.5%	42.9%	14.5%	42.9%	18.5%
3.5%	6.9%	3.5%	6.9%	2.3%
2.3%	5.9%	2.3%	5.9%	1.2%
5.2%	4.9%	5.2%	4.9%	6.4%
7.0%	3.0%	7.0%	3.0%	5.8%
無回答				

問 15-1 問15 で1～13と答えた方におたずねします。相談してよかったですか。(1つに○)

知的	精神	知的	精神	難病
知的(n=147) 精神(n=175) 難病(n=150)				
66.0%	68.5%	66.0%	68.5%	75.4%
3.4%	4.6%	3.4%	4.6%	1.3%
23.1%	22.9%	23.1%	22.9%	19.3%
7.5%	4.0%	7.5%	4.0%	4.0%
無回答				

問 15-2 問15-1で「2. よくなかった」と答えた方におたずねします。
その理由は何か。(いくつでも○)

知的(n=5)	精神(n=8)	難病(n=2)	知的	精神	難病
1. 親身に考えてもらえなかったから			40.0%	37.5%	0.0%
2. 話しづらかったから			40.0%	37.5%	0.0%
3. 専門的な回答が得られなかったから			20.0%	25.0%	50.0%
4. 期待していたような助言が得られなかったから			40.0%	50.0%	0.0%
5. 何ヶ所も足を運び、同じ話をしなければならなかったから			40.0%	12.5%	0.0%
6. その他〔具体的に：〕			40.0%	37.5%	50.0%
無回答			0.0%	0.0%	0.0%

しゅうろうとう
就労等についておたずねします

問16 あなたは、現在、給料や工賃を伴う仕事をしていますか。(1つに○)

知的(n=172)	精神(n=203)	難病(n=173)	知的	精神	難病
1. 正規の社員・職員として仕事をしている			14.5%	7.9%	24.3%
2. 非正規の社員・職員(嘱託、パート、アルバイト、契約、派遣等)として仕事をしている			17.4%	25.6%	14.5%
3. 自営業(家庭手伝いを含む)で仕事をしている			0.6%	2.0%	1.7%
4. 障害者施設(作業所など)で仕事をしている			45.4%	15.3%	0.0%
5. 仕事をしていたが現在はしていない			9.3%	33.9%	38.2%
6. 今まで仕事をしたことがない			5.8%	6.4%	9.2%
無回答			7.0%	8.9%	12.1%

問16で1～3と答えた方におたずねします。

問 16-1 あなたは、現在の勤務先で働き始めてどのくらいたちますか。(1つに○)

知的(n=56)	精神(n=72)	難病(n=70)	知的	精神	難病
1. 6ヶ月未満			8.9%	19.4%	2.9%
2. 6ヶ月～1年未満			10.7%	5.6%	5.7%
3. 1年～3年未満			16.1%	22.2%	11.4%
4. 3年～5年未満			10.7%	9.7%	7.1%
5. 5年～10年未満			12.5%	12.5%	18.6%
6. 10年以上			39.3%	27.8%	54.3%
無回答			1.8%	2.8%	0.0%

問 16-2 あなたは、勤務先に自分の障害、病気などについて伝えてありますか。(1つに○)

知的(n=56)	精神(n=72)	難病(n=70)	知的	精神	難病
1. 伝えている			89.3%	73.6%	85.7%
2. 伝えていない			7.1%	25.0%	12.9%
無回答			3.6%	1.4%	1.4%

問 16-3 あなたは、障害者の就労を支援する「障害者就労支援センター」(ちようふだぞう、こころの健康支援センター「就労支援室ライズ」)を知っていますか。また、支援を受けていますか。(1つに○)

知的(n=56)	精神(n=72)	難病(n=70)	知的	精神	難病
1. 知っていて、支援を受けている			66.1%	31.9%	2.9%
2. 知っているが、支援は受けていない			23.2%	33.4%	18.6%
3. 知らない			8.9%	33.3%	75.6%
無回答			1.8%	1.4%	2.9%

すべての方におたずねします。

問17 仕事をするために、あなたが必要と思うことは何ですか。(いくつでも○)

知的(n=172)	精神(n=203)	難病(n=173)	知的	精神	難病
1. 技術、知識、資格などの習得			20.3%	46.8%	32.4%
2. 心身の健康の維持・向上			54.1%	77.8%	46.2%
3. 病気や障害に耐えた柔軟な勤務日、勤務時間の設定			32.0%	57.6%	33.5%
4. 病気や障害に耐えた多様な働き方(在宅ワークなど)			16.3%	40.9%	22.0%
5. 雇用する会社の施設面でのバリアフリー			7.6%	6.4%	7.5%
6. 雇用する会社の上司や同僚の病気や障害への理解、協力			36.0%	50.2%	31.8%
7. 通勤の支援			17.4%	15.8%	5.2%
8. 勤務中に相談できたり、介助をしてくれる人がいること			34.3%	25.6%	5.8%
9. 就職のための相談窓口			13.4%	30.0%	6.4%
10. 就職後の仕事や人間関係の悩みを相談できる窓口			20.3%	36.9%	8.7%
11. 職場実習など、就職前に試みに働く機会の拡大			11.6%	23.6%	6.4%
14. その他〔具体的に：〕			3.5%	4.4%	4.6%
15. 特になし			14.0%	6.9%	21.4%
無回答			11.6%	3.0%	13.9%

問18 あなたは、今後どのように働きたいですか。現在働いている場合は、これからも同じ仕事を続けたい場合も含みます。(1つに○)

知的(n=172)	精神(n=203)	難病(n=173)	知的	精神	難病
1. フルタイム(週5日、1日8時間)で働く	27.3%	28.2%	27.3%	28.2%	27.7%
2. パートタイム、短時間勤務(週4日以内、1日7時間以内)などで働く	8.1%	24.6%	8.1%	24.6%	16.2%
3. 自営業(家業手伝いを含む)で働く	1.7%	4.4%	1.7%	4.4%	2.9%
4. 障害者施設(作業所など)で働く	42.0%	10.8%	42.0%	10.8%	0.6%
5. その他(具体的に：)	2.3%	10.8%	2.3%	10.8%	8.1%
6. 働きたいと思わない	5.2%	12.3%	5.2%	12.3%	32.4%
無回答	13.4%	8.9%	13.4%	8.9%	12.1%

問19 仕事や普段通っている施設での活動以外に、あなたは普段の生活の中で以下のような活動を行う、または活動に参加する機会がありますか。

	十分にある	機会はあがるが、十分ではない	機会は少ないが、ほしいと思う	必要を感じていない	無回答
(1) 一人で、またはヘルパーを利用して好きなところへ出かける	29.7%	16.9%	11.0%	20.3%	22.1%
(2) 家族と出かける(普段の通勤・通所・通院は除く)	37.4%	17.7%	7.9%	23.2%	13.8%
(3) 友人との交流	30.1%	8.7%	4.6%	34.6%	22.0%
(4) スポーツ・運動以外の趣味・サークルなどの活動	47.1%	20.9%	3.5%	14.5%	14.0%
	28.1%	17.7%	15.8%	25.6%	12.8%
	39.3%	19.1%	4.6%	18.5%	18.8%
	23.3%	17.4%	15.1%	22.1%	22.1%
	27.6%	22.7%	18.7%	19.7%	11.3%
	38.7%	16.8%	12.7%	15.0%	16.8%
	20.3%	16.3%	21.6%	21.5%	20.3%
	19.2%	12.8%	29.6%	26.1%	12.3%
	26.6%	11.6%	17.3%	26.6%	17.9%

問20 あなたは、どのくらいスポーツ活動・運動を行っていますか。(1つに○)

知的(n=172)	精神(n=203)	難病(n=173)	知的	精神	難病
1. ほぼ毎日	10.5%	7.9%	10.5%	7.9%	8.1%
2. 週に1回程度	15.7%	16.3%	15.7%	16.3%	26.0%
3. 月に2、3回程度	15.7%	7.9%	15.7%	7.9%	9.8%
4. ほとんどしない	51.7%	64.9%	51.7%	64.9%	50.9%
無回答	6.4%	3.0%	6.4%	3.0%	5.2%

問21 問20で「4.ほとんどしない」と答えた方におたずねします。

スポーツ活動・運動をほとんどしない理由は次のどれですか。(いくつでも○)

知的(n=89)	精神(n=132)	難病(n=88)	知的	精神	難病
1. 場所がないから	13.5%	9.1%	13.5%	9.1%	3.4%
2. スポーツや運動ができる場所に行くことが難しいから	13.5%	15.9%	13.5%	15.9%	6.8%
3. どこでどんな活動をしているか分からないから	27.0%	18.2%	27.0%	18.2%	10.2%
4. 一緒に参加する仲間がないから	22.5%	28.0%	22.5%	28.0%	14.8%
5. サポートしてくれる人がいないから	22.5%	12.1%	22.5%	12.1%	3.4%
6. 費用がかかるから	11.2%	34.8%	11.2%	34.8%	15.9%
7. 身体を動かすのが嫌だから	16.9%	21.2%	16.9%	21.2%	13.6%
8. 障害があるためにスポーツや運動は難しいから	23.6%	17.4%	23.6%	17.4%	47.7%
9. その他(具体的に：)	19.1%	29.5%	19.1%	29.5%	25.0%
無回答	3.4%	1.5%	3.4%	1.5%	2.3%

ちいき
地域のつながりについておたずねします

問21 あなたは、白ごろどのような近所づきあいをしていますか。(1つに○)

知的(n=172)	精神(n=203)	難病(n=173)	知的	精神	難病
1. 家を行き来するなど、親しく近所づきあいをしている	0.6%	1.5%	0.6%	1.5%	8.1%
2. 立ち話をするくらいにつきあいをしている	7.6%	11.3%	7.6%	11.3%	23.7%
3. あいさつをするくらいにつきあいをしている	49.3%	42.9%	49.3%	42.9%	47.4%
4. 近所づきあいをしていない	35.5%	39.9%	35.5%	39.9%	17.3%
無回答	7.0%	4.4%	7.0%	4.4%	3.5%

問21-1 問21 で14. 近所つきあいをしていないと答えた方におたずねします。
近所つきあいをしていない主な理由は何か。(いくつでも0)

知的 (n=61)	精神 (n=81)	難病 (n=30)	知的	精神	難病
1. 仕事や学業、家事・育児などで忙しく時間がないから	4.9%	8.2%	11.1%	20.0%	
2. 引越してきて間もないから	45.9%	48.1%	46.7%		
3. 普段つきあう機会がないから	4.9%	13.6%	6.7%		
4. 同世代の人が近くにいないから	14.8%	23.5%	13.3%		
5. 気の合う人・話の合う人が近くにいないから	32.8%	50.6%	26.7%		
6. あまりかわりかわりをもちたくないから	26.2%	12.3%	33.3%		
7. その他 (具体的に:)	1.6%	2.5%	0.0%		
無回答					

災害時の対応についておたずねします

問22 地震や災害などが起きた場合に、避難を助けてくれるような人がいますか。(いくつでも0)

知的 (n=172)	精神 (n=203)	難病 (n=173)	知的	精神	難病
1. 家族	84.9%	54.7%	69.9%		
2. 近所の友人・知人	9.9%	17.2%	20.8%		
3. 自治会・民生委員などの地域の支援者	5.8%	4.4%	5.8%		
4. その他 (具体的に:)	8.1%	6.4%	7.5%		
5. 避難を助けてくれるような人はいない	6.4%	29.1%	12.7%		
無回答	3.5%	5.9%	5.8%		

問23 調布市の防災訓練や地域で行っている避難訓練(防災教育の日を含む)に参加したことがありますか。(1つに0)

知的 (n=172)	精神 (n=203)	難病 (n=173)	知的	精神	難病
1. ある	15.7%	15.3%	18.5%		
2. ない	78.5%	80.3%	76.9%		
無回答	5.8%	4.4%	4.6%		

問23-1 問23 で12. ないと答えた方におたずねします。
避難訓練(防災教育の日を含む)等に参加しない理由は何ですか。(いくつでも0)

知的 (n=135)	精神 (n=163)	難病 (n=133)	知的	精神	難病
1. いつどこで開催されているか分からないから	26.7%	47.4%	58.9%		
2. 参加する時間がないから	14.8%	22.1%	23.3%		
3. 一緒に参加してくれる仲間がいないから	17.0%	20.2%	9.8%		
4. サポートしてくれる人がいないから	9.6%	7.4%	8.3%		
5. 家族が参加しているから	11.9%	4.3%	4.5%		
6. 必要がないから	7.4%	14.1%	13.5%		
7. その他 (具体的に:)	4.4%	16.6%	15.0%		
無回答					

福祉のまちづくり・地域社会に対する考え方について
おたずねします

問24 調布のまちは、障害(身体障害、知的障害、精神障害、難病など)のある人にとつて、福祉サービス、バリアフリー、市民意識などを総合的に考え、住みやすいまちであると感じますか。また、分野別の満足度もお答えください。

【総合的に考えて】(1つに0)

知的 (n=172)	精神 (n=203)	難病 (n=173)	知的	精神	難病
1. 住みやすいと思う	26.7%	20.2%	19.7%		
2. どちらかといえば、住みやすいと思う	54.7%	55.7%	59.5%		
3. どちらかといえば、住みやすいと思わない	8.1%	11.8%	12.7%		
4. 住みやすいと思わない	4.7%	6.4%	2.9%		
無回答	5.8%	5.9%	5.2%		

【分野別の満足度】

(1)～(10)について、それぞれ1つに○をつけてください。

	知的 (n=172) 精神 (n=203) 難病 (n=173)				
	知的	精神	難病	無回答	割合
(1) 公共施設、道路などのバリアフリー	9.3%	34.3%	16.9%	20.3%	15.7%
(2) お店、病院などのバリアフリー	8.4%	37.4%	18.7%	23.2%	4.9%
(3) わかりやすい案内・表示、コミユニケーションの支援	2.9%	32.9%	19.7%	22.0%	12.1%
(4) 保育・教育、子育て支援	10.5%	38.4%	12.8%	20.9%	15.1%
(5) 障害や障害者に対する市民の意識	8.9%	43.3%	8.4%	27.6%	5.9%
(6) ヘルパーなどの利用しやすさ	2.9%	40.4%	15.6%	23.7%	13.9%
(7) 障害者通所施設（作業所など）	9.9%	30.2%	18.0%	20.9%	16.9%
(8) ショートステイ、一時預かりなどの利用しやすさ	8.4%	38.4%	15.8%	26.6%	7.4%
(9) グループホームなどの住まい	1.7%	32.4%	16.2%	28.9%	15.6%
(10) 障害のある人の相談窓口	8.7%	20.9%	7.6%	37.8%	22.7%
	4.9%	24.1%	6.4%	50.3%	11.3%
	2.9%	20.8%	9.2%	45.1%	18.9%
	7.0%	25.6%	14.0%	27.3%	15.1%
	5.4%	24.1%	20.2%	32.6%	5.9%
	1.7%	20.2%	12.7%	41.7%	17.9%
	7.0%	19.8%	12.2%	32.5%	22.7%
	5.9%	19.2%	10.3%	51.8%	9.4%
	4.0%	16.8%	10.4%	50.3%	16.8%
	27.4%	24.4%	5.2%	25.6%	15.1%
	12.8%	21.7%	7.9%	45.3%	7.9%
	2.3%	13.3%	4.0%	57.2%	22.0%
	6.4%	16.3%	9.9%	35.5%	20.3%
	4.4%	15.3%	7.9%	58.2%	10.3%
	4.0%	13.3%	7.5%	50.9%	21.4%
	8.7%	11.6%	8.1%	39.1%	20.9%
	5.9%	11.8%	5.9%	62.2%	10.8%
	2.3%	9.2%	2.9%	61.3%	23.1%
	15.7%	28.5%	6.4%	29.0%	15.7%
	9.9%	29.9%	13.8%	29.6%	7.9%
	6.4%	16.2%	4.6%	51.4%	19.1%

問25 平成28年4月から、「障害者差別解消法（障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律）」が施行されました。あなたは、「障害者差別解消法」について、どのくらい知っていましたか。(1つに○)

知的 (n=172) 精神 (n=203) 難病 (n=173)	知的	精神	難病
1. 内容も覚えて知っている	11.6%	13.8%	8.7%
2. 法律名くらいは知っているが、内容は知らない	21.5%	31.5%	29.5%
3. 全く知らない	55.9%	51.7%	56.6%
無回答	11.0%	3.0%	5.2%

※障害者差別解消法

この法律では、障害のある人に対して、正当な理由なく、障害のない人たちと違う扱いをすること（不当な差別的取扱い）を禁止しています。
また、障害のある人が困っている時、その人の障害にあった必要工夫ややり方を伝えられた場合、負担が重すぎない範囲で対応すること（合理的配慮）が求められます。東京都は条例で民間事業者にも合理的配慮を義務付けました。

問26 あなたは、障害を理由に差別を受けて嫌な思いをしたり、偏見を感じたりすることがありますか。1または2と答えた方は、具体的にお書きください。(1つに○)

知的 (n=172) 精神 (n=203) 難病 (n=173)	知的	精神	難病
1. よくある	7.0%	10.3%	0.0%
2. ときどきある	16.9%	20.2%	4.6%
3. あまりない	29.5%	32.1%	26.6%
4. 全くない	10.5%	10.8%	40.5%
5. 分からない	22.7%	22.2%	17.3%
無回答	13.4%	4.4%	11.0%

問27 あなたが、夜所、会社、お店などで困っている時にしてほしい支援や合理的配慮、またはこれまでに心に残っている支援や配慮があればお書きください。

ちょうふし しょうがいはやくくし
調布市の障害者福祉サービスについておたずねします

問28 あなたは、調布市が配布しているヘルプカード※を持っていますか。(1つに○)

知的(n=172) 精神(n=203) 難病(n=173)	知的	精神	難病
1. 持っていて、いつも持ち歩いている	20.3%	15.3%	6.9%
2. 持っているが、持ち歩いていない	33.7%	16.3%	14.5%
3. 持っていないが、ほしいと思う	16.3%	21.7%	21.4%
4. 持っていないし、必要ない	22.1%	38.8%	50.3%
無回答	7.6%	7.9%	6.9%

※ヘルプカード

ヘルプカードは、障害のある方が緊急連絡先、医療情報、手伝ってほしい内容などを記載し、普段から身に付けておくことで、緊急時や災害時、日常の困ったときに、周囲の配慮や手助けをお願いしやすくなるものです。
障害福祉課の窓口で配布しています。
 これは別に、障害のある方に限らず、外見から分からなくても援助や配慮を必要としている方々のために「ヘルプマーク」もあります。



ヘルプカード

ヘルプマーク

問28-1 問28で「1. 持っていて、いつも持ち歩いている」と答えた方におたずねします。
 ヘルプカードを持っていることで、周囲の人に配慮してもらったり、手助けをしてもらったりしたことがありますか。(1つに○)

知的(n=35) 精神(n=31) 難病(n=12)	知的	精神	難病
1. ある	2.9%	48.4%	50.0%
2. ない	62.8%	48.4%	41.7%
3. 分からない	31.4%	3.2%	0.0%
無回答	2.9%	0.0%	8.3%

問29 あなたは、次の調布市の相談窓口や制度を知っていますか。

知的(n=172) 精神(n=203) 難病(n=173)

	知的	精神	難病	知っている	知らない	無回答
(1) ドルズエ 主に身体障害、高次脳機能障害のある方の相談窓口です。	知的	精神	難病	17.4%	60.5%	22.1%
(2) ちようふだぞう 主に知的障害のある方の相談窓口です。	知的	精神	難病	81.4%	9.3%	9.3%
(3) 希望ヶ丘 主に精神障害のある方の相談窓口です。	知的	精神	難病	6.4%	72.1%	21.5%
(4) こころの健康支援センター 主に精神障害、発達障害のある方の相談窓口です。	知的	精神	難病	29.7%	49.4%	20.9%
(5) 難病相談窓口（障害福祉課・予約制） 専門の相談員が難病にかかったことでの不安や悩みごと全般に対する相談を受け、情報を提供する窓口です。	知的	精神	難病	49.7%	41.9%	8.4%
(6) 障害者虐待防止センター（障害福祉課） 障害者の虐待に関する相談・通報を受ける窓口です。	知的	精神	難病	10.5%	65.0%	21.5%
(7) 調布ライフサポート（総合福祉センター内） 障害者の虐待に関する相談・通報を受ける窓口です。	知的	精神	難病	9.9%	80.2%	9.9%
(8) 地域包括支援センター（市内10ヶ所） 高齢者の方やご家族の方が、福祉や介護に関する様々な相談ができる総合相談窓口です。	知的	精神	難病	4.0%	82.1%	13.9%
(9) 成年後見制度 判断能力が不十分であるために意思決定が困難な人の判断能力を、後見人等が補っていくことにより、法的に保護する制度です。	知的	精神	難病	5.2%	72.7%	22.1%
(10) 住まいぬくもり相談室 適切な民間賃貸住宅の情報の提供や福祉サービスの、行政支援などを紹介します。	知的	精神	難病	12.8%	77.3%	9.9%
	知的	精神	難病	4.6%	82.1%	13.3%
	知的	精神	難病	28.5%	51.2%	20.3%
	知的	精神	難病	34.5%	56.1%	9.4%
	知的	精神	難病	49.8%	41.0%	9.2%
	知的	精神	難病	33.7%	46.0%	20.3%
	知的	精神	難病	37.9%	52.2%	9.9%
	知的	精神	難病	42.8%	44.5%	12.7%
	知的	精神	難病	3.5%	75.0%	21.5%
	知的	精神	難病	6.4%	83.3%	10.3%
	知的	精神	難病	2.3%	84.4%	13.3%

問30 あなたが今後、調布市で特に充実させてほしいと思う取組はどれですか。

(5つまで○)

知的	精神的	難病	
知的(n=172)	精神(n=203)	難病(n=173)	
1. 困ったことを気軽に相談できる窓口	43.6%	50.7%	43.4%
2. 健康づくり、健康の維持のための支援	15.7%	25.6%	16.8%
3. 訪問診療、訪問看護などの地域での医療サービス	9.3%	11.3%	19.7%
4. 手当や医療費の助成などの経済的な支援	23.3%	47.3%	43.4%
5. 福祉サービスの利用や手続きを支援するサービス	23.8%	17.7%	11.6%
6. 成年後見制度など金融、財産などの管理の支援	25.0%	11.8%	2.9%
7. ホームヘルプなど在宅生活を支援するサービス	14.0%	12.3%	17.3%
8. ガイドヘルパー、コミュニケーション支援など社会参加の支援	13.4%	8.4%	1.2%
9. 介護者の病気など、緊急時における一時預かり、ショートステイ	33.7%	11.8%	20.8%
10. 福祉サービスに関わる専門的な人材の育成	16.9%	12.8%	11.0%
11. 通所施設（作業所）など日中の活動場所の整備	20.3%	9.9%	1.2%
12. 企業などで働くための支援（就労支援）	18.6%	28.1%	11.0%
13. 仕事以外の趣味や余暇活動・スポーツ活動などの支援や協力の整備	22.1%	20.2%	12.7%
14. グループホームなど地域における住まいの場の整備	34.3%	9.4%	3.5%
15. 障害理解の促進や差別の解消	22.1%	30.5%	2.9%
16. 公共施設や道路、交通機関などのバリアフリー	11.0%	10.8%	23.7%
17. 障害に合った多様な情報提供の充実	22.7%	29.6%	11.0%
18. 災害時の支援体制の整備	32.0%	26.1%	33.5%
19. 障害のある当事者、家族同士の情報交換、交流の機会	10.5%	12.3%	2.3%
20. その他（具体的に：	2.3%	3.9%	1.2%
無回答	8.7%	9.4%	11.6%

問31 ご意見・ご要望がありましたら、何でもご自由に記入ください。

皆さんの質問にお答えいただき、誠にありがとうございました

調布市民福祉ニーズ調査 障害のある方の地域生活に関する調査

調布市の障害者福祉を進めるうえでの大切なアンケートです。
あなたのご意見がこれからの調布市の福祉施策に生かされます。

調査についてのごお願い

市民の皆さまには日ごろから市政発展のため、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

この調査は、今後の障害者福祉施策等のあり方を検討し、「調布市障害者総合計画」を改定するため、皆さまのご意見やご要望を広くお聴きし、より身近な福祉施策を推進するために実施するものです。

ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理し、調査目的以外に使用することはありません。お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

令和元年 10月 調布市長 長 友 貴 樹

裏面の「記入についてのごお願い」をよくお読みのうえ、ご記入をお願いします。

調査票、返信用封筒には住所、氏名を記入する必要はありません。

ご記入が終わりまりましたら、調査票を同封の返信用封筒(切手は不要です。)に入れ、

10月28日(月)までに郵便ポストに投函してください。

調査についてご質問などがありましたら、下記までお問い合わせください。また、お一人で回答が難しい場合は、ご相談ください。

令和元年 9月1日現在、調布市にお住まいの身体障害者手帳、愛の手帳、精神障害者保健福祉手帳、児童福祉通所受給者証をお持ちの方や難病のある方で、18歳未満(今年の4月1日以降に18歳になった方も含みます)の方の中から、200人を無作為に抽出しました。

質問や相談はこちらまでどうぞ↓

調布市 福祉健康部 障害福祉課

電話：042-481-7135



記入についてのごお願い

1. 保護者など、封筒のあて名(障害者手帳等を持っている、または難病のあるお子さま)ご本人を主にサポートしている方に、ご記入をお願いいたします。調査票の設問中の「お子さま」とは、封筒のあて名の方を指し、「あなた」とは、保護者などそのお子さまを主にサポートしている方を指します。
2. 濃い鉛筆又はボールペンで記入してください。
3. お答えをいただく際は、あてはまる項目の番号を○印で囲んでください。
□ の場合は回答内容等を記入してください。
4. ○の数は、それぞれの質問の指示に従ってください。
5. 「その他」に○印をつけられた方は、[]内に具体的な答えを記入してください。

いただいた回答は、アンケート調査の結果として集計分析のうえ、報告書を作成します。ホームページや図書館等で閲覧できます。(令和2年4月中を予定)
また、調査からみえた課題を整理して、今後の計画づくりに生かしてまいります。

どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

過去の調査から施策の充実につながった例

- 相談支援や就労支援のニーズが大きいが明らかになり、相談支援事業所や就労支援センターの支援体制の充実につながった。
- グループホームでの生活を希望している障害者が多いことが明らかになり、調布市におけるグループホーム整備支援の拡大につながった。
- 就学以降の障害児の居場所づくりのニーズが明らかになり、放課後等デイサービス事業所の拡大につながった。
- 仕事や学校等以外での余暇活動の機会が不十分であることが明らかになり、支援施策の拡充につながった。

お子さま(あて名のご本人)のことをおたずねします

※令和元年10月1日現在の状況をもとに回答してください。

問1 この調査に回答していただく方はどなたですか。(1つに○)

(N=115)

1. 親 98.3% 2. 親以外の家族 1.7% 3. その他 0.0% 無回答 0.0%

問2 お子さまの性別をお答えください。(1つに○)

また、令和元年10月1日現在の年齢をご記入ください。

(N=115)

1. 男性 70.4% 無回答 0.0%	2. 女性 29.6%	満()歳 平均 11.3 歳	※数字を記入
----------------------	-------------	--------------------	--------

問3 現在、お子さまがいついよに暮らしているご家族は、お子さまからみて、どなたですか。

(いくつでも○)

(N=115)

1. 父親 93.9%	5. ひとり暮らし 0.0%
2. 母親 95.7%	6. その他 1.7%
3. 兄弟姉妹 64.3%	無回答 0.0%
4. 祖父母 6.1%	

問4 お子さまを主に介護や支援、養育をしている方はどなたですか。お子さまからみた続柄で回答してください(1つに○)。また、○をつけた方の性別にも○をつけて、年齢をご記入ください。

(N=115)

1. 親 ((n=112) 男性 80% 女性 90.2% 無回答 1.8%)	97.3% (平均 45.0 歳)
2. 兄弟姉妹 ((n=0)	0.0% (平均 - 歳)
3. 祖父母 ((n=1) 男性 100.0% 女性 0.0% 無回答 0.0%)	0.9% (平均 74.0 歳)
4. その他の親族 ((n=1) 男性 0.0% 女性 100.0% 無回答 0.0%)	0.9% (平均 44.0 歳)
5. その他 ((n=0)	0.0% (平均 - 歳)
無回答	0.9%

問5 (1)お住まいの地域はどこですか。

記入例を参考に[町名],[丁目]をご記入ください。

(N=115)

町名(例:小島町)	()	()	()	()	()	()	()	()	()
滝坂・緑ヶ丘小学校地域	11.3%	染地・杉森・布田小学校地域	13.0%						
深大寺・北ノ台小学校地域	9.6%	若草・調和小学校地域	10.4%						
第二・八雲台・国領小学校地域	15.7%	上ノ原・柏野小学校地域	4.3%						
第三・石原・飛田給小学校地域	13.9%	第一・富士見台・多摩川小学校地域	21.8%						
		無回答	0.0%						

(2)お住まいの近くにある公立小学校はどれですか。(1つに○)

(N=115)

1. 第一小学校 7.8%	12. 染地小学校 0.9%
2. 第二小学校 4.3%	13. 北ノ台小学校 5.2%
3. 第三小学校 2.6%	14. 多摩川小学校 7.0%
4. 八雲台小学校 8.8%	15. 杉森小学校 7.8%
5. 富士見台小学校 7.0%	16. 飛田給小学校 4.3%
6. 滝坂小学校 8.7%	17. 柏野小学校 3.5%
7. 深大寺小学校 4.3%	18. 国領小学校 2.6%
8. 上ノ原小学校 0.9%	19. 布田小学校 3.5%
9. 石原小学校 7.0%	20. 調和小学校 4.3%
10. 若草小学校 5.2%	21. 分からない 0.0%
11. 緑ヶ丘小学校 1.7%	無回答 2.6%

問6 お子さまがお持ちの手帳または受けている診断名などについて、あてはまるものすべてに○をしてください。また、手帳の等級をご記入ください。

(N=115)

手帳の種類 または 診断名など	手帳の等級
1. 身体障害者手帳を持っている () 級	29.6%
2. 愛の手帳を持っている () 度	74.8%
3. 精神障害者保健福祉手帳を持っている () 級	7.8%
4. 発達障害の診断を受けている	26.1%
5. 高次脳機能障害の診断を受けている	0.9%
6. 難病の診断を受けている	4.3%
7. 日常的に医療的ケア(医師や看護師の処置)*が必要である	3.5%
無回答	0.9%

※たん吸引、経管栄養(胃ろうなど)、導尿、人工呼吸器、酸素療法など、医師や看護師の管理・処置が必要な生活援助行為

身体障害者手帳 (n=34)

1級	2級	3級	4級	5級	6級	無回答
32.4%	14.7%	17.6%	11.8%	8.8%	11.8%	2.9%

愛の手帳 (n=86)

1度	2度	3度	4度	無回答
2.3%	34.9%	20.9%	40.7%	1.2%

精神障害者保健福祉手帳 (n=9)

1級	2級	3級	無回答
0.0%	11.1%	88.9%	0.0%

→ 問6-1 問6で「1. 身体障害者手帳を持っている」と答えた方におたずねします。障害の部位はどれですか。(いくつでも○)

また、○をしたものうち、主な障害を1つだけ選び◎をしてください。

(n=34)

	(障害の部位)	(主な障害)	
1.	視覚	5.9%	2.9%
2.	聴覚	26.5%	23.5%
3.	平衡機能	0.0%	0.0%
4.	音声・言語・そしゃく	11.8%	0.0%
5.	肢体不自由	58.8%	47.1%
6.	内部 (心臓、じん臓、呼吸器機能、ぼうこう・直腸、小腸機能)	20.6%	20.6%
7.	その他 (具体的に：)	2.9%	0.0%
	無回答	0.0%	5.9%

お子さまの日常生活についておたずねします

問7 お子さまの年齢は、次のうちどれにあたりますか。(1つに○)

(N=115)

1.	小学校就学前	13.9%
2.	小学校就学後	86.1%
	無回答	0.0%

問8 お子さまは、日どのように過ごしていますか。

小学校就学前のお子さまは 問8-1

小学校就学後のお子さまは 問8-2, 問8-3にお答えください。

小学校就学前のお子さまについておたずねします。

問8-1 お子さまは、日中主にどこに通園・通所していますか。(いくつでも○)

(n=16)

1.	保育園・保育所	37.5%
2.	幼稚園	12.5%
3.	子ども発達センター	56.3%
4.	児童発達支援事業所 (医療型含む。子ども発達センターを除く)	25.0%
5.	その他 (具体的に：)	12.5%
6.	どこにも通園・通所していない	12.5%
	無回答	0.0%

小学校就学後のお子さまについておたずねします。

問8-2 お子さまが現在通学している学校・学級は、次のうちどれですか。(1つに○)

(n=99)

1.	普通学級のみ (小・中学校)	5.1%
2.	普通学級と特別支援教室・通級指導学級 (小・中学校)	5.1%
3.	特別支援学級 (小・中学校)	29.3%
4.	特別支援学校 (小・中・高等部)	56.5%
5.	高等学校・高等専門学校	2.0%
6.	どこにも通学していない	1.0%
	無回答	1.0%

問8-3 お子さまは現在、学校以外の時間でのようなサービス、施設等を利用して過ごしていますか。(いくつでも○)

(n=99)

1.	学童クラブ・ユーフオー	7.1%
2.	放課後等デイサービス事業所	70.7%
3.	日中一時支援事業所	14.1%
4.	児童館	1.0%
5.	CAPS (青少年ステーション)	1.0%
6.	民間の相談機関・施設 (カウンセリング、フリースペースなど)	2.0%
7.	民間の習いごと・教室など	22.2%
8.	その他 (具体的に：)	9.1%
9.	特に何も利用していない	17.2%
	無回答	0.0%

小学校就学後のお子さまについておたずねします。

問9 お子さまの放課後活動に求めていることは、次のうちどれですか。(いくつでも○)

(n=99)		
1. 人との交流	76.8%	
2. 学習の補助	27.3%	
3. 体を動かす	65.7%	
4. 家族がいない間の見守り・預かり	46.5%	
5. 興味の幅を広げる	54.5%	
6. コミュニケーションの力をつける	74.7%	
7. ルールやマナーを身につける	61.6%	
8. その他〔具体的に： 無回答〕	10.1%	2.0%

ここからは、すべての方におたずねします。

問10 保育園・幼稚園、または学校以外に、お子さまは普段の生活の中で以下のような活動を行う、または活動に参加する機会がありますか。

(注)問8-3でお答えいただいた学校以外の時間で利用しているサーブिस、施設等での活動を含みます。

(1)～(4)について、それぞれ1つに○をつけてください。

(N=115)

	十分にある	十分ではない	機会はあるが、ほしいと思わない	必要を感じていない	無回答
(1) 一人で、またはヘルパーを利用して好きなどころへ出かける	19.1%	21.7%	40.9%	15.7%	2.6%
(2) 家族と出かける(普段の通学・通所・通院は除く)	60.0%	34.8%	2.6%	1.7%	0.9%
(3) 友人との交流	20.0%	39.1%	32.2%	7.0%	1.7%
(4) スポーツ・運動以外の趣味・習いことなどの活動	13.0%	34.8%	42.7%	7.8%	1.7%

問11 お子さまは、どのくらいスポーツ活動・運動を行っていますか。(1つに○)

(N=115)

1. ほぼ毎日	14.8%
2. 週に1回程度	25.2%
3. 月に2,3回程度	14.8%
4. ほとんどしない	45.2%
無回答	0.0%

問11-1 問11で「4.ほとんどしない」と答えた方におたずねします。スポーツ活動・運動をほとんどしない理由は次のどれですか。(いくつでも○)

(n=52)		
1. 場所がないから	15.4%	
2. スポーツや運動ができる場所に行くことが難しいから	19.2%	
3. どこでどんな活動をしているかわからないから	28.8%	
4. 一緒に参加する仲間がないから	21.2%	
5. サポートしてくれる人がいないから	36.5%	
6. 費用がかかるから	19.2%	
7. 身体を動かすのが嫌いだから	21.2%	
8. 障害があるためにスポーツや運動は難しいから	40.4%	
9. その他〔具体的に： 無回答〕	17.3%	0.0%

問12 お子さまの日常生活に関して、不安や課題と感じていることはありますか。

(いくつでも○)

(N=115)

(保育園・幼稚園・学校でのこと)	
1. 子どもの障害について十分に理解されていない	15.7%
2. 子どもの障害に応じた十分な支援を受けられていない	24.3%
3. 同級生や友人との人間関係	30.4%
4. 保育・教育のことについて、相談できる場所がない	6.1%
(保育園・幼稚園・学校以外での活動のこと)	
5. 障害の状況に応じた専門的な療育を受けられる場所・機会が少ない	39.1%
6. 障害児施設（子ども発達センター、児童発達支援事業所、放課後等サービスなど）で十分な支援を受けられていない	10.4%
7. 障害児施設以外に利用できる放課後、休日などの活動場所が少ない	27.8%
8. 余暇活動（外出、スポーツ、趣味、その他の習いごと・サークル活動など）の機会が少ない	47.8%
(家庭・子育てのこと)	
9. 子どもの養育・介護による負担が大きい	31.3%
10. 子どもの養育・介護のため、保護者が就労できない（就労が制限される）	43.5%
11. 養育・介護している家族が、子どもから離れて休める時間とれない	25.2%
12. 子どもの養育・介護について、他の家族の協力が十分でない	12.2%
13. きょうだい児の子育てについて、不安がある	29.6%
14. 子育てや家庭での困りごとについて、相談できる場所がない	11.3%
(医療・福祉サービスのこと)	
15. 地域でかかれる医療機関が少ない	32.2%
16. 医療や病気のことで、相談できる場所がない	13.0%
19. 子どもの養育・介護について、福祉サービスが十分でない	24.3%
20. 福祉サービスなどの利用について、相談できる場所がない	13.0%
(その他)	
21. その他（具体的に：)	20.9%
22. 特にない	7.0%
無回答	3.5%

問13 あなたは、お子さまについて悩みや困ったことがある場合、主にどなたに相談しますか。(1)～(4)について、それぞれ下の欄から5つまで選び、に番号をご記入ください。

(N=115)

(1) 保育園・幼稚園・学校でのこと

(2) 保育園・幼稚園・学校以外での活動のこと

(3) 家庭・子育てのこと

(4) 医療・福祉サービスのこと

	(1)	(2)	(3)	(4)
1. (同居の) 家族・親族	73.9%	72.2%	77.4%	53.0%
2. (別居の) 家族・親族	30.4%	36.5%	37.4%	19.1%
3. 保育園・幼稚園の先生	9.6%	4.3%	6.1%	1.7%
4. 学校の先生	73.0%	23.5%	22.6%	20.9%
5. 友人・知人	26.1%	25.2%	38.3%	12.2%
6. 障害児をもつ親である友人・知人	61.7%	54.8%	52.2%	47.8%
7. 相談支援機関（ちよらひだぞろ、ドルチエ、希望ヶ丘、こころの健康支援センター）の職員	0.9%	0.9%	0.0%	0.9%
8. サービス等利用計画の作成、モニタリングなどを行う相談支援専門員	8.7%	9.6%	3.5%	8.7%
9. 子ども発達センター	7.8%	6.1%	6.1%	7.8%
10. 子ども家庭支援センターすこやか	3.5%	1.7%	3.5%	2.6%
11. 教育相談所	5.2%	2.6%	4.3%	2.6%
12. 教育支援コーディネーター室	0.9%	0.0%	0.9%	0.0%
13. 障害児施設（放課後等サービスなど）の職員、ヘルパー	21.7%	33.0%	11.3%	14.8%
14. 市役所の職員	3.5%	7.8%	1.7%	30.4%
15. 保健所の職員	0.0%	0.0%	0.9%	2.6%
16. 民生委員・児童委員	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%
17. 医療機関（医師、看護師、ケースワーカー、訪問看護）の職員	23.5%	20.0%	15.7%	43.5%
18. その他（具体的に：)	5.2%	3.5%	2.6%	0.9%
19. 相談する人がいない	0.9%	4.3%	3.5%	4.3%
20. 相談の必要はない	0.9%	0.9%	1.7%	0.9%
無回答	0.0%	0.9%	0.9%	1.7%

問14 あなたは、お子さまの健康や医療などについて困っていることや不安なことはありませんか。(いくつでもO)

(N=115)

1. 障害の重度化や病気の進行	24.3%
2. 服薬の管理	16.5%
3. 生活習慣病などの予防	22.6%
4. 専門的な治療やリハビリを行う医療機関が身近にない	24.3%
5. ちょっとした病気や怪我のときに診てくれる医療機関が身近にない	11.3%
6. 往診や訪問看護、訪問リハビリなどの在宅医療が十分でない	6.1%
7. 障害を理由に診療や健診等を断られること	7.0%
8. 通院するときに介助してくれる人がいない	13.0%
9. 医療費や通院のための交通費の負担が大きい	24.3%
10. 医師とのコミュニケーション	17.4%
11. 相談する場所がない	3.5%
12. その他〔具体的に：	〕 13.0%
13. 特にない	20.0%
無回答	5.2%

お子さまの将来のことについておたずねします

問15 あなたは、将来、お子さまにどこまで進学してほしいと考えていますか。(1つにO)

(N=115)

1. 中学校まで	0.0%
2. 高等学校まで	50.5%
3. 専門学校・高等専門学校・短期大学まで	8.7%
4. 大学・大学院まで	21.7%
5. その他〔具体的に：	〕 7.0%
6. 分からない	10.4%
無回答	1.7%

問16 あなたは、将来、お子さまにどのようなところで働いてほしいと考えていますか。(1つにO)

(N=115)

1. 会社やお店などで働く（一般就労）	41.7%
2. 地域の障害者施設（作業所など）で働く	32.2%
3. その他〔具体的に：	〕 9.6%
4. 分からない	10.4%
5. 働くことは困難だと思う	5.2%
無回答	0.9%

問17 あなたは将来、お子さまがどのようなように生活することを望みますか。(1つにO)

(N=115)

1. 親や兄弟などの家族と一緒に生活する	20.9%
2. 一人暮らし、または本人の配偶者と一緒に生活する	33.8%
3. グループホームで生活する	27.8%
4. 入所施設で生活する	7.0%
5. その他〔具体的に：	〕 3.5%
6. 分からない	6.1%
無回答	0.9%

問18 お子さまが仕事をするために、あなたが必要と思うことは何ですか。(いくつでもO)

(N=115)

1. 技術、知識、資格などの習得	50.4%
2. 心身の健康の維持・向上	68.7%
3. 病気や障害に応じた柔軟な勤務日、勤務時間の設定	42.6%
4. 病気や障害に応じた多様な働き方（在宅ワークなど）	37.4%
5. 雇用する会社の施設面でのバリアフリー	13.0%
6. 雇用する会社の上司や同僚の病気や障害への理解、協力	74.8%
7. 通勤の支援	34.8%
8. 勤務中に相談できたり、介助をしてくれる人がいること	53.9%
9. 就職のための相談窓口	47.0%
10. 就職後の仕事や人間関係の悩みを相談できる窓口	51.3%
11. 職場実習など、就職前に試みに働く機会の拡大	43.5%
12. その他〔具体的に：	〕 7.8%
13. 特にない	1.7%
無回答	0.9%

ここからは、あて名のご本人を主にサポート
している方(保護者など)の状況をおたずねします

問19 あなたは、ご自分の健康状態をどのように感じていますか。(1つに○)

(N=115)

1. よい	26.1%
2. まあよい	26.1%
3. ふつう	25.2%
4. あまりよくない	21.7%
5. よくない	0.9%
無回答	0.0%

問20 あなたは、日ごろどのような近所づきあいをしていますか。(1つに○)

(N=115)

1. 家を行き来するなど、親しく近所づきあいをしている	3.5%
2. 立ち話をする程度のつきあいをしている	26.1%
3. あいさつをする程度のつきあいをしている	60.0%
4. 近所づきあいをしていない	10.4%
無回答	0.0%

→問20-1 問20で「4. 近所づきあいをしていない」と答えた方におたずねします。

近所づきあいをしていない主な理由は何ですか。(いくつでも○)

(n=12)

1. 仕事や学業、家事・育児などで忙しく時間がないから	50.0%
2. 引越してきて間もないから	8.3%
3. 普段つきあう機会がないから	58.3%
4. 同世代の人が近くにいないから	8.3%
5. 気の合う人・話の合う人が近くにいないから	25.0%
6. あまりかかわりをもたたくないから	25.0%
7. その他(具体的に：)	16.7%
無回答	0.0%

問21 次のような地域活動・ボランティア活動などについて、あなたがやっている活動はありますか。(いくつでも○)
(N=115)

1. 子育て中の親を支援する活動	8.7%
2. 子ども会・PTA活動	38.3%
3. ひとり暮らし高齢者などの見守り支援活動	0.0%
4. 介護が必要な高齢者を支援する活動	0.0%
5. 障害のある人や難病のある人を支援する活動	6.1%
6. 地域のおまつりや季節の行事などの活動	7.0%
7. スポーツやレクリエーションなどの活動	7.0%
8. 習い事・生涯学習などの活動	4.3%
9. 交通安全や犯罪防止などの活動	0.0%
10. 防災訓練などの活動	1.7%
11. 自治会・地区協議会・老人クラブなどの活動	7.0%
12. 環境保全・自然保護などの活動	1.7%
13. その他(具体的に：)	2.6%
14. 特になし	45.2%
無回答	1.7%

問22 ①あなたは家族以外のまわりの人から次のような手助けをしてほしいと思いませんか。

【手助けをしてほしいか】

②また、あなたは次のような手助けを家族以外のまわりの人に行えますか。

【手助けができるか】

	①【手助けをしてほしいか】		②【手助けができるか】	
	思い手 つ・助 だしけ ことほ がしほ るとし	手 し助 ほけ しを しな い	手 き助 ける が	手 き助 けな い
(1) 安否確認の声かけ	56.5%	38.3%	83.5%	2.6%
(2) ちょっとした買い物や ごみ出し	22.6%	73.1%	55.6%	3.5%
(3) 食事や掃除・洗濯の手伝い	26.1%	66.9%	24.3%	3.5%
(4) 通院の送迎や外出の手助け	51.3%	42.6%	23.5%	4.3%
(5) 子どもの預かり	69.6%	27.8%	30.4%	3.5%
(6) 話し相手や相談相手	56.5%	38.3%	70.4%	0.9%
(7) 災害時避難の手助け	73.1%	25.2%	56.6%	1.7%
(8) 具合がよくないときに、 病院等に連絡する	46.9%	47.0%	66.1%	2.6%

(1)～(8)について、①と②の
それぞれ1つに○をつけてください。

(N=115)

災害時の対応についておたずねします

問23 お子さまには、地震や災害などが起きた場合に、避難を助けてくれるような人がいま
すか。(いくつでも○)

(N=115)

1. 家族	89.6%
2. 近所の友人・知人	22.6%
3. 自治会・民生委員などの地域の支援者	0.9%
4. その他〔具体的に：〕	6.1%
5. 避難を助けてくれるような人はいない	7.8%
無回答	0.0%

問24 市の防災訓練や地域で行っている避難訓練(防災教育の日を含む)に参加したことが
ありますか。(1つに○)

(N=115)

1. ある	48.7%
2. ない	50.4%
無回答	0.9%

→ 問24-1 問24で「2. ない」と答えられた方におたずねします。

避難訓練(防災教育の日を含む)に参加しない理由は何ですか。(いくつでも○)

(n=58)

1. いつどこで開催されているかわからないから	34.5%
2. 参加する時間がないから	48.3%
3. 一緒に参加してくれる仲間がないから	8.6%
4. サポートしてくれる人がいないから	12.1%
5. 家族が参加しているから	1.7%
6. 必要がないから	1.7%
7. その他〔具体的に：〕	24.1%
無回答	0.0%

福祉のまちづくり・地域社会に対する考え方について おたずねします

問25 調布のまちは、障害(身体障害,知的障害,精神障害,難病など)のある人にとって、福祉サービス,バリアフリー,市民意識などを総合的に考え、住みやすいまちであると感じますか。また、分野別の満足度もお答えください。

【総合的に考えて】(1つに○)

(N=115)

1. 住みやすいと思う	16.5%
2. どちらかといえば、住みやすいと思う	66.1%
3. どちらかといえば、住みやすいと思わない	11.3%
4. 住みやすいと思わない	3.5%
無回答	2.6%

【分野別の満足度】

(1)~(10)について、
それぞれ1つに○をつけてください。

(N=115)

	大変満足している	まあ満足している	やや不満足である	非常に不満足である	どちらともいえない	無回答
(1) 公共施設, 道路などのバリアフリー	1.7%	54.0%	30.4%	6.1%	6.1%	1.7%
(2) お店, 病院などのバリアフリー	0.9%	60.1%	21.7%	4.3%	11.3%	1.7%
(3) わかりやすい案内・表示, コミュニケーションの支援	2.6%	53.1%	23.5%	0.0%	19.1%	1.7%
(4) 障害や養護の障れ・かたよりに応じた早期からの療育体制	11.3%	49.6%	25.2%	7.0%	4.3%	2.6%
(5) 保育・教育, 子育て支援	8.7%	47.7%	29.6%	7.0%	6.1%	0.9%
(6) 障害や障害者に対する市民の意識	1.7%	32.2%	31.3%	9.6%	22.6%	2.6%
(7) 放課後等デイサービスなどの障害福祉サービス	9.6%	53.0%	20.0%	3.5%	12.2%	1.7%
(8) ヘルパーなどの利用しやすさ	3.5%	14.8%	29.6%	13.0%	33.9%	5.2%
(9) ショートステイ, 一時預かりなどの利用しやすさ	3.5%	20.0%	31.3%	16.5%	26.1%	2.6%
(10) 障害のある人の相談窓口	5.2%	41.0%	19.1%	10.4%	21.7%	2.6%

問26 平成28年4月から、「障害者差別解消法」(障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律)が施行されました。

あなたは、「障害者差別解消法」について、どの程度知っていましたか。(1つに○)

(N=115)

1. 内容も含めて知っている	35.7%
2. 法律名程度は知っているが、内容は知らない	45.2%
3. 全く知らない	19.1%
無回答	0.0%

※障害者差別解消法

この法律では、障害のある人に対して、正当な理由なく、障害のない人たちと違う扱いをすること(不当な差別的取扱い)を禁止しています。

また、障害のある人が困っている時、その人の障害にあった必要な工夫ややり方を伝えられた場合、負担が重すぎない範囲で対応すること(合理的配慮)が求められます。東京都は条例で民間事業者にも合理的配慮を義務付けました。

問27 お子さまやあなたは、障害を理由に差別を受けて嫌な思いをしたり、偏見を感じたりすることがありますか。1または2と答えた方は、具体的にお書きください。(1つに○)

(N=115)

1. よくある	7.8%	具体的に:
2. ときどきある	33.9%	
3. あまりない	44.5%	
4. 全くない	4.3%	
5. 分からない	7.8%	
無回答	1.7%	

問28 お子さまやあなたは、役所, 会社, お店などで困っている時にしてほしい支援や合理的配慮, またはこれまでに心に残っている支援や配慮があればお書きください。

調布市の障害者福祉施策についておたずねします

問29 あなたは、お子さまに調布市が配布しているヘルプカード*を知っていますか。(1つに○)

(N=115)

- 1. 持っている、いつも持ち歩かせている
 - 2. 持っているが、持ち歩かせていない
 - 3. 持っていないが、欲しいと思う
 - 4. 持っていないし、必要ない
- 無回答

32.2%
41.7%
15.7%
10.4%
0.0%

※「ヘルプカード」

ヘルプカードは、障害のある方が緊急連絡先、医療情報、手伝ってほしい内容などを記載し、普段から身に付けておくことで、緊急時や災害時、日常の困ったときに、周囲の配慮や手助けをお願いしやすくなります。障害福祉課の窓口で配布しています。
これとは別に、障害のある方に限らず、外見から分からなくても援助や配慮を必要としている方々のために「ヘルプマーク」もあります。



ヘルプカード

ヘルプマーク

→問29-1 問29で「1. 持っている、いつも持ち歩かせている」と答えた方におたずねします。
ヘルプカードを持っていることで、周囲の人に配慮や手助けをしてもらったことがありますか。(1つに○)

(N=115)

- 1. ある
 - 2. ない
 - 3. 分からない
- 無回答

27.0%
59.5%
13.5%
0.0%

問30 あなたは、調布市が個別配布している、「i-ファイル」*を知っていますか。(1つに○)

(N=115)

- 1. 知っていて、使っている
 - 2. 知っているが、使っていない
 - 3. 知らない
- 無回答

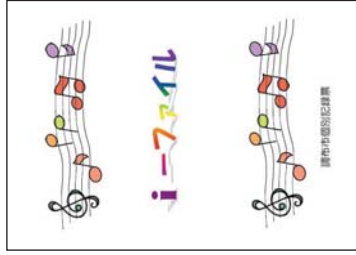
43.5%
34.8%
21.7%
0.0%

※「i-ファイル」

「i-ファイル」は、子どもたちが健やかに成長するために、保護者と様々な機関が連携・協力して支援できるように、子どもの様子や、これまでに受けてきた支援の内容を書き込めるようにしたものです。

(配布場所)

子ども発達センター、子ども家庭支援センターすこやか、健康推進課、教育相談所、子ども政策課、障害福祉課



「i-ファイル」利用のてびき

i-ファイルは、お子さんの生まれた日の情報や、変遷の経過を1つのファイルにまとめ、医師や保健師から個人情報まで継続的に一貫した、よりよい支援を受けられるようにするためのものです。

★対象
調布市内に在住で、発達に遅れやのり差があり、個別的な支援を必要とするお子さん。

★利用方法
① 保護者が所属する児童発達支援センターに記入する。
② 児童発達支援センターで、他機関に伝えたいことや配慮してほしいことを連絡し、スタッフが「支援の窓口」(発達支援センター)等を作成。
③ 児童発達支援センターで、i-ファイルに記入する。
④ i-ファイルの記入内容が、i-ファイルの作成担当者から各機関に送付される。各機関で記入されたi-ファイルは、i-ファイルの作成担当者から各機関に送付される。

★利用するメリット
① 支援の進み具合が明確で、関係者に3つの機関が知られ、共通理解を促されることにより、より良い支援が受けやすくなります。
② 関係機関から正確な情報を得ることができ、関係機関のよりよい連携が促されます。
③ 配慮が必要なことを各機関に伝えることにより、育児の負担が軽減され、お子さんの健やかな成長の支援が図られます。

★保護者のみなさまへ
i-ファイルは保護者が管理・保管し、情報が必要になった場合は、訂正・削除してください。機関から受け取ったお子さんについての情報は、i-ファイルに添じて保管してください。
i-ファイルは調布市のホームページからダウンロードできます。
i-ファイルの作成・更新情報の確認は、必要に応じて加筆・訂正し、情報更新をお願いします。
i-ファイルの作成・更新情報は、必ず保護者の同意の上、取り扱いは注視してください。
i-ファイルの作成・更新情報は、関係機関間で情報交換する際は、保護者に連絡を要するまで行ってください。

★関係機関のみなさまへ
i-ファイルは保護者が管理・保管し、情報が必要になった場合は、訂正・削除してください。機関から受け取ったお子さんについての情報は、i-ファイルに添じて保管してください。
i-ファイルは調布市のホームページからダウンロードできます。
i-ファイルの作成・更新情報の確認は、必要に応じて加筆・訂正し、情報更新をお願いします。
i-ファイルの作成・更新情報は、必ず保護者の同意の上、取り扱いは注視してください。
i-ファイルの作成・更新情報は、関係機関間で情報交換する際は、保護者に連絡を要するまで行ってください。

★関係機関のみなさまへ
i-ファイルは保護者が管理・保管し、情報が必要になった場合は、訂正・削除してください。機関から受け取ったお子さんについての情報は、i-ファイルに添じて保管してください。
i-ファイルは調布市のホームページからダウンロードできます。
i-ファイルの作成・更新情報の確認は、必要に応じて加筆・訂正し、情報更新をお願いします。
i-ファイルの作成・更新情報は、必ず保護者の同意の上、取り扱いは注視してください。
i-ファイルの作成・更新情報は、関係機関間で情報交換する際は、保護者に連絡を要するまで行ってください。

★関係機関のみなさまへ
i-ファイルは保護者が管理・保管し、情報が必要になった場合は、訂正・削除してください。機関から受け取ったお子さんについての情報は、i-ファイルに添じて保管してください。
i-ファイルは調布市のホームページからダウンロードできます。
i-ファイルの作成・更新情報の確認は、必要に応じて加筆・訂正し、情報更新をお願いします。
i-ファイルの作成・更新情報は、必ず保護者の同意の上、取り扱いは注視してください。
i-ファイルの作成・更新情報は、関係機関間で情報交換する際は、保護者に連絡を要するまで行ってください。

★関係機関のみなさまへ
i-ファイルは保護者が管理・保管し、情報が必要になった場合は、訂正・削除してください。機関から受け取ったお子さんについての情報は、i-ファイルに添じて保管してください。
i-ファイルは調布市のホームページからダウンロードできます。
i-ファイルの作成・更新情報の確認は、必要に応じて加筆・訂正し、情報更新をお願いします。
i-ファイルの作成・更新情報は、必ず保護者の同意の上、取り扱いは注視してください。
i-ファイルの作成・更新情報は、関係機関間で情報交換する際は、保護者に連絡を要するまで行ってください。

★関係機関のみなさまへ
i-ファイルは保護者が管理・保管し、情報が必要になった場合は、訂正・削除してください。機関から受け取ったお子さんについての情報は、i-ファイルに添じて保管してください。
i-ファイルは調布市のホームページからダウンロードできます。
i-ファイルの作成・更新情報の確認は、必要に応じて加筆・訂正し、情報更新をお願いします。
i-ファイルの作成・更新情報は、必ず保護者の同意の上、取り扱いは注視してください。
i-ファイルの作成・更新情報は、関係機関間で情報交換する際は、保護者に連絡を要するまで行ってください。

★関係機関のみなさまへ
i-ファイルは保護者が管理・保管し、情報が必要になった場合は、訂正・削除してください。機関から受け取ったお子さんについての情報は、i-ファイルに添じて保管してください。
i-ファイルは調布市のホームページからダウンロードできます。
i-ファイルの作成・更新情報の確認は、必要に応じて加筆・訂正し、情報更新をお願いします。
i-ファイルの作成・更新情報は、必ず保護者の同意の上、取り扱いは注視してください。
i-ファイルの作成・更新情報は、関係機関間で情報交換する際は、保護者に連絡を要するまで行ってください。

★関係機関のみなさまへ
i-ファイルは保護者が管理・保管し、情報が必要になった場合は、訂正・削除してください。機関から受け取ったお子さんについての情報は、i-ファイルに添じて保管してください。
i-ファイルは調布市のホームページからダウンロードできます。
i-ファイルの作成・更新情報の確認は、必要に応じて加筆・訂正し、情報更新をお願いします。
i-ファイルの作成・更新情報は、必ず保護者の同意の上、取り扱いは注視してください。
i-ファイルの作成・更新情報は、関係機関間で情報交換する際は、保護者に連絡を要するまで行ってください。

★関係機関のみなさまへ
i-ファイルは保護者が管理・保管し、情報が必要になった場合は、訂正・削除してください。機関から受け取ったお子さんについての情報は、i-ファイルに添じて保管してください。
i-ファイルは調布市のホームページからダウンロードできます。
i-ファイルの作成・更新情報の確認は、必要に応じて加筆・訂正し、情報更新をお願いします。
i-ファイルの作成・更新情報は、必ず保護者の同意の上、取り扱いは注視してください。
i-ファイルの作成・更新情報は、関係機関間で情報交換する際は、保護者に連絡を要するまで行ってください。

★関係機関のみなさまへ
i-ファイルは保護者が管理・保管し、情報が必要になった場合は、訂正・削除してください。機関から受け取ったお子さんについての情報は、i-ファイルに添じて保管してください。
i-ファイルは調布市のホームページからダウンロードできます。
i-ファイルの作成・更新情報の確認は、必要に応じて加筆・訂正し、情報更新をお願いします。
i-ファイルの作成・更新情報は、必ず保護者の同意の上、取り扱いは注視してください。
i-ファイルの作成・更新情報は、関係機関間で情報交換する際は、保護者に連絡を要するまで行ってください。

問31 次の調布市の相談窓口を知っていますか。

(1)～(14)について、それぞれ1つに○をつけてください。
(N=115)

	知っている	知らない	無回答
(1) 子ども発達センター お子さんの発達に心配や不安を抱える保護者からの相談に応じ、発達に遅れやかたよりのあるお子さんに専門的支援を行います。	96.5%	3.5%	0.0%
(2) 子ども家庭支援センターすこやか 子どもに関する総合相談（子育て・児童虐待）のほか、情報や遊びの場の提供、子どもの一時的預かりを行う施設です。	94.8%	5.2%	0.0%
(3) 教育相談所（調布市教育会館6階） お子さんの教育に関する心配ごとについての相談をお受けしています。	78.3%	21.7%	0.0%
(4) 教育支援コーディネーター室（調布市教育会館5階） 教育全般及び福祉的な観点から、家庭や学校に関する相談をお受けしています。	48.7%	51.3%	0.0%
(5) 保健センター（健康推進課）（文化会館たづくり西館） 乳幼児の健康診査や成人のがん検診等の健診事業を提供し、保健師、栄養士、歯科衛生士等が育児相談や健康相談に応じています。	86.1%	13.9%	0.0%
(6) ドルチェ（総合福祉センター内） 主に身体障害、高次脳機能障害のある方の相談窓口です。	39.1%	60.0%	0.9%
(7) ちようふだそう 主に知的障害のある方の相談窓口です。	60.0%	40.0%	0.0%
(8) 希望ヶ丘 主に精神障害のある方の相談窓口です。	12.2%	86.9%	0.9%
(9) こころの健康支援センター 主に精神障害、発達障害のある方の相談窓口です。	35.7%	63.4%	0.9%
(10) 難病相談窓口（障害福祉課・予約制） 専門の相談員が難病にかかったことでの不安や悩み事全般に対する相談を受け、情報を提供する窓口です。	12.2%	86.1%	1.7%
(11) 障害者虐待防止センター（障害福祉課） 障害者の虐待に関する相談・通報を受ける窓口です。	16.5%	81.8%	1.7%
(12) 調布ライフサポート（総合福祉センター内） 経済的な理由等でお困りの方に対するトータルな相談窓口です。	6.1%	93.0%	0.9%
(13) 子ども・若者総合支援事業（ここあ） 家庭の事情等により、進学や就職をあきらめてしまうことがないよう、子ども・若者に対して学習支援や居場所の提供を行うとともに、進学や自立に向けた相談支援を行います。	31.3%	67.0%	1.7%
(14) 成年後見制度 判断能力が不十分であるために意思決定が困難な人の判断能力を、後見人等が補っていくことによって、法的に保護する制度です。	61.7%	37.4%	0.9%

問32 お子さまとあなたが今後、調布市で特に充実させてほしいと思う取組はどれですか。
(5つまで)
(N=115)

1. 困ったことを気軽に相談できる窓口	23.5%
2. 健康づくり、健康の維持のための支援	13.9%
3. 訪問診療、訪問看護などの地域での医療サービス	10.4%
4. 手当や医療費の助成などの経済的な支援	38.3%
5. 福祉サービスの利用や手続きを支援するサービス	27.0%
6. 成年後見制度など金銭、財産などの管理の支援	37.4%
7. ホームヘルパーなど在宅生活を支援するサービス	4.3%
8. ガイドヘルパー、コミュニケーション支援など社会参加の支援	19.1%
9. 介護者の病氣など、緊急時における一時預かり、ショートステイ	29.6%
10. 福祉サービスに関わる専門的な人材の育成	21.7%
11. 通所施設（作業所）など日中の活動場所の整備	37.4%
12. 企業などで働くための支援（就労支援）	31.3%
13. 仕事以外の趣味や余暇活動・スポーツ活動などの支援や場所の整備	29.6%
14. グループホームなど地域における住まいの場の整備	39.1%
15. 障害理解の促進や差別的解消	30.4%
16. 公共施設や道路、交通機関などのバリアフリー	11.3%
17. 障害に応じた多様な情報提供の充実	27.0%
18. 災害時の支援体制の整備	33.9%
19. 障害のある当事者、家族同士の情報交換、交流の機会	13.0%
20. その他〔具体的に： 無回答〕	2.6% 3.5%

問33 ご意見・ご要望がありましたら、なんでもご自由に記入ください。

たくさん質問にお答えいただき、誠にありがとうございました